

カンボジア国
REDD+ 戦略策定実施支援プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成 26 年 5 月
(2014 年)

独立行政法人国際協力機構
地球環境部

環境
J R
14-123

カンボジア国
REDD+戦略策定実施支援プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成 26 年 5 月

(2014 年)

独立行政法人国際協力機構

地球環境部

目 次

目次

地図

写真

略語表

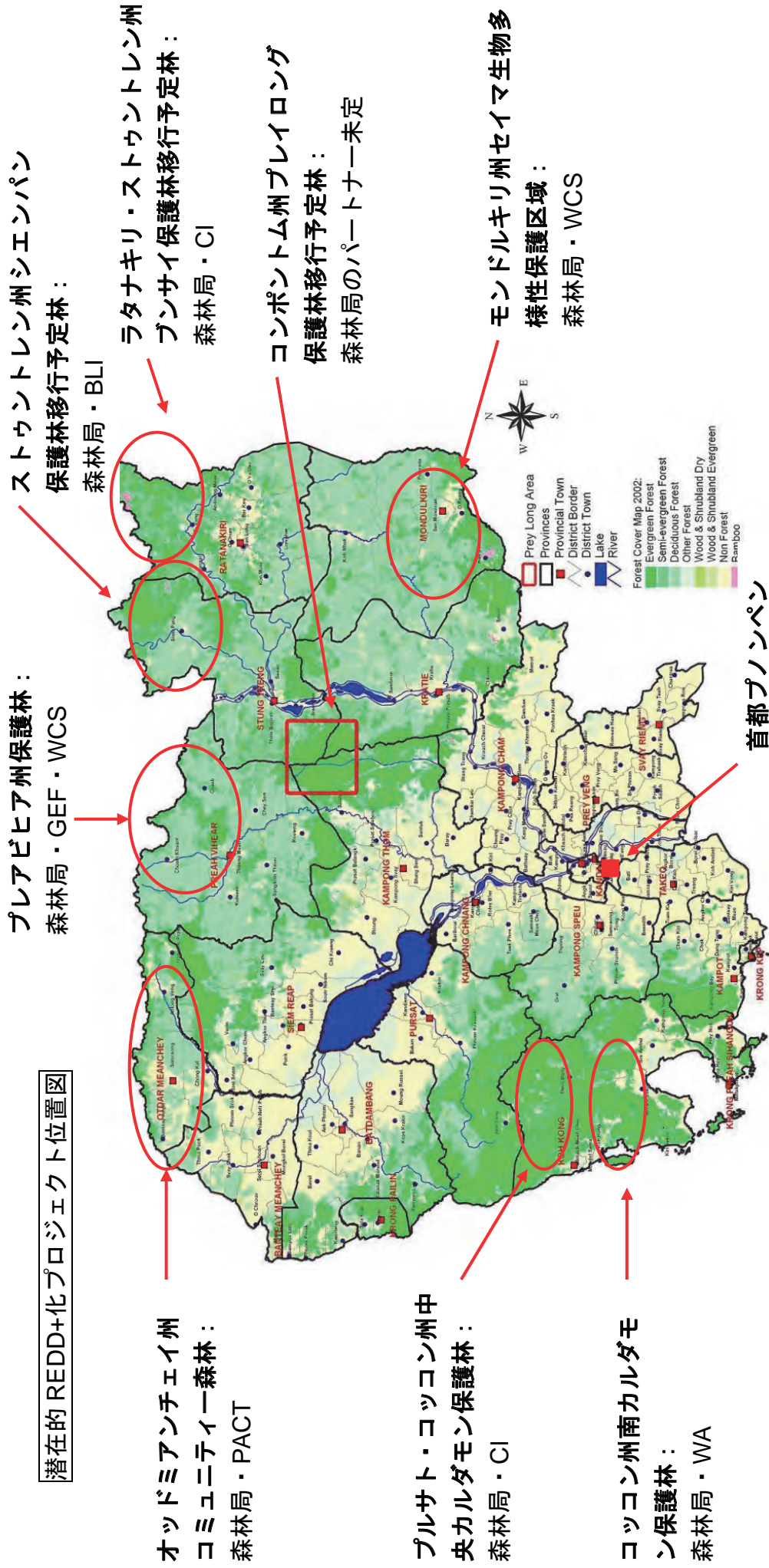
評価結果要約表

第1章 案件の概要.....	1
1-1 協力の背景と概要.....	1
1-2 協力内容.....	2
1-2-1 実施体制.....	2
1-2-2 プロジェクトの国家 REDD+プロセスにおける位置づけ.....	2
1-2-3 プロジェクトの枠組み.....	2
1-2-4 投入（2013年12月末現在）.....	3
第2章 中間レビュー調査団の概要.....	5
2-1 調査の目的.....	5
2-2 評価調査団の構成.....	5
2-2-1 日本側.....	5
2-2-2 カンボジア側.....	5
2-3 調査期間・日程.....	6
2-4 中間レビュー調査方法.....	7
2-5 主要面談者.....	8
第3章 中間レビュー結果の概要.....	9
3-1 実績の確認.....	9
3-1-1 プロジェクト目標の達成見込み.....	9
3-1-2 各成果の達成状況.....	9
3-1-3 プロジェクト目標の達成状況.....	14
3-2 5項目による評価結果の要約.....	14
3-2-1 妥当性.....	14
3-2-2 有効性.....	14
3-2-3 効率性.....	15
3-2-4 インパクト.....	15
3-2-5 持続性.....	15
3-3 効果発現に貢献した要因.....	16
3-3-1 カンボジア政府のさまざまな支援枠組みを調整する当事者意識.....	16

3-3-2	柔軟な仕組みと適切な予算配置.....	16
3-3-3	着実なアプローチ.....	17
3-3-4	堅実な技術支援.....	17
3-3-5	NFP との強固な連携.....	17
3-4	問題点及び問題を惹起した要因.....	17
3-4-1	政治的プロセスの遅延.....	17
3-4-2	関係者間の連携の困難.....	18
3-4-3	人的資源と能力の不足.....	18
第4章	結論.....	19
第5章	提言と教訓.....	20
5-1	提言.....	20
5-1-1	カンボジア政府への提言.....	20
5-1-2	プロジェクトへの提言.....	22
5-2	教訓.....	23
5-2-1	相手国政府のオーナーシップと政府内外関係者間の調整の重要性.....	23
5-2-2	国家森林政策との連携.....	23
5-2-3	オールジャパンでの取組みの重要性.....	24
第6章	所感.....	25
6-1	団長所感.....	25
6-1-1	カンボジアにおける REDD+の進捗.....	25
6-1-2	日本の貢献.....	25
6-1-3	専門家の配置.....	25
6-1-4	他ドナーとの連携.....	26
6-1-5	プロジェクト後半に向けて.....	26
6-2	川原団員所感（森林政策/REDD+）.....	26
6-2-1	成果1、2について.....	26
6-2-2	成果3について.....	27
6-2-3	成果4について.....	27

付属資料 ミニッツ及び合同評価報告書（英文）

地図



※BLI: BirdLife International, CI: Conservation International, GEF: Global Environmental Facility, WA: Wildlife Alliance, WCS: Wildlife Conservation Society

写 真



森林局長表敬



合同調整委員会



プレーロン森林局説明



プレーロン設置境界杭



違法伐採木材



ミニッツ署名

略 語 表

C/P	Counterpart	カウンターパート
CI	Conservation International	コンサベーション・インターナショナル
COP	Conference of the Parties	締約国会議
FACCC	Forestry Administration's Climate Change and REDD+ Committee	森林局主催の気候変動及び REDD+委員会
FAO	Food and Agriculture Organization of the United Nations	国連食糧農業機関
FCPF	Forest Carbon Partnership Facility	森林炭素パートナーシップ基金
GIS	Geographic Information System	地理情報システム
IPCC	Intergovernmental Panel on Climate Change	気候変動に関する政府間パネル
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JCM	Joint Crediting Mechanism	二国間 オフセット・クレジット制度
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録、ミニッツ
MM	Man-Month	作業工数（人月）
MRV	Measurement, Reporting and Verification	計測・報告・検証
NFI	National Forest Inventory	国家森林資源調査、国家森林インベントリー
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operations	活動計画
R/D	Record of Discussions	討議議事録
REDD+	Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation in developing countries; and the role of conservation, sustainable management of forests and enhancement of forest carbon stocks in developing countries	開発途上国における森林減少・劣化等に由来する排出の削減等（開発途上国における森林減少・劣化に由来する排出の削減並びに森林保全、持続可能な森林経営及び森林炭素蓄積の増加の役割）
REL	Reference Emission Level	参照排出レベル

TA/DG-FA	Technical Advisor to Director General of Forestry Administration	森林局政策アドバイザーチーム
TOR	Terms of Reference	業務指示書
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
UN-REDD	United Nations Collaborative Programme on Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation in Developing Countries	国連森林減少・劣化に起因する温暖化ガスの排出とその抑制方策計画
USAID	United States Agency for International Development	米国国際開発庁
VCS	Verified Carbon Standard	ベリファイド・カーボン・スタンダード(自主的なカーボンクレジット認証制度及び炭素算出のための基準)

調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：カンボジア王国	案件名：REDD+戦略政策実施支援プロジェクト (略称：CAM-REDD)
分野：自然環境保全	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：地球環境部森林・自然環境保全第一課	協力金額（～2014年3月）：252,037千円
(R/D):2011年5月27日	先方関係機関：カンボジア農林水産省森林局
協力期間：2011年6月1日～2016年5月31日	日本側協力機関名：林野庁
	他の関連協力：
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>カンボジア王国（以下、「カンボジア」と記す）政府は「カンボジア気候変動戦略計画（2014年～2023年）」を2013年11月に公式発表しており、これは現行の政策の相乗効果を高め、気候変動関連の幅広い問題（適応、緩和、低炭素開発等）をまとめるものとして機能している。開発途上国における森林減少・劣化等に由来する排出の削減等（REDD+）の推進は本計画のうち「主要生態系、生物多様性、保護区、及び文化遺産サイトにおける気候変動からの回復力を高める」という戦略の主要手段として挙げられている。</p> <p>2010年9月に承認された国家REDD+ロードマップ作成に伴い、従来の国際社会による森林保護やコミュニティフォレストへの支援に加え、国連森林減少・劣化に起因する温暖化ガスの排出とその抑制方策計画（UN-REDD）や森林炭素パートナーシップ基金（FCPF）などがカンボジア政府のロードマップ実施に対する支援を表明した。2010年のカンボジア政府から日本政府への協力要請を受け、日本による本ロードマップを支援する枠組みが協力期間5年のCAM-REDDプロジェクトとして合意され、2011年5月27日に討議議事録（R/D）が両国により署名、2011年6月1日より実施されている。カンボジア国家REDD+タスクフォースが未発足のなか、森林局主催の気候変動及びREDD+委員会（FACCC）において、同委員会がCAM-REDDの暫定的合同調整委員会（JCC）となることが決定された。</p> <p>2012年12月にCAM-REDDのJCCとして開催された第3回FACCC会合では、プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）と活動計画（PO）の修正が承認された。このPDM/POは今後承認される予定であるカンボジア国家REDD+タスクフォースの多年度行動計画（multi-year work plan）の基礎となるものであり、この多年度行動計画にそって、UN-REDD、CAM-REDD、FCPF、米国国際開発庁（USAID）による森林及び生物多様性プロジェクト支援/アジアの森林における排出削減プログラム（Supporting Forests and Biodiversity project on Lowering Emissions in Asia's Forests :SFB/LEAF）等のREDD+支援枠組みが活動を進める予定である。</p> <p>1-2 協力内容</p> <p>本プロジェクトはカンボジア森林局職員〔カウンターパート（C/P）チーム〕と日本側の森林局政策アドバイザーチーム（TA/DG-FA¹）及び計測・報告・検証（MRV）/参照排出レベル（REL）技術支援チー</p>	

¹ TA/DG-FA は JICA 専門家とカンボジア側職員により構成されており、プロジェクト及び国家 REDD+プロセスの 4 つの成果へ

ム (JICA TA Team²) により実施運営されている。プロジェクトは、その他の REDD+ 支援枠組みとともに、カンボジア政府関係省庁が共同実施する国家 REDD+ プロセスを支援している。

- (1) 上位目標：REDD+ 実施の経験に基づき、気候変動の緩和策として持続可能な森林経営が推進される
- (2) プロジェクト目標：REDD+ の戦略と政策の実施が円滑に行われるように関係者（ステークホルダー）の能力が強化される
- (3) 成果：
 - 1) 国家ロードマップに準じた REDD+ の準備プロセス (REDD+ Readiness Process) と関係者（ステークホルダー）の関与のための効果的な国レベルの管理体制構築を支援する。
 - 2) 国レベルの REDD+ 戦略策定と実施枠組みの整備を支援する。
 - 3) プロジェクトレベルと準国レベルの REDD+ 実施能力向上を支援する。
 - 4) 森林炭素量のモニタリングシステムと参照レベル/参照排出レベル (RLs/RELS) の設計と実施能力向上を支援する。

(4) 投入 (2013 年 12 月末現在)

日本側：

- 専門家派遣 長期専門家 2 名、短期専門家 6 名
- 本邦研修 8 名
- 資機材供与 建築資材やコンピュータなど合計 0.38 億円
- 現地業務費 1.3 億円

カンボジア側：

- C/P の配置 森林局職員 19 名（及び 3 名のプロジェクトスタッフ）
- ローカルコスト 予算措置なし
- 施設提供 森林局内執務室、光熱費、会議室、備品等

2. 中間レビュー調査団の概要

調査団	調査団員数 4 名 (1) 総括 宮 蘭 浩 樹 JICA 国際協力専門員 (2) 森林政策/REDD+ 川原 総 林野庁国際森林減少対策調整官 (3) 評価計画 平知子 JICA 地球環境部森林・自然環境保全第一課 企画役 (4) 評価分析 瀧本麻子 日本工営 (株) [グローバル・リンク・マネジメント(株)]	
調査期間	2014 年 2 月 2 日～2014 年 2 月 21 日	評価種類：中間レビュー調査

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) プロジェクト目標の達成見込み

現在、REDD+ プロセスの実施体制や意思決定機関としての国家 REDD+ タスクフォースやその事務局が設立され、能力向上の過程にある。これらの仕組みの下で、政策・法制度が協議され策定されて

の技術支援を行っている。

² JICA TA Team は MRV と REL に関する技術的支援を行うことを主要業務とする。

いく予定である。現存する政策・法制度の改訂についても REDD+プロセスの実施体制が今後強化されるなかで協議されていく予定である。プロジェクト計画段階ではプロジェクト目標を達成するために必要な政策/戦略が明確には判明していなかったが、現在はほとんどの関係者がおのおのの足並みを揃えるための統一した道標として、国家 REDD+戦略が必要であると考えている。そのためにはプロジェクト目標の指標は国家 REDD+戦略の策定に基づいたものに変更する必要があると判明した。

(2) 各成果の達成状況

成果1：タスクフォース事務局は2012年半ばに設置されたが、タスクフォース自体とコンサルテーショングループの設置にはプロジェクト開始後およそ2年を要し、初回会合が行われたのは2013年9月であった。タスクフォース設置とその業務内容についての協議は、2013年の年間をとおして行われた。TA/DG-FAは暫定タスクフォースの主要メンバーとして、暫定事務局を組織し、事務局とタスクフォースの設置を支援した。Cambodia REDD+のウェブサイトはタスクフォース事務局監修の下で作成され(<http://www.cambodia-redd.org/>)、カンボジア国家 REDD+プロセス、さまざまな支援枠組み、関係諸機関の情報やイベントスケジュールなどが掲載されている。CAM-REDDもプロジェクト情報を当該ウェブサイトに提供している。タスクフォース/事務局/コンサルテーショングループの設置はカンボジアが国家 REDD+プロセスを進展させていく基盤となる重要な成果といえる。実施中の啓発活動については事務局中心に引き続き実施されるが、CAM-REDDの成果に関する活動はほぼ終了したといえる。

成果2：森林局の初期 REDD+戦略は国家森林計画(NFP)のプログラム6の中で作成済みである。環境省の REDD+戦略は UN-REDD、USAID の財政支援、及び TA/DG-FA の助言を基に準備段階にある。水産局については現在まだ REDD+に対する基本的な理解を深める段階のため、戦略の策定に関する協議が進展していない。また、REDD+セーフガードに係る非公式のグループが政府職員、事務局、UN-REDD、TA/DG-FA により結成され、現在の国際/国内レベルの関係情報をまとめたセーフガードの技術報告書の最終化に取り組んでいる。タスクフォースと事務局の設置が当初の計画から大幅に遅れたことから、成果2に関する多くの活動は遅延を余儀なくされている。タスクフォースとその下に設置された REDD+に関する4つの技術グループ(コンサルテーションとセーフガード、利益分配、REDD+プロジェクト、MRV/REL)の初回会合は2014年1月に開催されており、今後は成果2の達成に向け、より高い頻度で開催されていく予定である。国家 REDD+ロードマップが策定された当時は、関係者間でも国家 REDD+戦略に関し、設計方法、構成要素、策定期等について明確な合意がなく、本成果の指標が曖昧なものになった。しかし、これら懸案事項は CAM-REDD がここまで2年半以上にわたり活動していくなかで、次第に明らかになってきている。これを受け、プロジェクト終了時に向けて、現在までの REDD+プロセスの状況・条件を反映した指標に改正していくことが必要と判明した。

成果3：政府内で REDD+実施に関わる省庁(森林局、水産局、環境省等)や REDD+支援枠組み、そして REDD+パイロットサイトにおける活動の種類はそれぞれ多種多様である。TA/DG-FA は3つの REDD+パイロットプロジェクト、5つの保護林、1つの保全地域、1つの浸水林、1つのマングローブ林、及び保護林に移行中の2つの生産林の森林管理活動を技術的、財政的に支援している。技術的支援は REDD+フィージビリティ・スタディ (F/S) の実施、自主的な取り組みの炭素クレジット基準への登録支援などを含み、財政的支援は森林官の活動に要する備品整備や政府職員が現場に行くための旅費等を含む。CAM-REDD は上記13のパイロットサイトにおいて、REDD+実施者(政府省庁、NGO、村落住民等)と協力しながら支援を行ってきた。一方で、これらのさまざまな森林管理に関する活動

(REDD+実施活動を含む)は、それぞれの最終目標が関係者間で広く共有されていない部分があり、これが現在の曖昧な指標の原因となっている。気候変動枠組み条約第 19 回締約国会議

(UNFCCC-COP19) (2013 年 11 月)における REDD+に関する決定や準国レベルでの活動に関する協議の進展を反映し、成果 3 指標は修正されることが望ましい。

成果 4: RL/REL 開発の技術的協議は、2014 年 1 月に MRV/REL の技術チームが関係省庁により設立されたことで、開始されたばかりである。カンボジアの状況に適した森林被覆モニタリングを準備するために、JICA TA チームは衛星画像、リモートセンシング、地理情報システム (GIS) などの基礎研修を森林局や水産局の職員に実施した (環境省への研修については実施計画を協議中)。同チームは森林局職員がその他の REDD+支援枠組みから提供された炭素インベントリーやモニタリング方法などについて実効性を判断するための技術的助言も行っている。森林局から提供されたデータ・情報を基に、JICA TA チームは現存する森林インベントリーデータや樹木の相対成長式がどれくらい実際的な利用価値があるかについての分析を行い、将来的な国家森林インベントリー(NFI)の計画についてのワーキングペーパーを作成した。国連食糧農業機関 (FAO) も NFI の設計に関して森林局を支援しており、JICA TA チームは調査結果を FAO と共有し、森林局職員と今後の方針について合同で協議を行っている。成果 4 に関する活動はタスクフォース下の MRV/REL 技術チーム設立の遅延により、大幅な遅延を余儀なくされている。2014 年 1 月の当該技術チームの初回会合を受け、今後 MRV/REL に関する協議の進行が早まることが期待されている。一方で、UNFCCC-COP19 では MRV/REL に関し主要な懸案事項について合意されたため、UNFCCC への報告の必要条件やスケジュールがかなり明確になった。これを受け、成果の指標の変更を現時点で行うことが望ましい。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

妥当性は高い。

政策面では、REDD+推進はカンボジアの気候変動政策全体のなかでも主要なコンポーネントである。また、国家 REDD+ ロードマッププロセスは、複数の政府関係省庁の合意の元に形成されており、プロジェクトはそのロードマップに準じている。したがって、プロジェクトはカンボジアの国家政策や利益との関連性が高いといえる。また、カンボジアは JICA の REDD+支援の重点国でもある。REDD+準備プロセスにはさまざまな種類の支援が必要であり、CAM-REDD は他の支援フレームワークと計画段階から協議を重ね、森林局が REDD+実施のために必要な能力向上支援を的確に実施している。現場レベルでは、多種多様な森林を有する 13 のパイロットサイトで、REDD+に必要な活動の実施支援を行い、現場の能力向上及び経験の蓄積が進んでいる。現段階で、プロジェクトが上位目標の達成に明確に貢献できるかどうかを判断するのは時期尚早だが、プロジェクトの活動はすでにカンボジアの REDD+プロセスの発展に貢献していることは間違いないといえる。

(2) 有効性

有効性は比較的高い。

PDM の指標や活動の一部にはかなり曖昧なものがあり、プロジェクト終了時に達成度を評価することが困難なため修正を必要とするが、プロジェクト目標の根幹である「関係者の能力向上」は、これまでのプロジェクトの進捗状況と現在進行中の活動から見て、達成される見込みが高い。プロジェク

ト前半期間が終了した時点で、活動の一部には遅延が生じているが、TA/DG-FA チームや JICA TA チームはカンボジア政府の REDD+実施の要となる人材のトレーニングに時間と労力を費やしており、REDD+実施のための基盤は整いつつある。

(3) 効率性

効率性は比較的高い。

組織的な整備（成果1の達成による）が遅延したため、プロジェクト活動の一部は修正・変更を余儀なくされた。その意味で、遅延の原因自体は本プロジェクトがコントロールできるものではなかったが、プロジェクトの前半期間の支出が常に効率的であったとは言い難い。一方、タスクフォース事務局と TA/DG-FA はさまざまな REDD+関係者とそれぞれの活動に重複がなく、お互い補完しあうものになるよう、頻繁に協議を重ねてきた。これらの対話は予算の効率的な執行に貢献しており、また、CAM-REDD の予算配置は現場レベルの要求に迅速に応じる点で他の支援枠組みなどから評価をされている。これは限られた予算の中で、本プロジェクトの国家 REDD+プロセスへの貢献度を上げる意味で大変有効な方法である。また、他支援枠組みと同じロードマップの下で活動することにより、緊密な相乗効果が期待でき、それにより大きな目標が達成出来るという意味でも効率性は高いといえる。

(4) インパクト

インパクトは高い。

タスクフォースとコンサルテーショングループが設立されたことにより、複数のステークホルダー（政府関係者、ドナー、NGO等）が一同に会することができる場がつけられた。これはカンボジアの森林セクターにとって画期的な組織上の発展である。これら会合に出席することが関係省庁の職員たちの意識改革につながり、REDD+という新しいコンセプトをカンボジア政府全体が理解し、行動を起こしていくための重要な場になっている。国際 REDD+交渉プロセスはまだ不透明な部分が残るものの（特に資金メカニズム）、カンボジアの REDD+のプロセスは確実に進展しているといえる。

(5) 持続性

予測するには時期尚早。

プロジェクトの全体的な持続性は「予測するには時期尚早」と判断された。政策レベルでは、タスクフォースの会合を通じて、REDD+のために必要な政策・法制度の開発が進行することが期待される。ただし、タスクフォース会合は現在まで、活発な活動を開始していないため、今後の REDD+政策や政治レベルでの支援の持続性について現時点では判断が難しい。主要な関係省庁（森林局、水産局、及び環境省）はそれぞれ国家 REDD+プロセス実施に意欲を見せており、組織的な支援は今後も持続すると考えられる。しかし、人的配置については問題が残っている。財政的支援については、今後少なくとも数年は、CAM-REDD やその他ドナーのコミットメントにより継続の保証がされているが、それらの支援枠組みが 2016 年前後で終了した後に関しては、REDD+資金メカニズムが国際的にあるいは二国間で設立されるか、またどのように設立されるかによって状況が変わってくるとみられる。また、それら資金メカニズムがカンボジアに適用され得るかにもよる。技術的持続性についてはまだ関係省庁への技術研修を実施し始めた段階にあるため、今後の展望を判断することは難しい。しかし、国際的に通用するレベルの MRV を実施し、RL/REL を設置するに十分な数の人材をカンボジアで教育する

には、かなりの年月を必要とする。技術面のキャパシティビルディングに必要な期間については成果4の活動がまだ本格的に開始していない現時点で推定するのは非常に困難である。

3-3 効果発現に貢献した要因

- (1) カンボジア政府のさまざまな支援枠組みを調整する当事者意識：REDD+のポテンシャルが高い多くの国々ではさまざまなタイプの支援を国内外で受けているが、これらの支援は往々にして異なる目標を持っていたり、それぞれの活動が重複、あるいは相反する結果を目指していることがある。カンボジア政府はこのような問題を避けるべく、すべての支援枠組みを1つの包括的枠組み（国家REDD+ロードマップ）の下で調整してきた。この調整作業はかなりの労力を要するが、それゆえカンボジアではさまざまな支援枠組みが比較的円滑な協力体制を築けており、他のREDD+国に比べて優位性が高いといえる。長期的には、この努力がさまざまな支援の有効活用につながっていくと考えられる。
- (2) 柔軟な仕組みと適切な予算配置：本プロジェクトは、柔軟で適切な財政面の支援を行っているとして、カンボジア政府と他支援枠組みより、高く評価されている。カンボジ側ではさまざまなREDD+支援が展開されているが、それぞれの活動の間をつなぐ予算が不足する問題が常に存在している。REDD+支援のプロジェクトやプログラムは予算支出に詳細なルールが適用されていることが多く、不測の事態に対応するような予算配当が困難なことが多い。CAM-REDDは予算の柔軟性を出来る限り確保する努力をして、さまざまな支援枠組み同士のギャップをつなぎ、効果的・効率的に全体の目標である国家REDD+プロセスに貢献できるよう働きかけている。
- (3) 着実なアプローチ：本プロジェクト活動は計画段階では予期し得なかったさまざまな困難により遅延を余儀なくされている部分がある。しかし、日本人専門家（TA/DG-FA チーム及びJICA TA チーム）を含めたCAM-REDDのメンバーは関係者と根気よく協議を続け、活動の順序や項目を変更するなど柔軟に解決策を模索している。遅延の理由の大半はプロジェクト側でコントロールできないものの、プロジェクト自体の運営努力によって、多くの問題に対応しているといえる。カンボジア側と日本側のプロジェクトメンバーの連携・協力体制が堅固なことはカンボジア政府関係者やその他の支援枠組み関係者も認めるところである。
- (4) 堅実な技術支援：本プロジェクトの重点の1つが成果4（MRV/RELシステムの開発）への貢献である。この分野は非常に高度な技術が必要とされ、JICA TA チームは彼らの森林炭素モニタリングに関するGIS やリモートセンシングの豊富な知見を基に、森林局職員に着実な技術支援を行っている。また、JICA TA チームはUN-REDDの当該技術支援チーム（FAOが担当）とも密接に連携しながら活動を実施しており、森林局職員が成果4に関する活動で実現可能な意思決定を行えるよう支援を続けている。
- (5) 国家森林プログラム（NFP）との強固な連携：REDD+は有効な政策の上で初めて実施可能であり、カンボジアの場合、REDD+プロセスがNFPと関連づけられていることが極めて重要である。本プロジェクトのチーフアドバイザーが森林局長への政策アドバイザー（TA/DG-FA）を兼務しているという現状は、プロジェクトがカンボジアの森林セクター全体的な視点を持つことを可能にし、NFPとの関係性を強化できる意味で極めて有効であるといえる。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

- (1) 政治的プロセスの遅延：REDD+タスクフォースと事務局の設立は当初計画から大幅に遅延した。

これは主にカンボジア政府の政治的環境の不備や REDD+プロセスへの不十分な理解などから、すべての REDD+ Readiness に係る支援を受け入れる準備が整っていなかったためと判明した。CAM-REDD は他の支援枠組みとともにこの根本的問題に対処し続けており、状況は 2013 年末の時点でかなりの改善が見られている。タスクフォースが今後活動を活発化していくなかで、政治面での能力向上も期待され、意思決定もより迅速に行われることが期待されている。

(2) 関係者間の連携の困難：REDD+の関連分野は多岐にわたるため、関係者もさまざまである。基本的には森林セクターの問題であり、森林局が重要な役割を持つものの、それ以外にも主要な役割を持つ省庁が複数存在する。しかし、すべての政府省庁が国家 REDD+ロードマップとそのタスクフォース/事務局について同じ見解を持っているわけではない。ロードマップの正当性に関する法的な理解やその役割、REDD+における関心事項についても省庁ごとに大きな違いがある。タスクフォースのメンバーは関係各省庁からの代表で構成されているが、REDD+に関して不十分な、あるいは異なる理解が多くみられる。事務局のメンバーでさえ、見解に相違が見られ、REDD+支援枠組みの一部からは事務局とのコミュニケーションや連携が困難だという声があった。

(3) 人的資源と能力の不足：もう 1 つの大きな阻害要因としては、カンボジア政府の人事管理の問題が挙げられる。首都プノンペンの生活費は年々増加の一途を辿っている一方で、公務員の給与体系はまったくその変化に対応していない。結果として、公務員の給与で家族の生活費を賄うことができず、ほとんどの職員が外部で別の仕事を持つことを余儀なくされている。これにより、職員が本プロジェクトに配置されていても、REDD+プロセスに実際に従事できる彼らの時間や努力は非常に限られたものになってしまっている。この問題が解決されない限り、カンボジア政府側からの人的配置は不十分なままであり、職員の能力向上に関する十分な活動の実施は困難である。

3-5 結論

合同レビュー調査団は国家 REDD+プロセスが当初計画より遅延はあるものの、そのプロセス自体の進展に CAM-REDD が着実に貢献していることを確認した。REDD+準備プロセスとして、成果 1 の達成は意義深い進展であるといえる。また、成果 3 に資する活動として、本プロジェクトがさまざまな現場での REDD+実証活動を支援する重要な役割を担っていることは他ドナーがあまり支援していない領域でもあり、注目に値する。本プロジェクトはまた、成果 2 と 4 の達成のための基盤整備にも貢献しており、今後活動が活発化することが期待される。

合同レビュー調査団は統一された国家 REDD+ロードマッププロセスの下、他支援枠組みと密接に協力して支援するという CAM-REDD の実施体制が、REDD+準備プロセスを支援する上で効果的かつ効率的であるという結論に達した。しかしプロジェクト期間の半ばを過ぎた現在、現行 PDM の活動と指標の一部は現実的なものではないことも判明した。国家 REDD+プロセスの進展や REDD+交渉、UNFCCC への締約国の報告義務などの環境の発展をかんがみ、PDM の修正が必要である。それに伴いプロジェクトの関係者の役割と責任についても再度定義する必要がある。

3-6 提言と教訓

3-6-1 カンボジア政府への提言

(1) 国家 REDD+プロセスのためのカンボジア側の責任意識と運営能力の強化：タスクフォースと事務局はそれぞれ REDD+活動を調整するための政府組織であるが、それらの役割と責任については事務局のスタッフ間ですら理解が広く行きわたっていない。これにより関係者と多数の支援枠組みの連携に問題が生じたという意見が見られた。タスクフォースと事務局の能力を更に強化するには、政府のより強力なリーダーシップが不可欠である。これには関係各省庁がより円滑な意思疎通を図ることや、REDD+に関して共通の認識を持つことなども含まれる。特にタスクフォース会合は、今後より頻繁に開催されるべきであり（中心メンバーによる非公式の会合を含む）、事務局はすべての支援枠組みとより密に協調していくべきである。

(2) 実証活動の相乗効果を最大化する：REDD+準備段階で現場での REDD+活動の実施を通して経験を蓄積することは非常に重要である。限られた予算のなかで本活動の成果を最大限に活用するには、現場活動を実施している省庁がお互いの経験を共有し、全体としての目標を合同で設定していくことが必要である。NGO などこれまでに協力しているパートナー組織との更なる連携も図られていくべきである。

(3) MRV/REL 関連の情報・データ管理の改善：国際的な REDD+財政支援を受けるために必要な精度の MRV/REL メカニズムを開発するには、データ管理の透明性と信頼性が非常に重要である。地理データの管理及び共有は大変困難な課題だが、政府はこの問題の重要性を理解し、関係省庁間の情報共有のためのメカニズム構築に関する協議を速やかに開始することが望ましい。

(4) カンボジア国家REDD+戦略の開発：国家REDD+ロードマッププロセスの実施を通して有用な経験が蓄積され、REDD+をカンボジアで推進するにあたっての重要な課題についても明確になってきた。カンボジア政府が次のステップに進み、UNFCCC-COPでの最新の決定事項に準ずるためには、国家REDD+戦略をロードマップの4つの成果を踏まえて策定する必要がある。

(5) UNFCCCの決定に従った関係書類の提出：UNFCCC-COPの決定事項によると、締約国はREDD+プロセスの進展を報告し、将来的に結果ベースの支払いシステムに資格を有するために、Biennial Update Reports (BUR)を含むいくつかのレポートを提出しなければならない。この必要条件を満たすためには、カンボジア政府がこれらのレポートの準備を始めることが必要であり、その中には温暖化ガスの計測に加え、a) 森林減少、劣化の要因の評価、及びそれらに対応するための政策と方法論、b) 環境・社会的セーフガードの現状、c) 国家森林モニタリングのデザイン、d) 国家（と準国家）REL/RL、e) MRV、f) 必要な財源、といった項目を加えるべきである。

3-6-2 プロジェクトへの提言

(1) PDM 修正：合同レビュー調査団は PDM 修正、特にプロジェクト終了時の評価のために指標の修正が必要であることを提言する。現時点で修正が必要となった理由としては、以下が挙げられる。

- 1) カンボジア政府側にREDD+の主要な実施枠組みが設立された。
- 2) 国家REDD+タスクフォースにおいて、初期の多年度ワークプランが採用される見込みである。
- 3) 国家REDD+戦略など現行のPDMでは明記されていない主要な成果が明確化された。
- 4) CAM-REDDの役割が明確化された。

(2) プロジェクトが蓄積した経験についての情報共有の強化

合同レビュー調査団は他支援枠組みと共に活動する CAM-REDD の実施体制を極めて効果的と認

め、この経験を他国の REDD+ 支援枠組みを含め、カンボジア国内外に広く共有することを推奨する。

3-6-3 教訓

現在あるいは将来類似案件を実施する際に参考になるとと思われる、本プロジェクトから得られた教訓は以下のとおりである。

(1) 相手国政府のオーナーシップと政府内外関係者間の調整の重要性

REDD+ は森林セクターのみならず、クロスセクトラルな取組みであることから関係する政府内外の機関間の調整が必須となる。また、REDD+ のポテンシャルの高い国では、関心を有する幅広い援助機関が支援を実施しているが、支援の目標、ターゲット、時期等が様々であり、一方では、各々の活動が重複している場合も多い。そのため、政府、NGO、ドナー等多様なステークホルダー共通のプラットフォームとなる REDD+ に係る政府戦略（国家 REDD+ ロードマップ）を明確にし、関連する支援については、同プラットフォームの下で調整を図ることにより、様々な支援枠組みが連携の上、効果的な協力を実施することが可能となる。また、相互の協力体制を築くことができることから、関係者間の情報共有が図られ、効率的な協力の実施にも繋がると言える。

(2) 国家森林政策との連携

REDD+ は有効な政策（NFP）として位置づけられることにより実施可能であり、同位置づけが極めて重要である。JICA の支援体制としても、政策全般の支援を担当している政策アドバイザーと、同政策に位置づけられている REDD+ を推進するためのプロジェクトを担当するチーフアドバイザーが連携（兼務）することにより、森林セクター全体的な視点を持ったプロジェクトの実施が可能となり、政策との関係性が強化され、現地ニーズに即した柔軟な協力の展開が可能になると言える。

(3) オールジャパンでの取組みの重要性

カンボジアにおける REDD+ については、JICA のみならず、外務省による無償資金協力、日本の NGO、森林総合研究所など多くの日本の機関が支援を行っているところである。それらの支援については、CAM-REDD のチーフアドバイザーが中心となって、円滑な実施のための側面的サポートや必要な調整を行うことで、オールジャパンでの取組みが図られやすい状況となっており、他国や類似案件にとっても参考となるものである。

第1章 案件の概要

1-1 協力の背景と概要

カンボジア王国（以下、「カンボジア」と記す）政府は「カンボジア気候変動戦略計画（2014年～2023年）」を2013年11月に公式発表しており、これは現行の政策の相乗効果を高め、気候変動関連の幅広い問題（適応、緩和、低炭素開発等）をまとめるものとして機能している。開発途上国における森林減少・劣化等に由来する排出の削減等（Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation in developing countries; and the role of conservation, sustainable management of forests and enhancement of forest carbon stocks in developing countries : REDD+）の推進は本計画のうち「主要生態系、生物多様性、保護区、及び文化遺産サイトにおける気候変動からの回復力を高める」という戦略の主要手段として挙げられている。

2010年9月に承認された国家 REDD+ロードマップ作成に伴い、従来の国際社会による森林保護やコミュニティフォレストリーへの支援に加え、国連森林減少・劣化に起因する温暖化ガスの排出とその抑制方策計画（United Nations Collaborative Programme on Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation in Developing Countries : UN-REDD）や森林炭素パートナーシップ基金（Forest Carbon Partnership Facility : FCPF）などがカンボジア政府のロードマップ実施に対する支援を表明した。また、カンボジア政府におけるロードマップの実施体制については合同レビュー報告書の Annex IV のように設計されている。2010年のカンボジア政府から日本政府への協力要請を受け、日本による本ロードマップを支援する枠組みが協力期間5年の REDD+戦略政策実施支援プロジェクト（以下、「CAM-REDD」と記す）として合意され、2011年5月27日に討議議事録（Record of Discussions : R/D）が両国により署名、2011年6月1日より実施されている。カンボジア国家 REDD+タスクフォースが未発足のなか、森林局主催の気候変動及び REDD+委員会（Forestry Administration's Climate Change and REDD+ Committee : FACCC）において、同委員会が CAM-REDD の暫定的合同調整委員会（Joint Coordinating Committee : JCC）となることが決定された。

2012年12月に CAM-REDD の JCC として開催された第3回 FACCC 会合では、プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）と活動計画（Plan of Operations : PO）の修正が承認された。この PDM/PO は今後承認される予定であるカンボジア国家 REDD+タスクフォースの多年度行動計画（multi-year work plan）の基礎となるものであり、この多年度行動計画に沿って、UN-REDD、CAM-REDD、FCPF、米国国際開発庁（United States Agency for International Development : USAID）による森林及び生物多様性プロジェクト支援/アジアの森林における排出削減プログラム（Supporting Forests and Biodiversity project on Lowering Emissions in Asia's Forests : SFB/LEAF）等の REDD+支援枠組みが活動を進める予

定である。

1-2 協力内容

1-2-1 実施体制

本プロジェクトは2011年6月1日から2016年5月31日（5年間）を協力期間とし、カンボジア森林局職員〔カウンターパート（Counterpart：C/P）チーム〕と日本側の森林局政策アドバイザーチーム（Technical Advisor to Director General of Forestry Administration：TA/DG-FA）及び計測・報告・検証（Measurement, Reporting and Verification：MRV）/参照排出レベル（Reference Emission Level：REL）技術支援チーム（JICA TA Team）により実施運営されている。プロジェクトは、その他のREDD+支援枠組みとともに、カンボジア政府関係省庁が共同実施する国家REDD+プロセスを支援している。

1-2-2 プロジェクトの国家REDD+プロセスにおける位置づけ

国家REDD+プロセスはカンボジアのREDD+ Readiness（準備）に関するすべての要素を網羅している。カンボジアREDD+ Readinessの計画段階ではさまざまな援助機関による支援枠組みを通じた支援が表明されたが、カンボジア政府はそれらの活動の重複を避けるための調整を行っている。2014年1月13日の時点で、すべての支援枠組みは暫定REDD+タスクフォース行動計画の4つの成果について合意しており、本プロジェクトはこれら4成果をPDMに反映している。

1-2-3 プロジェクトの枠組み

PDM第4版（合同レビュー報告書 Annex2）に設定されている上位目標、プロジェクト目標、及びプロジェクト成果は以下のとおりである。

- (1) 上位目標：REDD+実施の経験に基づき、気候変動の緩和策として持続可能な森林経営が推進される。
- (2) プロジェクト目標：REDD+の戦略と政策の実施が円滑に行われるように関係者（ステークホルダー）の能力が強化される。
- (3) 成果：
 - 1) 国家ロードマップに準じたREDD+の準備プロセス（REDD+ Readiness Process）と関係者（ステークホルダー）の関与のための効果的な国レベルの管理体制構築を支援する。
 - 2) 国レベルのREDD+戦略策定と実施枠組みの整備を支援する。
 - 3) プロジェクトレベルと準国レベルのREDD+実施能力向上を支援する。
 - 4) 森林炭素量のモニタリングシステムと参照レベル/参照排出レベル（RLs/RELs）の設計と実施能力向上を支援する。それぞれの支援枠組みの4つの成果への貢献度合いは図1のとおりである。

成果	主要支援枠組み						
	UN-REDD	CAM-REDD	FCPF	FAO's TCP-NFI ¹	SFB/L EAF	日本大使館	コミュニティフォレストや保護林における将来的 REDD プロジェクト
成果 1 : 制度構築	√√	√	√		√		
成果 2 : 戦略/政策	√√	√	√√		√		
成果 3 : プロジェクト/準国レベルの進展	√	√√	√√		√	√√	√√
成果 4 : MRV/REL/温暖化ガスインベントリー	√√	√√	√	√√	√	√√	√

√√ : 主要な役割 √ : 補助的役割 (REDD+事務局長による発表資料より抜粋)

図 1 国家 REDD+プロセスの 4 成果における REDD+主要支援枠組みの役割

1-2-4 投入 (2013 年 12 月末現在)

本プロジェクトの投入実績は以下のとおりである (それぞれの詳細は合同レビュー報告書の Annex VI から Annex X を参照)。

(1) 日本側投入実績 :

日本側の主要な投入 (専門家派遣、C/P の本邦研修、現地業務費執行) は予定どおり実施された。

専門家	8 名の専門家が 5 分野 (チーフアドバイザー、業務調整/コベネフィット、森林リモートセンシング/地理情報システム (GIS)、森林資源インベントリー、森林データベース) において派遣された。投入された人月 (MM) の総計は 2014 年 1 月において 118.13 MM (Annex VI)。ただし、チーフアドバイザーの MM は政策アドバイザーと重複している (兼任のため)。
C/P 本邦研修	8 名の研修員が本邦研修に参加した (Annex VII)。
資機材供与	2013 年 12 月までに日本側がカンボジアにおいて調達した供与機材 (建築資材やコンピューターなどを含む) の総額は 377,444US ドル (約 37,744,400 円) (Annex VIII)。
現地業務費	2013 年 12 月までに、現地業務費 (上記資機材供与費を含む) としてプロジェクト予算から総額 814,108 US ドル (約 81,410,000 円) が支出された。また、政策アドバイザー (チーフアドバイザーが兼務) の活動予算で本プロジェクトにも寄与した額が 474,103US ドルあり、合計 1,288,211 US ドル (約 128,800,000 円) となった (Annex IX)。

¹ FAO TCP-NFI : Food and Agriculture Organization Technical Cooperation Programme on National Forest Inventory

カンボジア側投入実績：

C/P の配置	2014 年 2 月現在、合計 19 名のカンボジア側 C/P（森林局管理職 4 名、森林局技術系職員 11 名、水産局技術系職員 2 名、環境省技術系職員 2 名）及び 3 名のプロジェクトスタッフが本邦研修を受けた（Annex X）。
ローカルコスト	予算配置なし
施設の提供	森林局内執務室、光熱費、会議室、備品等

第2章 中間レビュー調査団の概要

2-1 調査の目的

本調査は、JICA とカンボジア政府による合同レビューの形式をとり、2014年2月に実施された。目的は以下のとおりである。

- (1) プロジェクトの達成度を当初計画と比較し検証する。
- (2) 活動実施プロセスに影響した促進要因、阻害要因を確認する。
- (3) プロジェクトを評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から分析する（特に有効性と効率性）。
- (4) 活動の進捗状況や結果を現地において確認する。
- (5) プロジェクト終了時までにはプロジェクト目標の達成と他関連プロジェクトへ適用し得る教訓を取り出すために、必要な対応（PDMの修正を含む）を提言する。
- (6) 日本・カンボジア合同中間レビュー調査団による合同レビュー報告書を作成し、プロジェクトのJCCにおいて報告し、両国側がミニッツ（Minutes of Meeting : M/M）に署名する。

2-2 評価調査団の構成

2-2-1 日本側

氏名	担当業務	所属
宮 蘭 浩 樹	総括	JICA 国際協力専門員
川 原 総	森林政策/REDD+	林野庁国際森林減少対策調整官
平 知 子	評価計画	JICA 地球環境部森林・自然環境保全第一課 企画役
瀧 本 麻 子	評価分析	日本工営（株）〔グローバル・リンク・マネジメント(株)〕

2-2-2 カンボジア側

氏名	担当業務	所属
H.E. Than Sarath	総括	農林水産省森林局 総務・計画・経理部長
Dr. Keo Omaliss	/	農林水産省森林局 野生生物・生物多様性部長
Dr. So Thea		農林水産省森林局 森林-野生動物開発研究所 副所長
Mr. Khun Vathana		農林水産省森林局 REDD+タスクフォース事 務局長

2-3 調査期間・日程

2014年2月2日～2014年2月21日（20日間）

調査日程は以下のとおりである。

2月2日	日	【コンサルタント】00:20 羽田→（バンコク経由）→09:00 プノンペン
2月3日	月	08:30：JICA 事務所及び専門家との打合せ PM：専門家との打合せ（PDM & PO 等）
2月4日	火	11:00：プロジェクトマネージャーOmaliss 氏へのインタビュー 14:00：国連食糧農業機関（FAO）（Taskforce 事務局）インタビュー 15:00：UN-REDD（Taskforce 事務局）インタビュー 16:00：Taskforce 事務局インタビュー
2月5日	水	08:30：水産局インタビュー 14:15：環境省インタビュー
2月6日	木	10:00：コンサベーション・インターナショナル（CI）インタビュー 14:00：JICA カンボジア事務所打合せ
2月7日	金	09:00：野生動物保護協会（WCS）インタビュー 10:30：JICA カンボジア事務所打合せ 14:00：森林局（CF&ベネフィットシェアリング）
2月8日	土	10:00：環境省インタビュー
2月9日	日	資料整理、評価分析
2月10日	月	関係機関の訪問、情報収集 合同レビュー調査報告書素案作成 【官団員】10:35 成田→（香港経由）→17:40 プノンペン
2月11日	火	08:30-11:00：JICA 事務所及び専門家との打合せ(含評価分析団員からの結果報告) 14:30-15:30：合同レビュー調査団内打合せ（評価の進め方、スケジュール等） 16:00：森林局長表敬 16:30：森林局次長 Ang 氏との打合せ 17:30：Taskforce 事務局長 Vathana 氏との打合せ
2月12日	水	09:30-10:30：FACCC(合同レビューキックオフ会合) 14:30-15:30：合同中間レビュー調査団員打合せ
2月13日	木	08:30：FAO 事務所代表表敬 10:00：国連開発計画（UNDP）事務所代表表敬 14:00：FA タスクフォース事務局ヒアリング

		16:00 : Technical Working Group 代表〔欧州連合 (EU)〕表敬
2月14日	金	現場視察 (プレイロング)
2月15日	土	現場視察 (プレイロング)
2月16日	日	団内打合せ/資料整理
2月17日	月	AM : 日本側調査団内打合せ 11:00 : UN-REDD Peter 氏との打合せ PM : 合同レビュー報告書案作成 17:30 : MRV 関係者ヒアリング
2月18日	火	AM : 合同レビュー調査報告書案作成 PM : 合同レビュー調査報告書案に係る合同中間レビュー調査団員との打合せ
2月19日	水	合同レビュー調査報告書案及び M/M 作成 15:00 : 森林局次長との打合せ
2月20日	木	09:00 : 合同レビュー調査報告書署名 09:30-11:00 : FACCC(JCC) 合同レビュー調査報告書及び M/M 署名 16:00-17:30 : 大使館報告
2月21日	金	10:00-11:00 : JICA 事務所報告 【官団員】 プノンペン→ (香港経由) → 【コンサルタント】 プノンペン→ (バンコク経由) →
2月22日	土	→ 成田

2-4 中間レビュー調査方法

本調査は以下の手順・方法により実施した。

- (1) 関係資料・書類を本プロジェクト関係者及び関係諸機関から収集する。
- (2) 日本人専門家、カンボジア森林局の主要関係者に面談を行う。
- (3) 本プロジェクトに関連する省庁（環境省、水産局）、及び関連プロジェクトやプログラム（UN-REDD や CI 等の REDD+支援枠組み）などを訪問し、情報を収集する。
- (4) 収集されたデータ・情報を PDM (Annex II) 及び PO (Annex III) に基づき分析する。
- (5) 本プロジェクトの達成度、実施プロセス等を評価 5 項目に基づき整理し、結果・改善案・教訓等をまとめる。なお、JICA 評価ガイドラインにおける評価 5 項目の各定義は以下のとおりである。
- (6) レビュー結果を合同レビュー委員会において共有・協議する。
- (7) 合同レビュー結果を関係者及び JCC 等で共有し、本プロジェクトの教訓に関して合意する。

妥当性	プロジェクトの目指している効果（プロジェクト目標や上位目標）が受益者のニーズに合致しているか、問題や課題の解決策として適切か、相手国と日本側の政策との整合性はあるか、プロジェクトの戦略・アプローチは妥当か、公的資金である ODA で実施する必要があるかなどといった「援助プロジェクトの正当性・必要性」を問う視点
有効性	プロジェクトの実施により、本当に受益者もしくは社会への便益がもたらされているのか（あるいはもたらされるのか）を問う視点
効率性	主にプロジェクトのコスト及び効果の関係に着目し、資源が有効に活用されていたか（あるいはされるか）を問う視点
インパクト	プロジェクトが実施によりもたらされる、より長期的、間接的効果や波及効果を見る視点。予期しなかった正・負の効果・影響も含む
持続性	援助が終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続しているか（あるいは持続の見込みはあるか）を問う視点

出所：新 JICA 事業評価ガイドライン（2010 年 6 月）

2-5 主要面談者

合同レビュー報告書の Annex I を参照のこと。

第3章 中間レビュー結果の概要

3-1 実績の確認

4つの成果を達成するために、本プロジェクトは100以上の詳細に分けられた活動を実施している。PDM第4版に沿って投入、活動、成果、プロジェクト目標、上位目標の進捗状況が確認された。それぞれの活動の当初計画と現時点の進捗状況については合同レビュー報告書 Annex III の PO-4 にまとめられている。

3-1-1 プロジェクト目標の達成見込み

現在、REDD+プロセスの実施体制や意思決定機関としての国家 REDD+タスクフォースやその事務局が設立され、能力向上の過程にある。これらの仕組みの下で、政策・法制度について協議のうえ策定されていく予定である。現存する政策・法制度の改訂についても REDD+プロセスの実施体制が今後強化されるなかで協議されていく予定である。プロジェクト計画段階ではプロジェクト目標を達成するために必要な政策/戦略が明確には判明していなかったが、現在はほとんどの関係者がおのおのの足並みを揃えるための統一した道標として、国家 REDD+戦略が必要であると考えている。そのためにはプロジェクト目標の指標は国家 REDD+戦略の策定に基づいたものに変更する必要があると判明した。

3-1-2 各成果の達成状況

全体的には、成果3に係る活動はスケジュールどおり進行しているが、成果1と成果2に係る活動は当初計画から一部遅延しており、成果4に係る活動は、一部まだ開始されていないものや、限定的に実施されているものがある。

本調査実施時における成果の達成状況は以下のとおりである。

(1) 成果1の達成状況

成果1：国家ロードマップに準じた REDD+の準備プロセス(REDD+ Readiness Process) と関係者（ステークホルダー）の関与のための効果的な国レベルの管理体制構築を支援する。

指標 1-1: 関係省庁により構成されるタスクフォース/事務局/アドバイザーグループ/コンサルテーショングループが設置され、それぞれの TOR が承認される。

現況：おおむね達成

タスクフォース事務局は2012年半ばに設置されたが、タスクフォース自体とコンサルテーショングループの設置にはプロジェクト開始後およそ2年を要し、初回会合が行われたのは2013年9月であった。タスクフォース設置とその業務内容についての協議は、2013年の年間を通して行われた。アドバイザーグループに関しては、UN-REDD Programme Executive Board (PEB)がその役割を担うことができるため、設置はされない見込みである。TA/DG-FAは暫定タスクフォースの主要メンバーとして、暫定事務局を組織し、事務局とタスクフォースの設置を支援した。

	CAM-REDD の今後の計画： 必要な支援の継続
指標 1-2: REDD のウェブサイトが作成され、啓発活動計画が開発される。	<p>現況: 多少の遅延あり</p> <p>Cambodia REDD+のウェブサイトはタスクフォース事務局監修の下作成され (http://www.cambodia-redd.org/)、カンボジア国家 REDD+プロセス、さまざまな支援枠組み、関係諸機関の情報やイベントスケジュールなどが掲載されている。CAM-REDD もプロジェクト情報を当該ウェブサイトに提供している。</p> <p>啓発活動に関しては REDD+広報グループが事務局の下に発足し、ニュース等について分析中である。事務局はタスクフォースメンバーを対象とした啓発トレーニングも実施しており、2013 年にベトナムへのスタディツアーを実施した。年間の広報活動計画については現在作成中である。</p> <p>CAM-REDD の今後の計画：</p> <p>上記ウェブサイトの CAM-REDD プロジェクト情報は JICA カンボジア事務所のウェブサイト等と今後リンクし、情報ネットワークを広げて行く予定である。</p>
指標 1-3: 地域の広報ツールが開発され、啓発イベントが実施される。	<p>現況: 多少の遅延あり</p> <p>事務局によりニュースレターがこれまでに 2 回発行されており、TA/DG-FA もその作成に協力した(第3号を準備中)。コンサートなど、啓発目的のイベントも開催された。</p> <p>CAM-REDD の今後の計画：</p> <p>必要に応じて支援を継続</p>

成果 1 の主要部分は既に達成されており、残りの活動についても計画に基づき実施されている。タスクフォース/事務局/コンサルテーショングループの設置はカンボジアが国家 REDD+プロセスを進展させていく基盤となる重要な成果といえる。実施中の啓発活動については事務局中心に引き続き実施されるが、CAM-REDD としての成果 1 に関する活動はほぼ終了したといえる。

(2) 成果 2 の達成状況

成果 2：国レベルの REDD+戦略策定と実施枠組の整備を支援する。	
指標 2-1：関係省庁の REDD+戦略が作成される。	<p>現況：遅延している</p> <p>森林局の初期 REDD+戦略は国家森林計画 (NFP) のプログラム 6 のなかで作成済みである。環境省の REDD+戦略は UN-REDD、USAID の財政支援、及び TA/DG-FA の助言を基に準備段階にある。水産局については現在まだ REDD+に対する基本的な理解を深める段階のため、戦略の策定に関する協議が進展していない。</p> <p>CAM-REDD の今後の計画：</p> <p>全体的な国家 REDD+戦略の作成に支援の重点を置く一方で、環境省への支援に早急なてこ入れを図る予定である。環境省の REDD+戦略の草案を 2016 年中に完成させることを目標とする。同時に、TA/DG-FA の水産局への支援を強化し、REDD+戦略策定のための協議を始めることを予定している。</p>
指標 2-2：タスクフォースが	現況: 開始されていない

REDD+プロジェクトのガイド ランスを策定する。	CAM-REDD の今後の計画： 本指標は改訂を要する。
指標 2-3：REDD+実施枠組みの ための関連法規制が整備され る。	現況： 多少の遅延あり 森林局は TA/DG-FA の助言の下、REDD+実施に必要な法 規制について協議・検討しており、また野生生物と生物多 様性法案を作成中である。 CAM-REDD の今後の計画： 本指標は改訂を要する。
指標 2-4：REDD+ 戦略の戦略 的社会的環境アセスメント	現況： 多少の遅延あり REDD+セーフガードに係る非公式のグループが政府職 員、事務局、UN-REDD、TA/DG-FA により結成された。本 グループは現在の国際/国内レベルの関係情報をまとめた セーフガードの技術報告書の最終化に取り組んでいる。 CAM-REDD の今後の計画： 本指標は改訂を要する。
指標 2-5：科学的知識や研究結 果が REDD+実施運営に適用さ れる。	現況： ほぼ計画通り 森林局職員は TA/DG-FA の支援の下、REDD+の経理方法 など技術的問題に関し勉強を開始した。 CAM-REDD の今後の計画： 本指標は改訂を要する。

タスクフォースと事務局の設置が当初の計画から大幅に遅れたことから、成果 2 に
関する多くの活動は遅延を余儀なくされている。タスクフォースとその下に設置され
た REDD+に関する 4 つの技術グループ（コンサルテーションとセーフガード、利益分
配、REDD+プロジェクト、MRV/REL）の初回会合は 2014 年 1 月に開催されており、
今後は成果 2 の達成に向け、より高い頻度で開催されていく予定である。

国家 REDD+ロードマップが策定された当時は、関係者間でも国家 REDD+戦略に関
し、設計方法、構成要素、策定期等について明確な合意がなく、本成果の指標が曖
昧なものになった。しかし、これら懸案事項は CAM-REDD がここまで 2 年半以上にわ
たり活動していくなかで、次第に明らかになっている。これを受け、プロジェクト終
了時に向けて、現在までの REDD+プロセスの状況・条件を反映した指標に改正してい
くことが必要である（詳細は「5 章 提言」を参照）。

(3) 成果3の達成状況

成果3：プロジェクトレベルと準国レベルの REDD+実施能力向上を支援する。	
指標 3-1：少なくとも2州が REDD+戦略を計画・実施する能力を有する。	<p>現況： ほぼ計画通り</p> <p>政府内で REDD+実施に関わる省庁（森林局、水産局、環境省等）や REDD+支援枠組み、そして REDD+パイロットサイトにおける活動の種類はそれぞれ多種多様である。</p> <p>TA/DG-FA は3つの REDD+パイロットプロジェクト、5つの保護林、1つの保全地域、1つの浸水林、1つのマングローブ林、及び保護林に移行中の2つの生産林の森林管理活動を技術的、財政的に支援している。技術的支援は REDD+フィージビリティ・スタディ (F/S) の実施、自主的な取り組みの炭素クレジット基準への登録支援などを含み、財政的支援は森林官の活動に要する備品整備や政府職員が現場に行くための旅費等を含む。</p>
	<p>CAM-REDD の今後の計画：</p> <p>CAM-REDD は上記13のパイロットサイトの支援を、ボランティア・カーボン・スタンダード (VCS) の検証作業の技術的支援、他 REDD+支援枠組みとの調整、3主要省庁の能力向上(特に REDD+プロジェクト技術チームのメンバー)等の活動をとおして継続する予定である。試験的に、パイロットサイトの1つをより大きな準国レベルの REDD+実施サイトにしていくことも視野に入れている。</p>

CAM-REDD は13のパイロットサイトにおいて、REDD+実施者（政府省庁、NGO、村落住民等）と協力しながら支援を行ってきた。一方で、これらのさまざまな森林管理に関する活動（REDD+実施活動を含む）は、それぞれの最終目標が関係者間で広く共有されていない部分があり、これが現在のあいまいな指標の原因となっている。

気候変動枠組み条約（United Nations Framework Convention on Climate Change：UNFCCC）第19回締約国会議（The nineteenth session of the Conference of the Parties：COP19）における REDD+に関する決定や準国レベルでの活動に関する協議の進展を反映し、成果3の指標は修正されることが望ましい。

(4) 成果4の達成状況

成果4：森林炭素量のモニタリングシステムと参照レベル/参照排出レベル（RLs/RELs）の設計と実施能力向上を支援する。	
指標 4-1：優先州において、RLs/RELs が試算される。	<p>現況： 遅延している</p> <p>RL/REL 開発の技術的協議は、2014年1月に MRV/REL の技術チームが関係省庁により設立されたことで、開始したばかりである。それ以前には JICA TA チームはカンボジアにおける REL の開発について現存するデータとシミュレーションプログラムを使ったワーキングペーパーを2つ作成し、森林局に提出している。ワーキングペーパーの内容は MRV/REL のワークショップでも紹介された。</p>
	<p>CAM-REDD の今後の計画：</p> <p>JICA TA チームは森林局と共に、最初から国家 REL/RL を開発するべきか、準国レベルで開始するべきかについての協議を行っていく予定である。</p>

<p>指標 4-2：国家森林被覆モニタリングシステムが開発される。</p>	<p>現況： 多少の遅延あり カンボジアの状況に適した森林被覆モニタリングを準備するために、JICA TA チームは衛星画像、リモートセンシング、GIS などの基礎研修を森林局や水産局の職員に実施した（環境省への研修については実施計画を協議中）。同チームは森林局職員がその他の REDD+ 支援枠組みから提供された炭素インベントリーやモニタリング方法などについて実効性を判断するための技術的助言も行っている。</p> <p>CAM-REDD の今後の計画： プロジェクト終了時まで初期の国家森林モニタリングシステムが設計され試行されることを目標とする。</p>
<p>指標 4-3：排出・吸収ファクターを計算するための国家森林インベントリーが設計される。</p>	<p>現況： 遅延している 森林局から提供されたデータ・情報を基に、JICA TA チームは現存する森林インベントリーデータや樹木の相対成長式がどれくらい実地的な利用価値があるかについての分析を行い、将来的な国家森林インベントリー（NFI）の計画についてのワーキングペーパーを作成した。FAO も NFI の設計に関して森林局を支援しており、JICA TA チームは調査結果を FAO と共有し、森林局職員と今後の方針について合同で協議を行っている。</p> <p>CAM-REDD の今後の計画： JICA TA チームは森林局が提案を受けている NFI の設計図に関し実用性や実行可能性を判断するための技術支援を継続して行う予定である。</p>
<p>指標 4-4：国家多目的 GIS のコンセプトが設計される。</p>	<p>現況： 遅延している カンボジア政府は現存する地理データを政府省庁間、あるいは政府外の関係者とどのように共有するかについて検討中であり、多目的 GIS の設計プロセスに関する協議は実質的にはほとんど開始されていない。一方で、JICA TA チームは森林局の担当職員に GIS 使用に関する基礎研修を実施している。</p> <p>CAM-REDD の今後の計画： JICA TA チームは森林局と共に地理データを有する関係省庁とデータ共有に関する協議を行う予定である。もしデータ共有が実現すれば、すべてのデータは 1 つの GIS データベースに統合する。</p>
<p>指標 4-5：暫定的な削減に関する登録システムが設計される。</p>	<p>現況： 開始されていない</p> <p>CAM-REDD の今後の計画： この活動は JICA TA チームの活動内容（業務実施契約）に該当していないため、指標の変更が必要。</p>
<p>指標 4-6：森林局/環境省/水産局が UNFCCC への GHG 報告に関する必要条件を理解する。</p>	<p>現況： 開始されていない</p> <p>CAM-REDD の今後の計画： PO にある本指標下の活動は実施されていないが、GHG 報告システム構築に関する基礎研修は指標 4-1 の活動のなかで JICA TA チームにより、森林局職員に提供されている。本指標は他指標と統合されることが望ましい。</p>

成果 4 に関する活動はタスクフォース下の MRV/REL 技術チーム設立の遅延により、大幅な遅延を余儀なくされている。2014 年 1 月の当該技術チームの初回会合を受け、今後 MRV/REL に関する協議の進行が早まることが期待されている。一方で、2013 年 11 月の COP19 では MRV/REL に関し主要な懸案事項について合意されたため、UNFCCC

への報告の必要条件やスケジュールがかなり明確になった。これを受け、成果4の指標の変更を現時点で行うことが望ましい。

3-1-3 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：REDD+の戦略と政策の実施が円滑に行われるように関係者（ステークホルダー）の能力が強化される。	
指標1： REDD+活動実施を通して、必要な政策・法制度が新規策定される。	現状： REDD+プロセスの実施体制や意思決定機関としての国家REDD+タスクフォースやその事務局が設立され、能力向上の過程にある。これらの仕組みの下で、政策・法制度が協議され策定されていく予定である。
指標2： REDD+活動実施を通して、現存の政策・法制度が改訂される。	現状： 現存する政策・法制度の改訂についてもREDD+プロセスの実施体制が今後機能を向上する中で協議されていく予定である。

プロジェクト計画段階ではプロジェクト目標を達成するために必要な政策/戦略が明確には判明していなかったが、現在はほとんどの関係者がおのおのの足並みを揃えるための統一した道標として、国家REDD+戦略が必要であると考えている。そのためにはプロジェクト目標の指標は国家REDD+戦略の策定に基づいたものに変更する必要がある（詳細は「5章 提言」を参照）。

3-2 5項目による評価結果の要約

3-2-1 妥当性

妥当性は高い。

政策面では、REDD+推進はカンボジアの気候変動政策全体のなかでも主要なコンポーネントである。また、国家REDD+ロードマッププロセスは、複数の政府関係省庁の合意の元に形成されており、プロジェクトはそのロードマップに準じている。したがって、プロジェクトはカンボジアの国家政策や利益との関連性が高いといえる。また、カンボジアはJICAのREDD+支援の重点国でもある。REDD+準備プロセスにはさまざまな種類の支援が必要であり、CAM-REDDは他の支援フレームワークと計画段階から協議を重ね、森林局がREDD+実施のために必要な能力向上支援を的確に実施している。現場レベルでは、多種多様な森林を有する13のパイロットサイトで、REDD+に必要な活動の実施支援を行い、現場の能力向上及び経験の蓄積が進んでいる。現段階で、プロジェクトが上位目標の達成に明確に貢献できるかどうかを判断するのは時期尚早だが、プロジェクトの活動はすでにカンボジアのREDD+プロセスの発展に貢献していることは間違いないといえる。

3-2-2 有効性

有効性は比較的高い。

PDMの指標や活動の一部にはかなり曖昧なものがあり、プロジェクト終了時に達成度を評価することが困難なため修正を必要とするが、プロジェクト目標の根幹である「関係者の能力向上」は、これまでのプロジェクトの進捗状況と現在進行中の活動から見て、達成される見込みが高い。プロジェクト前半期間が終了した時点で、活動の一部には遅延が生じているが、TA/DG-FA チームや JICA TA チームはカンボジア政府の REDD+実施の要となる人材のトレーニングに時間と労力を費やしており、REDD+実施のための基盤は整いつつある。

3-2-3 効率性

効率性は比較的高い

組織的な整備（成果1の達成による）が遅延したため、プロジェクト活動の一部は修正・変更を余儀なくされた。その意味で、遅延の原因自体は本プロジェクトがコントロールできるものではなかったが、プロジェクトの前半期間の支出が常に効率的であったとは言い難い。一方、タスクフォース事務局と TA/DG-FA はさまざまな REDD+関係者とそれぞれの活動に重複がなく、お互い補完しあうものになるよう、頻繁に協議を重ねてきた。これらの対話は予算の効率的な執行に貢献しており、また、CAM-REDDの予算配置は現場レベルの要求に迅速に応じる点で他の支援枠組みなどから評価をされている。これは限られた予算の中で、本プロジェクトの国家 REDD+プロセスへの貢献度を上げる意味で大変有効な方法である。また、他支援枠組みと同じロードマップの下で活動することにより、緊密な相乗効果が期待でき、それにより大きな目標が達成出来るという意味でも効率性は高いといえる。

3-2-4 インパクト

インパクトは高い。

タスクフォースとコンサルテーショングループが設立されたことにより、複数のステークホルダー（政府関係者、ドナー、NGO等）が一同に会することができる場がつくられた。これはカンボジアの森林セクターにとって画期的な組織上の発展である。これら会合に出席することが関係省庁の職員たちの意識改革につながり、REDD+という新しいコンセプトをカンボジア政府全体が理解し、行動を起こしていくための重要な場になっている。国際 REDD+交渉プロセスはまだ不透明な部分が残るものの（特に資金メカニズム）、カンボジアの REDD+のプロセスは確実に進展しているといえる。

3-2-5 持続性

予測するには時期尚早。

プロジェクトの全体的な持続性は「予測するには時期尚早」と判断された。政策レベルでは、タスクフォースの会合を通じて、REDD+のために必要な政策・法制度の開

発が進行することが期待される。ただし、タスクフォース会合は現在まで、活発な活動を開始していないため、今後の REDD+政策や政治レベルでの支援の持続性について現時点では判断が難しい。主要な関係省庁（森林局、水産局、及び環境省）はそれぞれ国家 REDD+プロセス実施に意欲を見せており、組織的な支援は今後も持続すると考えられる。しかし、人的配置については問題が残っている。財政的支援については、今後少なくとも数年は、CAM-REDD やその他ドナーのコミットメントにより継続の保証がされているが、それらの支援枠組みが 2016 年前後で終了した後に關しては、REDD+資金メカニズムが国際的にあるいは二国間で設立されるか、またどのように設立されるかによって状況が変わってくるとみられる。また、それら資金メカニズムがカンボジアに適用され得るかにもよる。技術的持続性についてはまだ関係省庁への技術研修を実施し始めた段階にあるため、今後の展望を判断することは難しい。しかし、国際的に通用するレベルの MRV を実施し、RL/REL を設置するに十分な数の人材をカンボジアで教育するには、かなりの年月を必要とする。技術面のキャパシティビルディングに必要な期間については成果 4 の活動がまだ本格的に開始していない現時点で推定するのは非常に困難である。

3-3 効果発現に貢献した要因

3-3-1 カンボジア政府のさまざまな支援枠組みを調整する当事者意識

REDD+のポテンシャルが高い多くの国々ではさまざまなタイプの支援を国内外で受けているが、これらの支援は往々にして異なる目標を持っていたり、それぞれの活動が重複、あるいは相反する結果を目指していることがある。カンボジア政府はこのような問題を避けるべく、すべての支援枠組みを 1 つの包括的枠組み(国家 REDD+ロードマップ)の下で調整してきた。この調整作業はかなりの労力を要するが、それゆえカンボジアではさまざまな支援枠組みが比較的円滑な協力体制を築いており、他の REDD+国に比べて優位性が高いといえる。長期的には、この努力がさまざまな支援の有効活用につながっていくと考えられる。

3-3-2 柔軟な仕組みと適切な予算配置

本プロジェクトは、柔軟で適切な財政面の支援を行っているとして、カンボジア政府と他支援枠組みより、高く評価されている。カンボジア側ではさまざまな REDD+支援が展開されているが、それぞれの活動の間をつなぐ予算が不足する問題が常に存在している。REDD+支援のプロジェクトやプログラムは予算支出に詳細なルールが適用されることが多く、不測の事態に対応するような予算配当が困難なことが多い。CAM-REDD は予算の柔軟性を出来る限り確保する努力をして、さまざまな支援枠組み同士のギャップをつなぎ、効果的・効率的に全体の目標である国家 REDD+プロセスに貢献できるよう働きかけている。

3-3-3 着実なアプローチ

本プロジェクト活動は計画段階では予期し得なかったさまざまな困難により遅延を余儀なくされている部分がある。しかし、日本人専門家（TA/DG-FA チーム及び JICA TA チーム）を含めた CAM-REDD のメンバーは関係者と根気よく協議を続け、活動の順序や項目を変更するなど柔軟に解決策を模索している。遅延の理由の大半はプロジェクト側でコントロールできないものの、プロジェクト自体の運営努力によって、多くの問題に対応しているといえる。カンボジア側と日本側のプロジェクトメンバーの連携・協力体制が堅固なことはカンボジア政府関係者やその他の支援枠組み関係者も認めるところである。

3-3-4 堅実な技術支援

本プロジェクトの重点の1つが成果4（MRV/REL システムの開発）への貢献である。この分野は非常に高度な技術が必要とされ、JICA TA チームは彼らの森林炭素モニタリングに関する GIS やリモートセンシングの豊富な知見を基に、森林局職員に着実な技術支援を行っている。また、JICA TA チームは UN-REDD の当該技術支援チーム（FAO が担当）とも密接に連携しながら活動を実施しており、森林局職員が成果4に関する活動で実現可能な意思決定を行えるよう支援を続けている。

3-3-5 NFP との強固な連携

REDD+は有効な政策の上で初めて実施可能であり、カンボジアの場合、REDD+プロセスが NFP と関連づけられていることが極めて重要である。本プロジェクトのチーフアドバイザーが森林局長への政策アドバイザー（TA/DG-FA）を兼務しているという現状は、プロジェクトがカンボジアの森林セクター全体的な視点を持つことを可能にし、NFP との関係性を強化できる意味で極めて有効であるといえる。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

3-4-1 政治的プロセスの遅延

REDD+タスクフォースと事務局の設立は当初計画から大幅に遅延した。これは主にカンボジア政府の政治的環境の不備や REDD+プロセスへの不十分な理解などから、すべての REDD+ Readiness に係る支援を受け入れる準備が整っていなかったためと判明した。CAM-REDD は他の支援枠組みとともにこの根本的問題に対処し続けており、状況は 2013 年末の時点でかなりの改善が見られている。タスクフォースが今後活動を活発化していくなかで、政治面での能力向上も期待され、意思決定もより迅速に行われることが期待されている。

3-4-2 関係者間の連携の困難

REDD+の関連分野は多岐にわたるため、関係者もさまざまである。基本的には森林セクターの問題であり、森林局が重要な役割を持つものの、それ以外にも主要な役割を持つ省庁が複数存在する。しかし、すべての政府省庁が国家 REDD+ロードマップとそのタスクフォース/事務局について同じ見解を持っているわけではないうえに、ロードマップの正当性に関する法的な理解やその役割、REDD+における関心事項についても省庁ごとに大きな違いがある。タスクフォースのメンバーは関係各省庁からの代表で構成されているが、REDD+に関して不十分な、あるいは異なる理解が多くみられる。事務局のメンバーでさえ、見解に相違が見られ、REDD+支援枠組みの一部からは事務局とのコミュニケーションや連携が困難だという声があった。

3-4-3 人的資源と能力の不足

もう1つの大きな阻害要因としては、カンボジア政府の人事管理の問題が挙げられる。首都プノンペンの生活費は年々増加の一途を辿っている一方で、公務員の給与体系はまったくその変化に対応していない。結果として、公務員の給与で家族の生活費を賄うことができず、ほとんどの職員が外部で別の仕事を持つことを余儀なくされている。これにより、職員が本プロジェクトに配置されていても、REDD+プロセスに実際に従事できる彼らの時間や努力は非常に限られたものになってしまっている。この問題が解決されない限り、カンボジア政府側からの人的配置は不十分なままであり、職員の能力向上に関する十分な活動の実施は困難である。

第4章 結論

合同レビュー調査団は国家 REDD+プロセスが当初計画より遅延はあるものの、そのプロセス自体の進展に CAM-REDD が着実に貢献していることを確認した。REDD+準備プロセスとして、成果1の達成は意義深い進展であるといえる。また、成果3に資する活動として、本プロジェクトがさまざまな現場での REDD+実証活動を支援する重要な役割を担っていることは他ドナーがあまり支援していない領域であり、注目に値する。本プロジェクトはまた、成果2と4の達成のための基盤整備にも貢献しており、今後活動が活発化することが期待される。

合同レビュー調査団は統一された国家 REDD+ロードマッププロセスの下、他支援枠組みと密接に協力して支援するという CAM-REDD の実施体制が、REDD+準備プロセスを支援する上で効果的かつ効率的であるという結論に達した。しかしプロジェクト期間の半ばを過ぎた現在、現行 PDM の活動と指標の一部は現実的なものではないことも判明した。国家 REDD+プロセスの進展や REDD+交渉、UNFCCC への締約国の報告義務などの環境の発展をかんがみ、PDM の修正が必要である。それに伴いプロジェクトの関係者の役割と責任についても再度定義する必要がある。

第5章 提言と教訓

5-1 提言

合同レビュー調査団はプロジェクト終了時に向けて、以下の点についてカンボジア政府及びプロジェクト関係者が検討及び対応すべきことを提言する。

5-1-1 カンボジア政府への提言

(1) 国家 REDD+プロセスのためのカンボジア側の責任意識と運営能力の強化

タスクフォースと事務局はそれぞれ REDD+活動を調整するための政府組織であるが、それらの役割と責任については事務局のスタッフ間ですら理解が広く行きわたっていない。これにより関係者と多数の支援枠組みの連携に問題が生じたという意見が見られた。タスクフォースと事務局の能力を更に強化するには、政府のより強力なリーダーシップが不可欠である。これには関係各省庁がより円滑な意思疎通を図ることや、REDD+に関して共通の認識を持つことなども含まれる。特にタスクフォース会合は、今後より頻繁に開催されるべきであり（中心メンバーによる非公式の会合を含む）、事務局はすべての支援枠組みとより密に協調していくべきである。

(2) 実証活動の相乗効果を最大化する

REDD+準備段階で現場での REDD+活動の実施を通して経験を蓄積することは非常に重要である。限られた予算のなかで本活動の成果を最大限に活用するには、現場活動を実施している省庁がお互いの経験を共有し、全体としての目標を合同で設定していくことが必要である。NGO などこれまでに協力しているパートナー組織との更なる連携も図られていくべきである。

(3) MRV/REL 関連の情報・データ管理の改善

国際的な REDD+財政支援を受けるために必要な精度の MRV/REL メカニズムを開発するには、データ管理の透明性と信頼性が非常に重要である。地理データの管理及び共有は大変困難な課題だが、政府はこの問題の重要性を理解し、関係省庁間の情報共有のためのメカニズム構築に関する協議を速やかに開始することが望ましい。

(4) カンボジア国家 REDD+戦略の開発

国家 REDD+ロードマッププロセスの実施を通して有用な経験が蓄積され、REDD+をカンボジアで推進するにあたっての重要な課題についても明確になってきた。カンボジア政府が次のステップに進み、UNFCCC-COP での最新の決定事項に準ずるためには、国家 REDD+戦略をロードマップの4つの成果を踏まえて策定する必要がある。国家 REDD+戦略に含まれるべき要素として以下の項目が挙げら

れる。

- 1) 戦略の目的（具体的な目標を含むことが望ましい。「(例) 20XX 年までに二酸化炭素排出量 (tons CO₂) が計測されている。）」
- 2) 背景（例：カンボジア森林セクター概観、関係省庁、現行の法制度、目標値を含む現存の計画/戦略、森林セクターの経済的・環境的重要性、森林減少と劣化の要因に関する情報）
- 3) 組織配置〔責任の所在と命令系統についての以下のすべての項目（セーフガード、国家森林モニタリング、財政等）の情報を含む。〕
- 4) 森林減少と劣化の要因に対処するための分析、政策、方策
- 5) REDD+活動由来の排出削減と吸収の報告を作成するための国家森林モニタリングシステム〔気候変動に関する政府間パネル（IPCC）Tier 1²レベル以上〕
- 6) 国家 MRV システム
- 7) 国家森林 RL/REL
- 8) セーフガードの情報を提供する国家システム
- 9) 温暖化ガス排出量と吸収量を IPCC ガイドラインに基づき報告できる、品質管理/品質保証の方法についても定められた国家システム
- 10) REDD+支払い金の受領・分配のための国のファンド
- 11) 国家利益分配システム
- 12) 温暖化ガス排出削減ユニットの登録及び国家会計システム
- 13) プロジェクト・準国レベルから国家レベルへ移行する進行過程
- 14) 戦略を実施するための予算（戦略はそれを実施するためのアクションプランを伴う。例：明確な節目・コストを伴ったそれぞれの省庁の実行戦略等。将来的には結果ベースの REDD+メカニズムから予算確保が見込めるが、当面、前払いの支援が必要となる可能性がある。どのようにこの前払い予算の確保を行うかについても考慮が必要。異なった資金繰りの方法が混在する場合、結果ベースの財政支援を受けることができるような方向性を示す）

(5) UNFCCC の決定に従った関係書類の提出

UNFCCC-COP の決定事項によると、締約国は REDD+プロセスの進展を報告し、将来的に結果ベースの支払いシステムに資格を有するために、隔年更新報告書

（Biennial Update Reports : BUR）を含むいくつかのレポートを提出しなければならない。この必要条件を満たすためには、カンボジア政府がこれらのレポートの準備を始めることが必要であり、そのなかには温暖化ガスの計測に加え、以下の項目を加えるべきである。

²IPCC ガイドラインにおいては、国別の温室効果ガス排出量算定において各国のデータの準備状況に応じて 3 段階の方法が提案されている。Tier 1 では IPCC ガイドラインにより提供される基本の排出係数（デフォルト値）や算定方法に従って温室効果ガス排出量の算定を行う方法で、各国独自の実測データが十分でない場合でも適用することができる。

- 1) 森林減少、劣化の要因の評価、及びそれらに対応するための政策と方法論
- 2) 環境・社会的セーフガードの現状
- 3) 国家森林モニタリングのデザイン
- 4) 国家（と準国家）REL/RL
- 5) MRV
- 6) 必要な財源

5-1-2 プロジェクトへの提言

(1) PDM 修正

合同レビュー調査団は PDM 修正、特にプロジェクト終了時の評価のために指標の修正が必要であることを提言する。現時点で修正が必要となった理由としては、以下が挙げられる。

- 1)カンボジア政府側に REDD+の主要な実施枠組みが設立された。
- 2)国家 REDD+タスクフォースにおいて、初期の多年度ワークプラン採用される見込みである。
- 3)国家 REDD+戦略など現行の PDM では明記されていない主要な成果が明確化された。
- 4)CAM-REDD の役割が明確化された。

変更案は以下のとおりである。

上位目標の指標：

森林減少率或いは／及び森林劣化率が低下する。

プロジェクト目標の指標：

- i) 国家 REDD+戦略の中に記された必要な政策・施策が実行される。
- ii) 国家 REDD+戦略を推進するための省庁間の連携が政策レベルで強化される。

成果 1 の指標：

- i) 国家タスクフォース、タスクフォース事務局、技術チーム、コンサルテーショングループが設置され、機能している。

成果 2 の指標：

- i) 国家 REDD+戦略が起草される。
- ii) セーフガードの国家ガイドラインが起草される。
- iii) 野生生物と生物多様性法の草案が大臣審議会に提出される。

成果 3 の指標：

- i) 排出削減が少なくとも1つのプロジェクトで承認される。

ii) 準国レベルの定義（ランドスケープか州レベル）が終了し、本格的な活動³が開始される。

iii) CAM-REDDにより支援された全てのパイロットサイトの経験がまとめられ、関係者に共有される。

成果4の指標：

i) 国家森林モニタリングシステム⁴が設計、実施される。

ii) 初期 REL(s)/RL(s) が開発される。

iii) IPCC Tier 1 より高いレベルで初期の計測が終了し、検証⁵のためのレポートが用意される。

(2) プロジェクトが蓄積した経験についての情報共有の強化

合同レビュー調査団は他支援枠組みとともに活動する CAM-REDD の実施体制を極めて効果的と認め、この経験を他国の REDD+支援枠組みを含め、カンボジア国内外に広く共有することを推奨する。

5-2 教訓

現在あるいは将来類似案件を実施する際に参考になると思われる、本プロジェクトから得られた教訓は以下のとおりである。

5-2-1 相手国政府のオーナーシップと政府内外関係者間の調整の重要性

REDD+は森林セクターのみならず、クロスセクトラルな取組みであることから関係する政府内外の機関間の調整が必須となる。また、REDD+のポテンシャルの高い国では、関心を有する幅広い援助機関が支援を実施しているが、支援の目標、ターゲット、時期等がさまざまであり、一方では、各々の活動が重複している場合も多い。そのため、政府、NGO、ドナー等多様なステークホルダー共通のプラットフォームとなる REDD+に係る政府戦略（国家 REDD+ロードマップ）を明確にし、関連する支援については、同プラットフォームの下で調整を図ることにより、さまざまな支援枠組みが連携のうえ、効果的な協力を実施することが可能となる。また、相互の協力体制を築くことができることから、関係者間の情報共有が図られ、効率的な協力の実施にもつながるといえる。

5-2-2 国家森林政策との連携

REDD+は有効な政策（NFP）として位置づけられることにより実施可能であり、同位

³ REL/RL の開発、森林減少の要因の同定、モニタリングシステムの設置等

⁴ 国家森林モニタリングシステムとは 2011 年 3 月 13 日付けの "Cambodia Readiness Plan Proposal on REDD+" によると「国家森林被覆査定と国家森林インベントリー」を指しているが、その他の支援枠組みでは（例、UNREDD/PB9/2012/IV/1）関係政策等も対象に含めたより幅広い意味のモニタリングシステムとして使用されていることもある。

⁵ カンボジア政府が最低限実施しなければいけない条件は、REDD+のために「森林」及び「土地利用図の判別」の再定義を XXXX 年まで（暫定案として 2014 年 3 月）に実施すること。

置づけが極めて重要である。JICA の支援体制としても、政策全般の支援を担当している政策アドバイザーと、同政策に位置づけられている REDD+を推進するためのプロジェクトを担当するチーフアドバイザーが連携（兼務）することにより、森林セクター全体的な視点を持ったプロジェクトの実施が可能となり、政策との関係性が強化され、現地ニーズに即した柔軟な協力の展開が可能になるといえる。

5-2-3 オールジャパンでの取組みの重要性

カンボジアにおける REDD+については、JICA のみならず、外務省による無償資金協力、日本の NGO、森林総合研究所など多くの日本の機関が支援を行っているところである。それらの支援については、CAM-REDD のチーフアドバイザーが中心となって、円滑な実施のための側面的サポートや必要な調整を行うことで、オールジャパンでの取組みが図られやすい状況となっており、他国や類似案件にとっても参考となるものである。

第6章 所感

6-1 団長所感

6-1-1 カンボジアにおける REDD+の進捗

UNFCCC-COP13（バリ）以降、REDD+に対する国際支援が強化されているが、各途上国における進捗状況は一様ではない。REDD+の取組みは一足飛びに進むものではなく段階的なアプローチ（キャパシティビルディング、試行、完全実施等）が必要であるが、国によっては全体的な方向性を欠いたままドナー主導で個々の活動が散発的に行われているケースも間々見受けられる。

そのようななか、カンボジアは REDD+ロードマップという共通のプラットフォームの下、JICA（CAM-REDD）、UN-REDD、FCPF 等関連ドナーが協調して政府の取組みを支援しているところが大きな特徴であり、いろいろな課題はあるものの着実な進展をみせている。一方で、国内の実施体制に関してはいまだ極めて脆弱で、CAM-REDD、FCPF の支援が終了する 2016 年段階（UN-REDD は 2014 年で終了予定）でカンボジア政府がどこまで体制整備を図れるかは大きなチャレンジであるが、今回の調査を通じてカンボジア側自身も今後 2 年から 3 年が正念場であることを自覚していることは感じられたところである。

6-1-2 日本の貢献

カンボジアの REDD+に対する支援としては CAM-REDD だけでなく、平成 21 年度 2 次補正による環境プログラム無償（外務省実施分でカンボジアは 9 億円）の効果は大きい。特に環境プログラム無償による資機材の供与や施設建設（違法伐採対策等のためのパトロール拠点となるレンジャーステーション）は CAM-REDD の成果 3 の REDD+デモンストレーション活動支援、成果 4 の森林情報整備に不可欠なものであり、両事業の連携による相乗効果が見受けられる。

その他、二国間オフセット・クレジット制度（Joint Crediting Mechanism : JCM）に関しては経済産業省・環境省支援による日本の民間事業者による実証調査が行われたところであるが、これまでの日本国内での議論を見る限り JCM における REDD+の扱いは不明確なままである（エネルギー特別会計を活用することから化石燃料由来の排出削減を優先）。

6-1-3 専門家の配置

気候変動対策は国の開発戦略と密接に結びついており、特に REDD+は森林・土地利用計画を含むクロスセクトラルな取組みであることから政策的な部分のフォローが不可欠である。そのようなねらいから個別派遣専門家である政策アドバイザーが CAM-REDD のチーフアドバイザーを兼任しているところであるが、それにより森林局長を含む幹部との意思疎通がスムーズに図られ、CAM-REDD の各活動が比較的順調に進んでいる大きな

要因の一つとなっている。

6-1-4 他ドナーとの連携

REDD+に関しては各ドナー間の支援競争的な部分があることは否めない。一方で、前述したように、カンボジアはREDD+ロードマップという共通のプラットフォームの下、JICA(CAM-REDD)、UN-REDD、FCPF等関連ドナーが協調して政府の取組みを支援している。なお、日本政府は、UN-REDD、FCPFにも拠出しているところである。

UN-REDDの支援は2014年末で終了予定であり、その後はCAM-REDD(2016年5月終了)及びFCPF(2016年12月終了)が中心となって支援していく構図となるが、各活動の実施に当たっては資金面含む効果的・効率的な役割分担とともに、更なる連携強化を図ることでカンボジアにおけるREDD+支援がわが国のバイ・マルチ連携の好事例となることを期待したい。

6-1-5 プロジェクト後半に向けて

今般の調査においては、これまでの取組みのレビューと共に、今後残された約2年半で成すべきことの明確化を図ったところである。UNFCCCの下の国際交渉では「途上国が更なる排出削減を行うなら先進国は支援を行う用意がある。」との構図の中で2015年のUNFCCC-COP21(パリ)において次期枠組みについて決定予定であり、今後2年間は先進国・途上国双方にとって極めて重要な期間となる。特に、途上国にとっては、資金提供を受ける前提となる温室効果ガスインベントリーを含む各種報告体制の整備が急務であり、CAM-REDDもその部分への支援を重点分野の一つとして取組みを行っていくことが肝要である。

6-2 川原団員所感(森林政策/REDD+)

全体的に、今般の調査を通じて、林野庁のREDD+担当職員として、REDD+プロジェクトを総合的に推進する本プロジェクトの意義を強く感じたところである。

6-2-1 成果1、2について

本成果は、UN-REDDがメインの支援を担い、CAM-REDDは補助的な支援との位置づけではあるものの、実際のところチーフアドバイザーがカンボジア側関係者(野生動物・生物多様性部長～REDD+担当者)や他のドナー等と緊密に連絡をとっている状況を2週間の出張期間中日々目にしたところである。他のドナーとの連携はそれぞれの機関の思惑が複雑に絡み合うなかで、その交通整理は想像以上に難しいものと推察されるが、チーフアドバイザーを中心とした関係者のフォローがプロジェクトの推進に貢献している。

6-2-2 成果3について

非常に重要かつ興味深い取り組みが行われていると考える。プレイロング地域を視察したが、コンセッションによる土地開発等が迫りくるなかで、バウンダリーの設置や違法伐採の取り締まりを行うなど、着実な成果が挙げられていた。特に違法伐採については森林劣化のドライバーとして対処が不可欠である一方で、地域住民にとっては背に腹代えられぬ行為でもあり対処が難しいところである。カンボトム州森林局や森林管理署等複数の箇所では黒檀等の材に始まり、大量の大型トラックや乗用車、更には材の輸送に使用された救急車の押収が確認された。問題の根深さを改めて認識しつつも、同時に森林局の方々の熱意が伝わってきたところであり、これもまた本プロジェクトのもたらした成果といえる。

また、本プロジェクト下で支援対象となっている13プロジェクトのうち、セイマにおいてはVCSにおいてverification（検証）まで終了、クレジットの発行に至っており、また他の1カ所（Oddar Meanchey CF）でも有効化審査が行われていることは注目に値する。VCSにおけるREDD+プロジェクトは、農業・森林・その他の土地利用（Agriculture, Forestry and Other Land Use : AFOLU）というプロジェクトスコープに属するが、AFOLUのプロジェクト自体が30程度しかなく、そのうちREDD+関連プロジェクトとなるとさらに件数は少ない。しかもその多くはアフリカや中南米が中心であり、アジアでは非常に珍しく、先駆的事例である。

加えて、カンボジアとは近い将来JCMにおいて署名の可能性があると期待している。REDD+は森林資源の状況等から考えると二国間オフセット・クレジット制度（Joint Crediting Mechanism : JCM）署名国のすべて実施できるわけではないが、相手国の要望があれば実施することとしており、カンボジアについてもREDD+実施が見込まれる国として注目をしているところである。カンボジアは国土面積がそれほど大きくないこと、また上述のように13ものサイトでCAM-REDDによる支援が行われているなど、国・準国レベルでのプロジェクト実施が期待できる点大きい。その意味からも成果3に向けた取組みは重要な位置づけであると考えている。

6-2-3 成果4について

コンサルタントチームが衛星画像を使用したモニタリング技術やNFIの支援を行っている。コンサルタントの業務では、REDD+の概念上重要となるRELについて他のドナーも交え議論・検討を重ね、勘案するデータについて、3時点では少ないとして4時点のデータを参照することするなど技術的に追求しており、UNFCCC枠組み下での取組みを想定する形で進められるなど、興味深い。

MRVチームにおける業務風景を拝見したが、同チームについても例に漏れずその人員には限りがあり、また他の業務との兼ね合いからCAM-REDDに対して職員が従事する時間も限られているなかで、コンサルタントからはチームに配慮しつつもきめ細かい指導

が行われていた。

この点、FAOがカンボジア政府に対して支援を行ったNFIの設計について、その成果がFAOの求める理想型であり、森林局の身の丈にあった技術指針とはいいいがたい部分があったことから、コンサルタント専門家が担当者等と作業を続け、これまで複数回MRVチームに対し提案を行っている。また、カンボジア政府の中で森林の定義があいまいであることもあり、コンサルタント専門家にとっては日々目に見えないさまざまな苦労があろうと思料する。

森林局長がREDD+はカンボジアの森林減少・劣化を防ぐ最後の機会かもしれないと言われていた。少なくとも森林局幹部は現状について危機感を抱いていることはうかがえた。この点、CAM-REDDプロジェクトは、カンボジア側からみても最高のパートナーではないかと考える。過去の歴史も手伝い、カンボジア政府は決して人材が豊富ではないというハンディがあるなかで、着実に成果を積み上げている。今後本プロジェクトが順調に進められることをREDD+担当者として期待する。

付 属 資 料

ミニッツ及び合同評価報告書 (The Joint Mid-Term Review Report)

**MINUTES OF MEETING
ON
SEVENTH FA'S CLIMATE CHANGE AND REDD+ COMMITTEE MEETING
(FACCC)
AS THE JOINT COORDINATING COMMITTEE (JCC) TO CAM-REDD
BETWEEN
RESPECTIVE REPRESENTATIVES OF
THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA
AND
THE JAPANESE MID-TERM REVIEW TEAM
RELATED TO
THE PROJECT FOR FACILITATING THE IMPLEMENTATION OF
REDD+STRATEGY AND POLICY (CAM-REDD)**

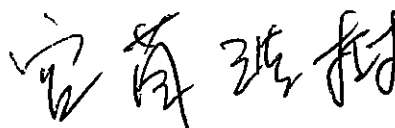
In accordance with the Record of Discussions (hereinafter referred to as "R/D") between the authorities concerned of the Royal Government of Cambodia (hereinafter referred to as "RGC") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") on 27 May 2011, the Project for Facilitating the Implementation of REDD+ Strategy and Policy (hereinafter referred to as "the Project") started in June 2011 in support of executing the REDD+ Roadmap. After the sixth meeting of Climate Change and REDD+ Committee of the Forestry Administration as the Joint Coordinating Committee to CAM-REDD under R/D (hereinafter referred to as "JCC") on 12 February 2014, the seventh meeting on the result of the Mid-term Review was held on 20 February 2014.

This Mid-term Review was conducted by the Joint Mid-term Review Team, which consisted of the Cambodian and Japanese review teams. As a series of discussions and surveys, both sides agreed on the contents of the Joint Mid-term Review Report attached hereto.

Phnom Penh, 20 February 2014

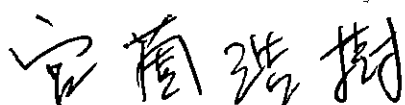


Fcy Dr. Chheng Kimsun
Delegate of the Royal Government,
Head of Forestry Administration
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries,
Royal Government of Cambodia



Mr. Hiroki MIYAZONO
Senior Advisor
(Forest Management / Climate Change),
Japan International Cooperation Agency,
Japan

The Joint Mid-Term Review Report
on
Project for Facilitating the Implementation of REDD+ Strategy and Policy
(CAM-REDD) in Cambodia



Mr. Hiroki Miyazano
Leader, JICA Review Team
Senior Advisor,
Japan International Cooperation Agency



H.E. Than Sarath
Leader, Cambodia Review Team
Acting Director of Administration,
Planning and Finance Department,
Forestry Administration of the
Government of Cambodia

Phnom Penh
February 20, 2014

Joint Mid-Term Review Team

CONTENTS

1.	Introduction	1
1.1	Purpose of Mid-Term Review	1
1.2	Members of Mid-Term Review Team	1
1.3	Schedule of Mid-Term Review	2
1.4	Method of Mid-Term Review	2
1.5	Outline of Project	2
2.	Project Achievements	6
2.1	Achievements of Inputs	6
2.2	Achievements of Activities	6
2.3	Achievements of Outcomes	7
2.3.1	Achievements of Outcome 1	7
2.3.2	Achievements of Outcome 2	8
2.3.3	Achievements of Outcome 3	9
2.3.4	Achievements of Outcome 4	9
2.4	Achievement of Project Purpose	11
2.5	Achievement of Overall Goal	11
2.6	Implementation Process and Framework	12
2.7	Factors Positively Affected Achievements	13
2.8	Factors Negatively Affected Achievements	14
3.	Review Results	15
3.1	Relevance	15
3.2	Effectiveness	16
3.3	Efficiency	16
3.4	Impact	17
3.5	Sustainability	17
4.	Conclusion	18
5.	Recommendations	18
5.1	Recommendations to the Government of Cambodia	18
5.2	Recommendations to CAM-REDD/FACCC	20

cu

7/8

ANNEX

- I. Schedule of the Mid-Term Review
- II. Current Project Design Matrix (PDM-4)
- III. Current Plan of Operation (PO-4)
- IV. Organization Chart of Cambodia National REDD+
- V. Implementation Structure of CAM-REDD
- VI. Assignment of Japanese Experts
- VII. Cambodia Personnel Trained in Japan
- VIII. Equipment and Construction Cost Provided by Japanese Side
- IX. Local Operational Cost of CAM-REDD plus National Forestry Program (NFP)
- X. Assigned Cambodian Personnel of CAM-REDD
- XI. Draft of Revised PDM (PDM-5)

fu

4/46

ABBREVIATIONS

CAM-REDD	Project for Facilitating the Implementation of REDD+ Strategy and Policy in Cambodia
CI	Conservation International
DAC	Development of Assistance Committee
FA	Forestry Administration
FACCC	Forestry Administration's Climate Change and REDD+ Committee
FCPF	Forest Carbon Partnership Facility
FFPRI	Forestry and Forest Products Research Institute
FiA	Fisheries Administration
GHG	Greenhouse Gas(es)
GIS	Geographic Information System
JAFTA	Japan Forest Technology Association
JCC	Joint Coordinating Committee
JICA	Japan International Cooperation Agency
JICA TA Team	JICA Technical Assistant Team to MRV/REL
M/M	Minutes of Meeting
MoE	Ministry of Environment
MRV	Measurement, Reporting and Verification
NFI	National Forest Inventory
NFP	National Forestry Program
ODA	Official Development Assistance
OECD	Organization for Economic Cooperation and Development
PDM	Project Design Matrix
PO	Plan of Operation
R/D	Record of Discussion
REDD+	Reduction of Emission from Deforestation and Forest Degradation, Conservation, Sustainable Management of Forests and Enhancement of Forest Carbon Stocks
REL	Reference Emission Level
RL	Reference Level
SFB/LEAF	Supporting Forests and Biodiversity project on Lowering Emissions in Asia's Forests
TA/DG-FA	Technical Advisor to Director General of Forestry Administration
UNFCCC	United Nations Framework Convention on Climate Change
WCS	Wildlife Conservation Society
WWF	World Wildlife Fund

kan

4/16

1. Introduction

This report is to describe the result of the mid-term review for the “Project for Facilitating the Implementation of REDD+ Strategy and Policy (CAM-REDD) in Cambodia” (hereinafter referred to as the “the Project”) that was jointly organized by the Japan International Cooperation Agency (JICA) and the Royal Government of Cambodia (here in after the Government of Cambodia) in February 2014.

1.1 Purpose of Mid-Term Review

The objectives of the review are as follows:

- (1) To verify the accomplishments of the Project compared to those planned;
- (2) To identify obstacles and/or facilitating factors that have affected the implementation process;
- (3) To analyze the Project in terms of the five evaluation criteria, namely Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability (emphasis on Effectiveness and Efficiency);
- (4) To monitor the progress and results of the activities on site;
- (5) To make recommendations for the necessary actions and measures (including modification of Project Design Matrix: PDM) in order to attain the Project Purpose by the end of the Project cooperation period, and lessons learnt applicable for other projects; and
- (6) To make a mid-term review report by Japanese and Cambodian joint review team, attain endorsement from the Joint Coordinating Committee (JCC), and sign Minutes of Meeting (M/M) by Cambodian and Japanese sides.

1.2 Members of Mid-Term Review Team

The Joint Review Team members are as follows:

<Cambodia Side>

H.E. Than Sarath (Team Leader)	Acting Director of Administration, Planning and Finance Department, Forestry Administration (FA) of the Government of Cambodia
Dr. Keo Omaliss	Director of Wildlife and Biodiversity Department, FA
Dr. So Thea	Deputy Director of Institute of Forest and Wildlife Research and Development, FA
Mr. Khun Vathana	Acting Manager of Carbon Credit and Climate Change Office, Department of Forest Industry and International Cooperation, FA

<Japanese Side>

Mr. Hiroki Miyazono (Team Leader)	Senior Advisor, JICA
Mr. So Kawahara (Forest Policy / REDD+)	Forestry Agency, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
Ms. Tomoko Taira (Cooperation Planning)	Forestry and Nature Conservation Division 1, Global Environment Department, JICA
Ms. Asako Takimoto (Evaluation Analysis)	Nippon Koei CO., LTD (Global Link Management Inc.)

Handwritten mark

Handwritten initials

1.3 Schedule of Mid-Term Review

The review was conducted from February 2nd, 2014 to February 21st, 2014. The detailed schedule is attached (Annex I).

1.4 Method of Mid-Term Review

The mid-term review was conducted in the following manner:

- (1) Collected relevant documents from the Project and concerned organizations;
- (2) Conducted key informant interviews from main stakeholders in FA and Japanese experts
- (3) Visited offices of relevant governmental agencies such as the Ministry of Environment (MoE) and the Fisheries Administration (FiA) as well as projects/programmes of other supporting frameworks such as UN-REDD Programme and Conservation International (CI) to collect information
- (4) Analyzed the collected information and data by referring to the PDM-4 (Annex II) and the Plan of Operation (PO-4: Annex III);
- (5) Compiled the result of the analysis in terms of the project achievements, implementation process and five evaluation criteria with recommendations;
- (6) Held a series of discussions at the joint review meeting to finalize the result of the review; and
- (7) Shared the result of the review with concerned personnel at JCC and agreed on the recommendations for the Project

The following table is the description about the five criteria applied as principal framework for the analysis and assessment of JICA-supported cooperation projects. JICA applies the Development Assistance Committee (DAC) criteria for evaluating development assistance for value judgment of its project review/evaluation. The criteria were proposed in the DAC at the Organization for Economic Cooperation and Development (OECD) in 1991.

Relevance	Relevance is assessed by the validity of the project purpose and overall goal in connection with the policy framework of the Government of Cambodia and Japanese aid policy and the needs of beneficiaries.
Effectiveness	Effectiveness is assessed by analyzing the probability to accomplish the project purpose by the end of the project term and the extent to which outcomes contribute to the achievement of the project purpose.
Efficiency	Efficiency is assessed by analyzing productivity on how inputs are converted into outcomes in terms of timing, quality and quantity.
Impact	Impact is any intended/unintended, direct/indirect and positive/negative changes that have been brought about as a result of the project.
Sustainability	Sustainability is assessed by analyzing the extent to which the achievement of the project will be sustained or expanded after the project ends. The analysis is made from organizational, financial, technical, social and environmental viewpoints.

1.5 Outline of the Project

1.5.1 Background

(Handwritten mark)

(Handwritten signature)

The Government of Cambodia officially launched the Cambodia Climate Change Strategic Plan 2014-2023 in November 2013. It builds synergies with existing government policies to ensure a strategic cohesion to address a wide range of climate change issues linked to adaptation, Greenhouse Gases (GHG) mitigation, and low-carbon development. Promotion of REDD+ is stated as one of the major strategies to ensure climate resilience of critical ecosystem, biodiversity, protected areas and cultural heritage sites in the Plan.

Stakeholders of REDD+ endorsed the Cambodia National REDD+ Roadmap in September 2010. In addition to historical support through international community to the protected forests and to the community forestry, UN-REDD Programme and Forest Carbon Partnership Facility (FCPF) endorsed their engagements to help the Government of Cambodia implement this Roadmap. The government's implementation structure for the Roadmap was also designed at that point shown in Annex IV. Based on the official request by the Government of Cambodia to the Government of Japan in 2010, a framework to support the implementation of the REDD+ Roadmap was agreed for the period of 5 years as CAM-REDD. The initial detail is defined in the "Record of Discussion (R/D)" signed between the Director-General of FA and the Chief Representative of JICA to the Government of Cambodia on May 27, 2011 in accordance with the standard procedure defined by the Government of Japan, and it has been operationalized since June 1, 2011. At the FA's Climate Change and REDD+ Committee (FACCC) meeting in November 18, 2011, in the absence of the Cambodia National REDD+ Taskforce, it was agreed to assign FACCC as the interim JCC (Joint Coordinating Committee) for CAM-REDD that provides guidance.

In December 2012, the third FACCC meeting as JCC to CAM-REDD approved amendments to its logical framework (PDM) and to the PO. They are expected to be a base for the future multi-year work plan for Cambodia National REDD+ Taskforce that supporting frameworks such as UN-REDD, CAM-REDD, FCPF, Supporting Forests and Biodiversity project on Lowering Emissions in Asia's Forests (SFB/LEAF) funded by USAID etc. should follow. The most recent update (fourth version) of PDM and PO was endorsed at FACCC meeting in January 2014; the revision was mostly minor ones in activity level.

1.5.2 Project Summary

(1) Duration: June 2011 – May 2016 (5 years)

(2) Japanese Experts:

1) Long-term Experts: Chief Advisor

Handwritten mark

Handwritten signature

2) Short-term Experts: Project Administrative Coordinator / Co-benefits
 Forest Remote Sensing / Geographic Information Systems (GIS)
 Forest Resources Inventory
 Forest Database

(3) Cambodian personnel (directly involved with CAM-REDD):

- 1) Project Director: Chief of Forestry Administration (FA), Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
- 2) Assistant Project Director: Deputy Director-General of FA
- 3) Project Manager: Director of Wildlife and Biodiversity Department, FA
- 4) Project National Administrative Coordinator: Acting Manager, Office of Carbon Credit and Climate Change, Department of Forest Industry and International Cooperation, FA
- 5) Technical Personnel of FA, MoE, and FiA

(4) Framework:

The expected Overall Goal, Project Purpose and Outcomes written in the current PDM are as follows:

Overall Goal		Sustainable forest management as a mitigation measure against climate change is promoted based on the experiences of REDD+ implementation.
Project Purpose		Capacity of related stakeholders is strengthened for smooth implementation of REDD+ strategy and policy.
Outcome	1	Assist effective National Management of the REDD+ Readiness process and stakeholder engagement in accordance with the Roadmap principles.
	2	Assist development of the National REDD+ Strategy and Implementation Modalities.
	3	Assist improving capacity to manage REDD+ at project and subnational levels
	4	Assist with design of a Monitoring System and Reference Levels (RLs) / Reference Emission Levels (RELs) framework and capacity for implementation.

(5) Implementation Structure

The figure attached as Annex V describes the implementation structure of CAM-REDD. CAM-REDD is operationalized by a team of FA personnel together with the Office of Technical Advisor to Director General of FA (TA/DG-FA¹) and JICA Technical Assistant Team on MRV/REL

¹ TA/DG-FA consists of JICA experts and Cambodian officials, providing technical support when it is necessary in all four outcomes of CAM-REDD/national REDD+ process.

Handwritten mark

Handwritten signature

(JICA TA Team²). Together with other supporting frameworks, it supports the Government of Cambodia to progress on national REDD+ process, which is an inter-ministerial effort.

(6) Position of the Project in National REDD+ process

The national REDD+ process encompasses all issues related to REDD+ Readiness in Cambodia. There were various supporting frameworks coming in Cambodia's REDD+ readiness planning and the Government of Cambodia led the discussion to align all of them to avoid duplicated roles. As of 13 Jan 2014, four areas of Outcomes of the potential Taskforce Workplan were agreed among supporting frameworks, and CAM-REDD applied these outcomes to its PDM as well.

The four outcomes of the Workplan are:

Outcome 1: Effective National Management of the REDD+ Readiness process and stakeholder engagement in accordance with the Roadmap principles (--> Institutional Arrangements)

Outcome 2: Development of the National REDD+ Strategy and Implementation Modalities (-->Strategies/Policies)

Outcome 3: Improved capacity to manage REDD+ at project and subnational levels (-->Projects/Sub-National Development)

Outcome 4: Design of a Monitoring System and RLs/REs framework and capacity for implementation (-->Measurement, Reporting, and Verification (MRV)/ GHG Inventory)

Roles of each supporting framework in the four outcomes are shown in the Figure 1.

Figure 1. Roles of major supporting frameworks on four areas of the national REDD+ process

Outcome	Major Supporting Frameworks						
	JICA TA Team	CAM-REDD	UN-REDD	FAO's TCP-NFI	World Bank	Other	Other
Outcome 1: Institutional Arrangements	√√	√	√		√		
Outcome 2: Strategies/Policies	√√	√	√√		√		
Outcome 3: Projects/Sub-National Development	√	√√	√√		√	√√	√√
Outcome 4: MRV/REL/ GHG Inventory	√√	√√	√	√√	√	√√	√

√√: Principle role √: Secondary role (source: presentation of the head of the Secretariat)
 * FAO TCP-NFI: Food and Agriculture Organization Technical Cooperation Programme on National Forest Inventory

² The principal role of JICA TA Team is to provide technical support on MRV and REL (under the budget of Japanese side inputs for CAM-REDD).

file

1/46

2. Project Achievements

Achievements of the Project are measured in terms of inputs, activities, outcomes, project purpose, and overall goal, all of which are in accordance with the PDM-4.

2.1 Achievements of Inputs

The following is the list of inputs provided for the Project implementation. More detail information is described in Annex VI - IX.

(1) Japanese Side

Most of the inputs from Japanese side, such as dispatch of experts, training of Cambodian personnel, and operational cost support were executed as planned.

Experts	The Japanese side dispatched eight experts in five fields (Chief Advisor, Project Administrative Coordinator / Co-benefits, Forest Remote Sensing / GIS, Forest Resource Inventory, Forest Database). Total Man-Month is 118.13 M/M as of January 2014, partly shared with the position of Technical Advisor to FA (Annex VI).
Training of personnel in Japan	Total of eight key stakeholders were trained in Japan (Annex VII)
Provision of Equipment and Construction	The total cost of local procurement (equipment and construction) supported by the Japanese side is 377,444 USD (approximately 37,744,400 Japanese Yen) as of December 2013 (Annex VIII)
Operational Cost	The total of local operational cost (including equipment and construction cost above) under the project budget is 814,108 USD and spending for the National Forestry Program under the Technical Advisor (dual position with the Project's Chief Advisor) that also contributes to the Project activities is 474,103 USD. The grand total is 1,288,211 USD (approximately 128,800,000 Japanese Yen) as of December 2013. (Annex IX)

(2) Cambodian Side

Assignment of the Project Personnel	As of February 2014, a total of 19 personnel are assigned from the Government of Cambodia to the Project (four management positions from FA, 11 technical personnel from FA, two technical personnel from FiA, two technical personnel from MoE as well as three full-time staff for the Project (Annex X).
Budgetary allocation	No budgetary allocation
Provision of Land, Buildings and Facilities	Office spaces inside FA, utilities, meeting rooms and facilities

2.2 Achievements of Activities

Actions to achieve the four outcomes were broken down to more than 100 detailed activities and each activity's progress compared with its planned schedule is summarized in the PO-4 (Annex III). In general, activities under the Outcome 1 and 3 are mostly on schedule, while activities under the Outcome 2 are delayed in some part from the original schedule and some activities under the

Outcome 4 were not initiated or sporadically conducted.

2.3 Achievements of Outcomes

Findings regarding achievements of the expected outcomes at the point of the mid-term review are followings

2.3.1. Achievements of Outcome1

<p>Outcome 1: Assist effective National Management of the REDD+ Readiness process and stakeholder engagement in accordance with the Roadmap principles</p>	
<p>Indicator 1-1: Multi-agency Taskforce/Secretariat /Advisory Group/Consultation Group are established and the TORs are approved.</p>	<p><i>Status: Mostly achieved</i> The Taskforce Secretariat was established in mid 2012, while the Taskforce and the Consultation Group were established in 2013 (their first meetings were held in September 2013). Discussion regarding establishment of the Taskforce and setting its TOR were held throughout 2013. The Advisory Group is not likely to be newly established since the existing institution such as UN-REDD Programme Executive Board (PEB) can substitute the role. TA/DG-FA provided technical and coordination support to establish the Taskforce and the Secretariat through being a major member of the interim taskforce and organizing the interim secretariat.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> Continuous advisory support as needed</p>
<p>Indicator 1-2: REDD Websites created and awareness raising plans developed.</p>	<p><i>Status: Slightly delayed</i> The website of ‘Cambodia REDD+’ was created under the Taskforce Secretariat (http://www.cambodia-redd.org/), presenting Cambodia’s national REDD+ process, various supporting frameworks, information on relevant organizations, and events schedules etc. CAM-REDD has been sharing its information to be included in the webpage. For the awareness raising, REDD+ communication group meeting has been led by the Secretariat, and the group is analyzing the needs for awareness raising. The Secretariat also led awareness raising training for the Taskforce members and the Consultation Group members, as well as organized a study tour to Viet Nam. The annual plan for awareness raising is under preparation.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> The webpage of CAM-REDD in the website above will be linked to JICA Cambodia website and others for better information network.</p>
<p>Indicator 1-3: Local communication tools are developed and awareness raising events are held</p>	<p><i>Status: Slightly delayed</i> Newsletters have been published from the Secretariat twice, and TA/DG-FA is supporting its formulation (the third newsletter is under preparation). Events for awareness raising such as a concert were held as well.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> Continuous advisory support as needed.</p>

Ken

Major part of the Outcome 1 has been achieved and the remaining activities are being conducted mostly on schedule. A significant achievement is establishments of the Taskforce/Secretariat/Consultation Group, which is the fundamental base for Cambodia to proceed on national REDD+ process. While activities for awareness raising are ongoing and will be continued mainly by the Secretariat, activities of CAM-REDD under this Outcome are mostly completed.

2.3.2 Achievements of Outcome 2

Outcome 2: Assist development of the National REDD+ Strategy and Implementation Modalities	
Indicator 2-1: REDD+ strategies of line agencies are developed	<p>Status: Delayed Initial REDD+ strategy of FA is described, under Program 6 of National Forestry Program (NFP). The REDD+ strategy of MoE is under preparation with the financial supports from UN-REDD and USAID and the advisory support from TA/DG-FA. The strategy of FiA has not been discussed much yet.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> The main focus is overall support for formulation of the National REDD+ Strategy, while the support to formulate a REDD+ strategy of MoE is to be enhanced. Drafting of the MoE's strategy is aimed to be finished by 2016. TA/DG-FA also plans to provide the advisory support for FiA to launch the discussion to formulate their REDD+ strategy.</p>
Indicator 2-2: Guidance for REDD+ Project is produced by the Taskforce	<p>Status: Not yet initiated.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> Revision of this indicator is needed.</p>
Indicator 2-3: Relevant policy and law are improved for REDD+ implementation framework	<p>Status: Slightly delayed FA has been discussing/considering legislation/regulations needed for REDD+ implementation as well as drafting the Law on <u>Wildlife and Biodiversity with the support of TA/DG-FA.</u></p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> Revision of this indicator is needed.</p>
Indicator 2-4: Social and Environmental Strategic Assessment (SESA) of candidate REDD+ strategies.	<p>Status: Slightly delayed An informal group on REDD+ safeguard was formulated consisting of government officials, the Secretariat, UN-REDD, and TA/DG-FA. The group is finalizing a technical report on safeguard, analyzing existing international and national level of relevant information.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> Revision of this indicator is needed.</p>
Indicator 2-5: Scientific knowledge/ findings are applied for REDD+ implementation and management.	<p>Status: Mostly on schedule FA personnel started studying technical-oriented issues such as REDD+ accounting methods with the support of TA/DG-FA.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> Revision of this indicator is needed.</p>

Many activities under the Outcome 2 have been delayed since establishment of the Taskforce and the Secretariat took much longer time than the original plan. Initial meetings of the Taskforce and four Technical Teams for REDD+ (Consultation and Safeguards, Benefit-sharing, REDD+ projects, and MRV/REL) were held to date, and these meetings are expected to be held more frequently to achieve the Outcome 2.

When the National REDD+ Roadmap was formulated, it was unclear among stakeholders

Handwritten mark

Handwritten signature

how National REDD+ Strategy should be designed, what components are needed, and by when the Strategy should be developed. This resulted in the vague indicators of each outcome. Many of these issues are becoming clearer as CAM-REDD has been operational for more than 2.5 years. Towards the end of the Project period, these indicators need be re-defined and revised following the current conditions and situations of the national REDD+ process (discussed more in Chapter 5 Recommendations).

2.3.3 Achievements of Outcome 3

Outcome 3: Assist improving capacity to manage REDD+ at project and subnational levels	
Indicator 3-1: At least 2 provinces have capacity to plan and implement REDD+ strategies	<i>Status: Mostly on schedule</i> Implementing governmental agencies (FA, FiA, and MoE), supporting frameworks (CAM-REDD, UN-REDD, NGOs etc.), and types of activities in REDD+ demonstration sites vary widely. TA/DG-FA has been both technically and financially supporting management of three REDD+ pilot projects, five protected forests, one protected area, one inundated forest, one mangrove forest, and two production forests that are in transition to protected forests. The technical support includes supports to conduct REDD+ feasibility studies and to register REDD+ activities to voluntary carbon credit standards. The financial support includes purchasing equipment for rangers' operations as well as covering travel costs for government officials to work on the ground.
	<i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> CAM-REDD plans to keep supporting the 13 demonstration sites such as technical support for validation of verified carbon standards (VCS), coordination with other REDD+ support frameworks, and capacity building of three governmental agencies, especially members of 'REDD+ Projects Technical Team'. As a pilot case, CAM-REDD aims to expand one of the demonstration sites to a larger/sub-national level REDD+ implementation site.

CAM-REDD has been providing the financial support collaboratively with various implementing bodies (governmental agencies, NGOs, and communities) in the 13-demonstration sites. On the other hand, the goals of these different types of forest management actions (including REDD+ activities) might not have been clearly defined and shared among stakeholders. This is also reflected to the current vague indicators. With a consideration of the REDD+ relevant decisions in COP19 and development of the discussion for subnational level activities, it is clear that the indicators for the Outcome 3 need to be redefined.

2.3.4 Achievement of Outcome 4

Outcome 4: Assist with design of a Monitoring System and RLs/RELS framework and capacity for implementation
--

Flu

<p>Indicator 4-1: RLs/RELS are developed on pilot basis in priority provinces</p>	<p>Status: Delayed Technical discussion regarding RL/REL development has just started in January 2014 after the Technical Team for MRV/REL consisting of personnel from multiple ministries was established. Prior to that, JICA TA Team formulated two working papers for establishing REL in Cambodia with using available data and simulation programs, and submitted to FA. The content was introduced in the training workshops for MRV/REL as well.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> JICA TA Team plans to discuss with FA if it is feasible to start preparing the national REL/RL from the beginning or start from the subnational level.</p>
<p>Indicator 4-2: National forest cover monitoring system is established</p>	<p>Status: Slightly delayed To prepare a forest cover monitoring system suitable for Cambodia's situation, JICA TA Team provided basic trainings on satellite images, remote sensing, and GIS to FA and FiA personnel (trainings for MoE personnel are under discussion). The Team also supported FA personnel to technically evaluate feasibilities of carbon inventory and monitoring approaches suggested by other REDD+ supporting frameworks.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> By the end of the Project period, it is aimed that initial national forest monitoring system is designed and tested.</p>
<p>Indicator 4-3: National forest inventory is designed to develop emission and removal factors</p>	<p>Status: Delayed Based on the data and information provided by FA, JICA TA Team analyzed the practical usage of existing forest inventory data and allometric equations. The Team formulated a draft plan for the future NFI as a working paper. FAO also assists FA to design NFI under its program, and the JICA TA Team shared the results of their study with FAO to discuss the steps to be taken together with FA personnel.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> JICA TA Team plans to technically support FA to finish considering the practicality and feasibility of the proposed NFI design.</p>
<p>Indicator 4-4: Concept of National Multi-purpose GIS is designed.</p>	<p>Status: Delayed The Government of Cambodia is currently considering how to utilize and share the existing geographic data among various governmental ministries/agencies as well as external stakeholders, thus the process for designing multi-purpose GIS is not yet in the stage of substantial discussion. Meanwhile, JICA TA Team has provided basic trainings of GIS usage to relevant personnel in FA.</p> <p><i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> FA with JICA TA Team plans to start a dialogue on geographic data sharing with all relevant governmental ministries/agencies. If the data is shared, all the data will be combined in one GIS database.</p>
<p>Indicator 4-5: Interim emissions reduction registry is designed.</p>	<p>Status: Not initiated</p>

Handwritten mark

Handwritten signature

	<i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> This activity is not in the scope of JICA TA Team, and revision of this indicator is needed.
Indicator 4-6: FA/MoE/FiA understands the current GHG reporting requirement to UNFCCC.	<i>Status: Not initiated</i> <i>Plan of CAM-REDD towards the end of the Project period:</i> Although activities in PO under this indicator has not been conducted, the basic training for the GHG reporting system has been provided to FA by JICA TA Team as activities under the indicator 4-1. This indicator could be merged into other indicators.

Activities under the Outcome 4 are largely delayed due to the delay in establishing MRV/REL Technical Team under the Taskforce. It is expected that the discussion for MRV/REL will be accelerated on the basis of the initial meeting of the MRV/REL Technical Team held in January 2014. Meanwhile, there are major decisions around MRV/REL in the latest COP19 (November 2013), and the requirements and timeline for reporting to UNFCCC becomes clearer. It is a good timing to reconsider what is needed to achieve the Outcome 4 and revise the indicators.

2.4 Achievement of Project Purposes

Project Purpose: Capacity of related stakeholders is strengthened for smooth implementation of REDD+ strategy and policy	
Indicator 1: New policies/legislations are developed in the course of REDD+ implementation	<i>Status:</i> Implementing structure and decision-making bodies for REDD+ process such as the National REDD+ Taskforce and the Secretariat were established and are in the process of developing their capacities. Under these structures, policies/legislations will be discussed and developed.
Indicator 2: Current policies/legislations are revised in the course of REDD+ implementation	<i>Status:</i> The revision of current policies will also be discussed as the implementation structures for REDD+ process become more functional.

While it was not entirely clear at the Project planning stage that what exactly is needed at policy/strategy level to achieve the Project Purpose, most stakeholders now recognize that a National REDD+ Strategy is imperative as a one-stop reference for all REDD+ stakeholders to proceed further. Consequently, the indicators for the Project Purpose need to be changed based on the formulation of the National REDD+ Strategy (more in Chapter 5 Recommendations).

2.5 Achievement of Overall Goal

Overall Goal: Sustainable forest management as a mitigation measure against climate change is promoted based on the experiences of REDD+ implementation	
Indicator 1: Rate of deforestation and forest degradation turn into slow	Not yet the stage to evaluate

from

The Overall Goal is supposed to be achieved in about five years after the termination of the Project in 2016. Since it is quite uncertain how REDD+ implementation mechanism, especially international financial support/payment, will be constructed in coming years, it is rather early to review the possibility of achieving the Overall Goal at this moment. However, the latest COP19 pushed the discussion forward (e.g. the Warsaw framework) and the donor countries re-committed their contributions to the REDD+ financial mechanism. It can well be expected REDD+ financial rewards will be provided and will contribute to sustainable forest management in the near future.

2.6 Implementation Process and Framework

(1) Management and monitoring

It was agreed in the Project's R/D that the JCC oversees and approve the Project activities. Originally, the Taskforce meeting was to fill in the role of JCC, but establishing the Taskforce was delayed due to difficulties of coordinating multiple governmental ministries. Thus, FACCC has been the acting JCC as an interim measure. However, since the involvement of representatives outside of FA is weak in FACCC, the Project has been having difficulties conducting the planned activities with other ministries. It is expected that the role of JCC will be taken over by the Taskforce and the overall coordination of CAM-REDD activities will be smoother as the Taskforce and the Secretariat increase their functions.

Regarding monitoring of the Project, progress reports of TA/DG-FA for overall support to NFP cover the progress of CAM-REDD activities as well. The reports are submitted to FA, shared among stakeholders biannually, and presented in the FACCC and the Taskforce meetings. Informal monitoring and discussion for modification of PDM/PO are often held among TA/DG-FA, JICA TA Team, and other REDD+ stakeholders, and result in the revisions of PDM/PO (which has been taken place four times to date). Monitoring of financial support (ex. equipment usage and activities on the ground) for demonstration sites are periodically held by TA/DG-FA office.

(2) Communication

Communication inside FA (among officials, TA/DG-FA team, and JICA TA Team) is going quite well. Other supporting frameworks recognize that CAM-REDD matters are well communicated among FA personnel. On the other hand, other relevant ministries see CAM-REDD to focus mainly on FA and not to communicate enough with them. This communication issue stems from the difference in understanding legal foundation of the National REDD+ Roadmap as well as the Taskforce and the Secretariat. Dialogues among ministries are needed to address this political issue.

Meanwhile, CAM-REDD continuously leads the discussion with other REDD+ supporting frameworks to align various frameworks' activities, avoid duplications, and supplement each other effectively. Other frameworks recognize and appreciate this action as well as CAM-REDD's advisory role in FA's decision-making process.

(3) Coordination

CAM-REDD is designed to work closely with other REDD+ supporting frameworks, especially to align policy level support with others as shown in the Figure 1. In addition, it has been collaborating with various programmes/projects as follows:

- Japan's Grant Aid for the Forest Preservation Programme: This programme is providing facilities and equipment for forest management and monitoring as well as trainings of the equipment usage. CAM-REDD collaborates on capacity building of FA personnel to use the MRV/REL relevant equipment.
- Japan's ministries and NGOs: Conservation International (CI) and Japan Forest Technology Association (JAFTA) contracted with Japan's Ministry of Environment and Ministry of Economy, Trade and Industry respectively to conduct studies related to REDD+ in protected forests in Cambodia. CAM-REDD has been providing technical/advisory support to these studies.
- CAM-REDD collaborates with Japan's Forestry and Forest Products Research Institute (FFPRI) for the research oriented activities under the Outcome 2 and 4. (FFPRI has an agreement for technical cooperation with FA)
- CAM-REDD also collaborates with various NGOs on the ground under the Outcome 3, namely with Wildlife Conservation Society (WCS), Wildlife Alliance, CI, Birdlife International Cambodia, NSOK Safary International, World Wildlife Fund (WWF), and PACT.

2.7 Factors Positively Affected Results

CAM-REDD is very innovative in a sense of JICA's REDD+ support since it is quite comprehensive for national REDD+ process support and dynamic in collaboration with other supporting frameworks. The review team found followings are the major reasons CAM-REDD has progressed successfully.

(1) Ownership of the Government of Cambodia on aligning various supporting frameworks

While many countries with high REDD+ potentials accept various types of REDD+ supports both nationally and internationally, these supports often do not share the common vision and often duplicate each other's work or even have a conflict. The Government of Cambodia tried to avoid this issue and aligned all supporting frameworks under one thorough framework (National REDD+ Roadmap process). CAM-REDD highly appreciates this vision and supports the Government to coordinate all supporting frameworks. It does need significant amount of coordination efforts, but because of that, various REDD+ supports are collaborating relatively well in Cambodia, which is rather unique situation compared with other REDD+ countries. This will contribute to the efficient use of all available supports in the long term.

(2) Flexible framework and timely budget allocation

hm

4/16

CAM-REDD has been highly appreciated by both the Government and other supporting frameworks because it has been flexible and timely in the financial support. While many REDD+ supporting frameworks co-exist in Cambodia, there are always some gaps between each other's activities. REDD+ supporting programmes/projects often have the strict financial rules, and are not always being able to provide a contingent support. CAM-REDD is making a maximum effort to provide its support in moving the budget and is willing to fill in those gaps, which enables all those activities under different frameworks to effectively contribute to the overall goal of the national REDD+ process.

(3) Step by step approach

There have been many difficulties causing delays in the Project activities (described in the next section), which were not predictable at the planning stage. However, CAM-REDD including supports from Japanese experts (both TA/DG-FA office and JICA TA Team) continuously discuss with relevant stakeholders and identify the solutions including modifying the order and direction of the activities. Even with their limitations in controlling the causes of delay, CAM-REDD managed to overcome most of difficulties with its efforts. The good combination between Cambodian members and Japanese members of CAM-REDD has been widely recognized by both the Government and other supporting frameworks.

(4) Solid technical input

One of CAM-REDD's focuses in its activities is a contribution to the Outcome 4, development of MRV/REL system. It is a highly technical area of work and JICA TA Team is providing the strong technical support to FA personnel based on the rich experience in GIS and remote sensing technology for forest carbon monitoring. JICA TA Team also collaborates well with the technical support team of UN-REDD/FAO, and supports FA personnel to make feasible decisions on their activities under the Outcome 4.

(5) Strong linkage with the National Forest Program

REDD+ will only be successful when it is built on a sound policy. In Cambodian context, it is extremely important for its REDD+ process to be linked with the NFP. A working arrangement of the Chief Advisor of CAM-REDD who is also assigned as TA/DG-FA enables CAM-REDD to have a clear overall view on issues relevant to Cambodia's forestry sector and to enhance its linkage with the NFP.

2.8 Factors Negatively Affected Results

The review team found followings were the major challenges CAM-REDD has to date.

(1) Delay in policy process

As mentioned previously, establishment of the Taskforce and the Secretariat was delayed significantly from the original plan. It is mainly because the Government of Cambodia was not ready

to receive all the REDD+ Readiness support as was planned due to a lack of political environment and understanding on REDD+ process. CAM-REDD, together with other supporting frameworks, has been working on this fundamental issue, which resulted in a significant improvement by the end of 2013. It is hoped that as the Taskforce becomes more active, the policy level capacities will be enhanced and the decisions will be made more quickly.

(2) Difficulties in stakeholder coordination

REDD+ is a quite interdisciplinary issue, and requires various stakeholders to be involved. Although it is mainly a forestry issue, and thus FA plays the major role, there are other key players in the Government of Cambodia. However, not all the governmental ministries share the common understanding on the legal status and the roles of National REDD+ Roadmap and the Taskforce / Secretariat. While the Taskforce members consists of representatives from various ministries, understandings on REDD+ issues and each ministry's interests vary widely. The lack of and/or difference in understanding prevail in the members of the Secretariat as well, and difficulties in communication and collaboration between REDD+ supporting frameworks and the Secretariat have been reported.

(3) Lack of human resources and capacities

Another major challenge is the human resource management issue of the Government of Cambodia. While Phnom Penh's living cost keeps rising rapidly last several years, the salary scale of public officials has never been adjusted. Consequently, the salary of governmental officials is impossible to sustain the living cost, and the officials need to work externally. This significantly affects the allocation of their time and capacities to the national REDD+ process. Unless this issue is addressed, there will not be enough human resources available from the Government of Cambodia, and capacity building activities are hard to be conducted.

3 Review Results

The summary of the Project review based on five evaluation criteria is described below.

3.1 Relevance

Relevance of the Project is "high" based on the observation by the review team. At policy level, promotion of REDD+ is one of the major components of overall climate change strategy in Cambodia. The National REDD+ Roadmap process was formulated with inputs from multiple government ministries, and CAM-REDD follows the Roadmap. Thus, the scope of CAM-REDD is quite relevant with Cambodia's national policies and interests. Also, Cambodia is one of the focus countries for JICA REDD+ support.

The REDD+ Readiness process needs variety of supports and CAM-REDD coordinates well with other supporting frameworks from the planning stage to address the exact needs of FA to build

Hm

4/15

capacities for REDD+. On the ground, various types of forests and activities necessary for REDD+ are covered in 13 demonstration sites to accumulate experiences and to build local capacities. Five-year period of the Project seems to be appropriate to cover the REDD+ readiness process as the international REDD+ mechanism under UNFCCC negotiation is progressing. It is yet early to judge if CAM-REDD will clearly contribute to the achievement of the Project's Overall Goal. However, CAM-REDD's actions have been definitely contributing to the development of REDD+ process in Cambodia.

3.2 Effectiveness

Effectiveness of the Project is "relatively high" based on the observation by the review team. While some of PDM's indicators and some activities are rather vague to evaluate the achievements at the end of the Project and thus need modifications, the principle of the Project Purpose (capacity development of stakeholders) is likely to be achieved with the given progress and ongoing activities. Although some of the planned activities were delayed for the first half of the Project period, TA/DG-FA and JICA TA Team spent time and energy for training future key personnel in the Government of Cambodia to implement REDD+ activities, and the fundamental platform for REDD+ implementation were established.

Four outcomes of the Project are equivalent to those of the National REDD+ Roadmap, multi-year REDD+ work plan, as well as UN-REDD and FCPF documents, which enables all the frameworks to work in an effective manner. The roles and responsibilities of governmental ministries for each Outcome are waited to be defined and agreed.

3.3 Efficiency

The joint review team finds the Project's efficiency is "relatively high".

Due to the delay in institutional set-up (i.e. achievement of the Outcome 1), some activities were needed to be reorganized. In this sense, the first half of the Project period's inputs were not always efficient, even the delay was mostly beyond CAM-REDD's control. The Secretariat and TA/DG-FA have been regularly discussing with various REDD+ stakeholders to align their activities to avoid duplication and to supplement each other's work. These dialogues contribute to the efficient use of financial resources. Also, CAM-REDD budget has been greatly appreciated by partner organizations and governmental agencies because it addresses urgent needs of on-ground level activities. With a limited amount of financial input, it was a highly efficient way to maximize the contribution of CAM-REDD to the National REDD+ process.

Also, the Project's Chief Advisor is working as a Technical Advisor to DG-FA, which enables him to see the overall picture of forestry policies and issue of Cambodia. It helps CAM-REDD to have a good policy level influence. Members of JICA TA Team were also in charge of the Grant Aid Programme whose equipment provisions and training component directly benefit to capacity building of REDD+ relevant personnel (MRV/REL) in governmental agencies. However,

government personnel were sometimes too occupied to learn all the necessary knowledge and technologies with given time and the number of personnel assigned. To efficiently use the opportunities provided by CAM-REDD, the personnel needs to find a way to allocate more commitment to the Project activities.

3.4 Impact

The review team considers impact of the Project is “high” at this moment. The Taskforce and its Consultation Group were established, which provide platforms for multi-stakeholder (government ministries, donors, NGOs and others) dialogues. This is an innovating institutional development for Cambodia’s forestry sector. Although the international REDD+ negotiation process is not yet clear (particularly on REDD+ financing mechanism), the Cambodian REDD+ process is showing a solid progress.

Meanwhile, accumulating experiences on conducting REDD+ activities in various demonstration sites is expected to contribute to the Japan’s Climate Change Policy as well, especially when the Joint Credit Mechanism (JCM) is in operation.

3.5 Sustainability

General sustainability of the Project is “too early to estimate”. In policy level, necessary policy/legislation development for REDD+ is likely to progress through the Taskforce meetings. Since the Taskforce has not been active yet, it is hard to estimate the potential sustainability of REDD+ policies as well as the political support.

All key ministries (FA, FiA, and MoE) are keen to work on the national REDD+ process, thus the organizational support is likely to be sustained. However, challenges still remain in human resource allocation. The financial support is expected to continue for at least coming couple of years, based on the commitment from donors including CAM-REDD. After these supporting frameworks’ implementation periods end in 2016, the financial sustainability depends on how/whether REDD+ financial mechanism is established internationally and/or bilaterally. It also depends on whether Cambodia can access to these financial mechanisms as well.

Regarding technical sustainability, it is still in the stage to build technical capacity in all relevant governmental ministries and thus hard to see the potential. However, it is a long way to train necessary number of personnel to conduct MRV and establish RL/REL to meet the international standard in Cambodia. Assessing the time frame on technical capacity building is currently difficult because the activities under the Outcome 4 have not been in full operation.

Handwritten mark

Handwritten initials

4. Conclusion

The review team recognized CAM-REDD contributes to a solid progress of national REDD+ process, even though the process is delayed from the original plan. Achieving the Outcome 1 is a significant progress in REDD+ Readiness. Also, it is quite noticeable that CAM-REDD has been playing a major and crucial role supporting various REDD+ demonstration activities on the ground under the Outcome 3 where not many donor supports were available. CAM-REDD contributed to the fundamental arrangement to achieve the Outcome 2 and 4, and is expected to enhance necessary activities in coming months.

The review team also identified that the Project's implementation structure, being a part of a unified National REDD+ Roadmap process and collaborating closely with other supporting frameworks, is effective and efficient to support REDD+ Readiness process. However, some of the planned activities and indicators in the current PDM turned out to be not realistic at this point of the Project period. Based on the progress in national REDD+ process as well as development in REDD+ negotiations and environment around requirements for parties to UNFCCC, revision of the PDM is necessary (the detail will be presented in the following Chapter 5 Recommendations). Consequently, the roles and responsibilities of the Project's stakeholders also need to be redefined.

5. Recommendations

The mid-term review team recommends following points to be considered and actions to be taken by the Government of Cambodia and CAM-REDD towards the end of the Project implementation period.

5.1 Recommendations to the Government of Cambodia

(1) Enhance Cambodia's ownership and managing capacities for the national REDD+ process

Both the Taskforce and the Secretariat are governmental institutions to coordinate all the activities for REDD+, yet their roles and responsibilities are not widely understood even among members of the Secretariat. This caused occasional conflicts among stakeholders and supporting frameworks to collaborate and coordinate their activities. The Government's stronger leadership is crucial to improve the function and to enhance capacities of the Taskforce and the Secretariat to further develop the national REDD+ process. The leadership includes having a better communication among relevant ministries and agreeing on the same vision for REDD+. Specifically, the Taskforce meeting should be held more often (including ad-hoc meetings among core members), and the Secretariat should work more closely with all the supporting frameworks.

(2) Maximize synergies of demonstration activities

For the national REDD+ Readiness process, it is crucial for a county to accumulate experiences and build capacities through implementing REDD+ activities on the ground. To maximize the effectiveness of these activities with a given budget, implementing ministries should

from

1/16

share the lessons learned and collectively consider the overall goal of the activities. Communication and collaboration with existing partners such as NGOs should also be further enhanced.

(3) Improve information/data management for MRV/REL

To develop MRV/REL mechanisms that are rigorous enough to receive international REDD+ financial supports, transparency and robustness of the data management is imperative. Though sharing and management of geographic data is quite challenging, it is recommended that the Government recognizes the importance of this issue and starts a dialogue for the multi-ministry information coordination mechanism.

(4) Develop Cambodia's National REDD+ Strategy

Through implementation process of the National REDD+ Roadmap, some useful experiences and lessons learned as well as key issues to promote REDD+ in Cambodia are identified. In order for the Government of Cambodia to make the next step forward and to follow the relevant decisions from UNFCCC-COP, it is necessary to develop the National REDD+ Strategy based on these outcomes.

The proposed elements to be included in the National REDD+ strategy are as follows:

- Objectives of the strategy (preferably including a target such as “measured in tons CO₂ emission reductions by year 20XX”)
- Background (ex. Overview on Cambodia the forest sector, relevant ministries and line agencies, existing legal framework, existing plans and strategies including possible targets, economic and environmental importance of the forest sector and information on the drivers of deforestation and forest degradation)
- Institutional arrangements (including responsibility and authority for all the elements mentioned below, safeguards, national forest monitoring, finance etc.)
- Analysis, policies, and measures to address the drivers of deforestation and forest degradation
- National forest monitoring system (above IPCC's Tier I level) to enable reporting of emissions and removals from REDD+ activities
- National MRV System
- National forest RL or REL
- National system to provide information on safeguards
- National system to report GHG emissions and removals following IPCC guidelines including quality control and quality assurance procedures
- National fund to receive and disburse REDD+ payments
- National benefit sharing systems
- National accounting system and registry of GHG emissions reductions units
- Evolution from project- to subnational-/national- approaches
- Funding for the implementation of strategy (the strategy should be accompanied by a number of action plans e.g. by line agency to implement the strategy with clear milestones and costs.

How

[Handwritten signature]

While the later implementation should be financed by the result-based REDD+ mechanism, there might be a need for some up-front financing. How to achieve up-front financing should be considered. In case there are different financing entities then the strategy could also provide direction for how to obtain results-based funding)

(5) Submit relevant documents/reports to comply with the UNFCCC Decisions

In accordance with relevant decisions from UNFCCC-COP, Parties (Countries) are supposed to submit several reports including Biennial Update Reports (BUR) to present the progress of their REDD+ process and to be eligible for the result-based payment in the future. In order to meet such requirements, it is necessary for the Government of Cambodia to start preparing for the reports, which should include following items in addition to GHG inventory:

- Assessment on drivers of deforestation and of forest degradation and counter-policies and measures
- Status of environmental and social safeguards considerations
- Design of national forest monitoring systems
- National [and sub-national] forest reference emissions levels and/or forest reference level
- MRV
- Required finance

5.2 Recommendations to CAM-REDD/FACCC

(1) Revise PDM

As stated in previous chapters, the review team recommends revision of the PDM, especially its indicators to prepare for the terminal evaluation at the end of the Project.

The reasons for the modifications at this stage are:

- 1) Establishment of major institutional frameworks for REDD+ in the Government of Cambodia;
- 2) Expected adoption of initial multi-year work plan by Cambodia National REDD+ Taskforce;
- 3) Clarification of key instruments such as the National REDD+ Strategy that were not clearly indicated in the current PDM; and
- 4) Clarification of the expected roles of CAM-REDD;

The suggested changes are:

Indicator for Overall Goal:

- Rate of deforestation and/or forest degradation becomes lower

Indicators for Project Purpose:

- i) Necessary policies and measures drafted in the National REDD+ strategy are taken
- ii) Policy level inter-ministerial coordination for promoting National REDD+ strategy is enhanced

Indicators for Outcome 1:

- i) National taskforce, its secretariat, technical teams and consultation groups are established and

How

[Handwritten signature]

become fully functional

Indicators for Outcome 2:

- i) The National REDD+ strategy is drafted
- ii) A national guideline on safeguards is drafted
- iii) Draft law on Wildlife and Biodiversity is submitted to the Council of Ministers

Indicators for Outcome 3:

- i) Emission reduction is confirmed at least in one project.
- ii) Identification of subnational scale (either landscape-based or provincial) is completed and subnational process* is initiated
- iii) Experiences of all the demonstration sites supported by CAM-REDD are compiled and shared among stakeholders

Indicators for Outcome 4:

- i) National forest monitoring system** is designed and operationalized
- ii) Initial REL(s)/RL(s) is developed
- iii) Initial measurement is completed at IPCC's Tier 1 level or above and its report is drafted for verification***

*: This process includes development of REL/RL, identification of methods to address drivers of deforestation, establishment of monitoring systems, etc.

** : National Forest Monitoring System means "National Forest Cover Assessments and National Forest Inventories" in accordance with "Cambodia Readiness Plan Proposal on REDD+ Version 4.0 of 13 March 2011, while others (e.g. UNREDD/PB9/2012/IV/1) indicate it could be a broader monitoring system such as relevant policies.

***: The minimum condition to fulfill this requirement is for the Government of Cambodia to redefine forest definition and legend of land cover/use maps for REDD+ by the end of xxx (tentatively March 2014).

The review team recommends FACCC to accept the attached draft of revised PDM (Annex XI) and agreed as fifth revised version of the Project PDM (PDM-5).

(2) Enhance information sharing on the Project's experiences

The review team found that the structure of CAM-REDD's support together with other supporting frameworks is highly effective and the lessons learned from the Project implementation are recommended to be shared both nationally and internationally including other countries' REDD+

AW

1/16

supporting frameworks.

From

JMB

Schedule of the Mid-term Review

Date	Activities
2 Feb (Sun)	[Consultant] 00:20 Departure from Tokyo / Haneda (TG661) 09:00 Arrival at Phnom Penh
3 Feb (Mon)	8:30-9:30: Meeting with JICA Cambodia PM: Meeting at TA/DG-FA office
4 Feb (Tue)	11:00-12:00: Interview to Dr. Omaliss 14:00 Mr. van Rijn(FAO) of Secretariat 15:00 Mr. Iversen (UN_REDD)of Secretariat 16:00 Mr. Lun of Secretariat
5 Feb (Wed)	08:30 FiA (Mr. Ouk Vibal, Director of Fisheries Conservation) 14:15 MoE (Mr. Kamal)
6 Feb (Thu)	10:00 Conservation International 14:00: Meeting with Mr. Uchida at JICA office
7 Feb (Fri)	09:00 Wildlife Conservation Society 10:30-Noon Meeting with Ms. Cheang at JICA-office 14:00 Mr. Long Ratanakoma (CF & benefit sharing) at FA 15:00- Mr. Chivin (MRV leader of FA) at FA
8 Feb (Sat)	AM: Review and analysis of collected data 10:00 Interview to Mr. Kim Nong @ MOE
9 Feb (Sun)	Review and analysis of collected data
10 Feb (Mon)	Consultant (Visit to relevant organisations and collection of data and information) Prepare a draft Joint Mid-term Review Report [Other mission members] 10:35 Departure from Tokyo / Narita (CX501) 17:40 Arrival at Phnom Penh
11 Feb (Tue)	08:30-11:00 : Meeting with JICA Cambodia & Experts (including results of 1 st week from Consultant) 14:30-15:30 Meeting with Joint mid-term review members (review modality, schedule, etc.) 16:00 : Courtesy call to FA DG 16:30 Meeting with DDG 17:30 Meeting with Mr. Vathana
12 Feb (Wed)	9:30-10:30: FACCC (Orientation of mid-term review) 14:30-15:30: Exchange opinions on progress of Taskforce among Mid-term review team
13 Feb (Thu)	08:30 Meeting with FAO country rep (Ms.Brandstrup) 10:00 Meeting with UNDP country rep (Ms.Yamazaki) at UNDP office 14:00 Meeting with Mr. Lun and JICA-HQ at FA 16:00 TWG co-chair (Mr. Koen EVERAERT of EU) at EU delegation office
14 Feb (Fri)	Field Visit (Prey Long)
15 Feb (Sat)	Field Visit (Prey Long)
16 Feb (Sun)	Review and analysis of collected data
17 Feb (Mon)	AM: Meeting by Japanese review team 11:00-Noon Meeting with Mr. Iversen

Hen

J/16

	14:00-17:00: Draft Joint Mid-term Review Report 17:00-18:30 Meeting between MRV-related members
18 Feb (Tue)	AM: Drafting of Mid-term review report PM: Discussion among all joint review members on a draft of Joint Mid-Term Review Report
19 Feb (Wed)	Draft a Joint Mid-Term Review Report and Minutes of Meeting (M/M) 15:00 Meeting with Taskforce chair (FADDG)
20 Feb (Thu)	9:00-9:30 Signing Joint Mid-term Review Report 9:30-11:00 FACCC meeting and sign M/M between DG and JICA 16:00-17:30 Report to Embassy of Japan
21 Feb (Fri)	10:00-11:00: Report to JICA Cambodia Office PM: Departure to Japan

Man

YB

Project Design Matrix (PDM-4)
Project Title: Project for Facilitating the Implementation of REDD+ Strategy and Policy ("CAM-REDD")
Project Area: Whole Cambodia
Target Group: Direct beneficiary – REDD+ Task Force and Cambodian Governmental Officials (inter-ministerial) Prepared in 30 December 2013
Project Period: June 2011 to May 2016 (5 years)

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTION
<p>Overall Goal Sustainable forest management as a mitigation measure against climate change is promoted based on the experiences of REDD+ implementation.</p>	<p>* Rate of deforestation and forest degradation turn into slow.</p>	<p>Statistics</p>	
<p>Project Purpose Capacity of related stakeholders is strengthened for smooth implementation of REDD+ strategy and policy.</p>	<p>1. New policies/legislations are developed in the course of REDD+ implementation. 2. Current policies/legislations are revised in the course of REDD+ implementation.</p>	<p>* Governmental Documents * Interview from stakeholders</p>	<p>* Cambodian policies on REDD+ do not change greatly. * Financial sustainability is secured. * Wildfire is not happened in a great scale. * Effect of public awareness lasts for a long time.</p>
<p>Outcomes¹ 1. Assist effective National Management of the REDD+ Readiness process and stakeholder engagement in accordance with the Roadmap principles. 2. Assist development of the National REDD+ Strategy and Implementation Modalities.</p>	<p>1-1. Multi-agency Taskforce /Secretariat /Advisory Group/Consultation Group are established and the TORs are approved. 1-2. REDD Websites created and awareness raising plans developed. 1-3. Local communication tools are developed and awareness raising events are held. 2-1. REDD+ strategies of line agencies are developed. 2-2. Guidance for REDD+ Project is produced by the Taskforce. 2-3. Relevant policy and law are improved for REDD+ implementation framework 2-4. SESA² of candidate REDD+ strategies. 2-5. Scientific knowledge/ findings are applied for REDD+ implementation and management. 3-1. At least 2 provinces have capacity to plan and implement REDD+ strategies.</p>	<p>* Ministerial Decrees/ * Reports/minutes of (Taskforce /advisory group/consultation events/trainings, etc.) * Ministerial Decrees/ * Reports/minutes of (Taskforce /advisory group/consultation events/trainings, etc.)</p>	<p>* International rules and modalities related to REDD+ procedure are established without delay. * Each agency plays its own role for implementation of REDD+ strategy.</p>
<p>3. Assist improving capacity to manage REDD+ at project and subnational levels. 4. Assist with design of a Monitoring System and RLS/RELS framework and capacity for implementation.</p>	<p>3-1. At least 2 provinces have capacity to plan and implement REDD+ strategies. 4-1. RLS/RELS are developed on pilot basis in priority provinces. 4-2. National forest cover monitoring system is established. 4-3. National forest inventory is designed to develop emission and removal factors. 4-4. Concept of National Multi-purpose GIS is designed.</p>	<p>* Reports/Maps/Datasets * Reports/Maps/Datasets</p>	

¹ "OUTCOME" in the PDM-3 is defined as "the expected products and status to be achieved by conducting Activities". The term has the same meaning as "OUTPUT" in PDM-1.

² SESA: Social and Environmental Strategic Assessment

Am

	4-5. Interim emissions reduction registry is designed. 4-6.FA/MoE/FIA ³ understands the current GHG reporting requirement to UNFCCC.		
--	--	--	--

3 FA: Forestry Administration, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), FAC: Cantonment FA Office, FAD: Divisional FA Office, FIA: Fisheries Administration, MAFF, MoE: Ministry of Environment

Handwritten initials and the number 2.

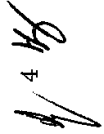
ACTIVITIES ⁴	INPUTS		
	Japanese Side	Cambodian Side	
<p>1.1 <u>Assist to Establish National REDD+ Readiness Coordination Mechanism</u></p> <p>1.1.1 Assist to establish and operate Taskforce</p> <p>1.1.2 Assist to hold regular Taskforce meetings – every second month</p> <p>1.1.3 Assist to organise training of Taskforce</p> <p>1.1.4 Assist to establish internal mechanism in each Ministry/Administration as necessary</p>	<p>1) Allocation of Experts</p> <p>- Chief Advisor</p> <p>- Project Administrative Coordinator</p> <p>- Experts in the relevant fields (decided based on mutual agreement and within budget limitations)</p> <p>(1) RS/GIS</p> <p>(2) Forest Monitoring</p> <p>(3) Others</p>	<p>1) Stakeholders⁷</p> <p>- Project Director (Chief of FA, MAFF)</p> <p>- Project Manager (Deputy Director of Dept. of Wildlife and Biodiversity, FA, MAFF)</p> <p>- Project National Administrative Coordinator (Acting Chief, Office of Carbon Credit and Climate Change, FA, MAFF)</p> <p>- Project Administrative Personnel</p> <p>- Administrative Staffs/Secretaries</p> <p>/Typists/Clerks/Drivers/Security Guards/Other supporting Staffs if necessary</p>	<p>* Provision of the equipment by the grant aid does not get greatly delayed.</p> <p>* Stakeholders (FA/MoE/FIA) continue to work for the Project.</p>
<p>1.2 <u>Support National REDD+ Readiness Process</u></p> <p>1.2.0 Assist capacity building of expected key persons of Secretariat</p> <p>1.2.1 Assist to establish and operate secretariat</p> <p>1.2.2 Assist to prepare a quarter- budget plan and an annual report</p> <p>1.2.3 Assist to conduct finance and procurement training for secretariat -additional resources to be provided by the supporting frameworks (UN-REDD, FCPF, CAM-REDD, etc.)</p> <p>1.2.4 Assist to hold regular meetings of decision making bodies of the supporting frameworks</p> <p>1.2.5 Assist to explore by secretariat and technical teams to UNFCCC, UN-REDD, FCPF, CBD and other relevant meetings</p> <p>1.2.6 Assist to conduct training for Secretariat and technical teams</p> <p>1.2.7 Assist to prepare work plan by Secretariat</p>	<p>2) Provision of equipment/facilities</p> <p>3) Training in Japan/Third Country Training</p> <p>4) Others</p>	<p>2) Buildings and Facilities</p> <p>- Office space for the Project</p> <p>- Space for related facilities</p> <p>- Buildings and rooms, facilities, equipment and materials (Project Office in FA, MAFF and the Project Sites/Meeting rooms/Materials and Equipment provided through the Grand Aid by GOJ, Facilities and utilities, and other facilities if necessary on mutual agreement basis)</p>	
<p>1.3 <u>Assist to Engage Stakeholders in the REDD+ Readiness Process</u></p> <p>1.3.1 Assist to identify REDD+ relevant stakeholders.</p> <p>1.3.2 Assist to hold awareness-raising events or workshop on REDD+ to the stakeholders</p> <p>1.3.3 Assist to identify civil society (CS) and IP⁵ representatives for national REDD+ bodies</p> <p>1.3.4 Support to set up CF, CFI and CPA⁶ networks</p> <p>1.3.5 Support groups of CS, IP, CF, CFI and CPA to engage on specific technical areas.</p>			
<p>1.4 <u>Assist to Provide Stakeholders with Information on REDD+ and the National REDD+ Readiness Process</u></p> <p>1.4.1 Assist to establish and maintain website of national Taskforce</p>			

⁴ There are activities with minor participation expected by CAM-REDD. They may or may not be subject to evaluation depending on the modality to be agreed in the future (Activity Nos. 1.1.2, 1.4.1, 1.4.2, 3.1.1, 4.2.2, 4.4.1 to 4.4.3, and 4.5.1 to 4.5.4).

⁵ IP: Indigenous Peoples

⁶ CF: Community Forestry, CFI: Community Fisheries, CPA: Community Protected Areas

ACTIVITIES ⁴	INPUTS
<p>1.4.2 Assist to develop consultation and participation plan</p> <p>1.4.3 Assist to develop awareness raising materials, tools and outreach</p> <p>1.4.4 Assist to develop capacity building and awareness raising process</p> <p>1.4.5 Assist to hold regular (quarterly) meetings of the consultation group</p> <p>2.1 Assist to <u>Develop Individual REDD+ Strategies and Implementation Modalities</u></p> <p>2.1.1 Assist to develop capacity-building and training to ministries</p> <p>2.1.2 Assist to finalise Cambodia R-PP through assessment of Land-use, Forest Policy and Governance Report</p> <p>2.1.3 Support the implementation and revision of the NPP</p> <p>2.1.4 Assist to develop National Protected Areas Strategic management Plan</p> <p>2.1.5 Assist to investigate how the REDD+ can support management of flooded forests and mangrove areas managed by FIA under the Strategic Planning Framework on Fisheries</p> <p>2.1.6 Assist to design and implement strategies to address drivers from outside the forestry sector</p> <p>2.1.7 Assist to develop regional collaboration with bordering countries on law enforcement and to reduce leakage</p> <p>2.1.8 Assist to develop individual REDD+ strategies (FA/MoE/FIA)</p> <p>2.1.9 Assist to evaluate candidate REDD+ strategies.</p> <p>2.1.10 Assist to develop national REDD+ strategy.</p> <p>2.2 <u>Assist to Evaluate Multiple Benefits</u></p> <p>2.2.1 Assist to implement the work plan based on results of a workshop</p> <p>2.2.2 Assist to make valuation of the multiple benefits of standing forests under the management strategies (PAs, CFs, etc.)</p> <p>2.2.3 Assist to scope and evaluate REDD+ strategies in relation to costs and benefits considering, inter alia, carbon density, co-benefits, jurisdiction, opportunity costs, resource management issues, etc.</p> <p>2.2.4 Assist to understand local costs and benefits of REDD+</p> <p>2.2.5 Assist to monitor multiple benefits, other impacts and governance</p> <p>2.3 <u>Assist to Establish REDD+ Fund mechanisms and Revenue Sharing</u></p> <p>2.3.0 Assist capacity building of expected key persons of Benefit sharing Technical Team</p> <p>2.3.1 Assist to establish and operate Benefit Sharing Technical Team.</p> <p>2.3.2 Assist to assess existing benefit sharing and fund management models in Cambodia and international best practice.</p> <p>2.3.3 Assist to conduct consultation on results from the assessment</p> <p>2.3.4 Assist to develop preferred options - with relevance to NPP and</p>	<p>Preconditions * Collaboration with other development partners (donors/NGOs) is secured.</p>

4


Man

5
H

ACTIVITIES ⁴	INPUTS
<p>Protected Area planning</p> <p>2.3.5 Assist to assess existing funding mechanisms within Cambodia and potential for use within the framework for REDD+</p> <p>2.3.6 Assist to develop framework for implementation of fund mechanisms</p> <p>2.4 Assist to Develop Policy and Law for the National REDD+ Implementation Framework</p> <p>2.4.1 Assist to develop policy, law, regulations and standards.</p> <p>2.4.2 Assist to assess options for linking subnational and national implementation.</p> <p>2.5 Assist to Develop Interim REDD+ Emission Reduction Registry</p> <p>2.5.1 Assist to develop national REDD + Registry options assessment.</p> <p>2.5.2 Assist to identify potential accounting options</p> <p>2.6 Assist to Develop Safeguards and Monitoring of Multiple-Benefits</p> <p>2.6.1 Assist to raise awareness of safeguards to Taskforce and stakeholders</p> <p>2.6.2 Assist capacity building of expected key persons of Safeguards Technical Team</p> <p>2.6.3 Assist to establish and operate Safeguards Technical Team</p> <p>2.6.4 Assist to develop technical report on safeguards</p> <p>2.6.5 Assist to develop proposed approach to safeguards</p> <p>2.6.6 Assist to develop national safeguards framework</p> <p>2.6.7 Assist to apply the national safeguards to relevant activities.</p> <p>2.6.8 Assist to conduct capacity building of key institutions to support initial safeguard development</p> <p>2.7 Assist conduct research and survey related to REDD+</p> <p>2.7.1 Assist to identify fast growing and indigenous tree species for forest enhancement</p> <p>2.7.2 Assist to compile information related to REDD+</p> <p>3.1 Assist to Implement Pilot Project Activities.</p> <p>3.1.0 Assist to Capacity Building of expected key persons of Demonstration Technical Team</p> <p>3.1.1 Assist to establish and operate Demonstration Technical Team.</p> <p>3.1.2 Assist to establish redd+ project-based approach.</p> <p>3.1.2.1 Assist to identify candidate forests.</p> <p>3.1.2.2 Assist to manage the candidate forests</p> <p>3.1.2.3 Assist to prepare project-based REDD+</p> <p>3.1.2.4 Assist political and legal processes including Free Prior and Informed</p>	

H

ACTIVITIES ^d	INPUTS	
<p>Consent (FPIC).</p> <p>3.1.2.5 Assist to prepare Project Design Documents (PDD)</p> <p>3.1.2.6 Assist to work of validation/ verification</p> <p>3.1.2.7 Assist to strengthen the forest management through redd+</p> <p>3.1.3 Assist to develop proposals for subnational approach to REDD+</p> <p>3.2 Assist to Develop Subnational Approach to redd+</p> <p>3.2.1 Assist to monitor activities by first round of small grants</p> <p>3.2.2 Support development of subnational activities</p> <p>3.2.2.1 Assist to identify candidate Provinces</p> <p>3.2.2.2 Assist consult with Provincial governors and related stakeholders</p> <p>3.2.2.3 Assist to develop subnational RELs</p> <p>3.2.2.4 Assist to determine subnational strategy, documentation and implementation</p> <p>3.2.2.5 Assist to implement subnational redd+</p> <p>3.2.3 Support to develop subnational pilot (small grant)</p>		

Handwritten mark

Handwritten signature

ACTIVITIES ⁴	INPUTS	
<p>4.1 <u>Assist National MRV/REL</u> 4.1.0 Assist capacity building of expected key persons of National MRV/REL Technical Team 4.1.1 Assist to establish and operate MRV/REL Technical Team 4.1.2 Assist to build appropriate national capacity</p> <p>4.2 <u>Assist to Develop a Monitoring System Plan</u> 4.2.1 Assist to review and analyse quality of data required in REDD+ 4.2.2 Assist to determine national forest definitions, land-use classes, carbon pools and reference period to be used 4.2.3 Assist to determinate the appropriate forest monitoring system to be used.</p> <p>4.3 <u>Assist to Review the Forest cover Assessments to Provide REDD+ Activity Data and Design the Satellite Forest Monitoring System</u> 4.3.1 Assist to review and analyse quality of satellite data required in REDD+ 4.3.2 Assist capacity building on the use of satellite images 4.3.3 Assist analysis of past and current forest cover change</p> <p>4.4 <u>Assist to Design a National Forest Inventory to Develop Emission and Removal Factors for REDD+ Related Activities</u> 4.4.1 Assist to design National Forest Inventory 4.4.2 Assist to develop central database of all information on forest monitoring, and MRV (including allometric equations, soil models, carbon stock database for tree species identification) 4.4.3 Assist assessments on estimation of emission factors due to degradation 4.4.4 Assist to make QA & QC, archiving system and maintenance 4.4.5 Assist to develop Web GIS platform</p> <p>4.5 <u>Support the Development of Cambodia RLs/RELS Framework</u> 4.5.1 Assist to implement quantitative assessment of drivers of forest</p>		

1762

ACTIVITIES ⁴	INPUTS	
<p>degradation.</p> <p>4.5.2 Assist to review and finalize land-use, forest policy and governance report.</p> <p>4.5.3 Assist to collate data on drivers of deforestation</p> <p>4.5.4 Assist to assess national circumstances</p> <p>4.5.5 Assist to assess intra-national displacement risks and measures</p> <p>4.5.6 Assist to undertake modelling analyses of future trends</p> <p>4.5.7 Assist to make preliminary design of the national REL framework</p> <p>4.5.8 Assist to quantify activity data</p> <p>4.5.9 Assist to develop historical emission and removal factors</p> <p>4.5.10 Assist to develop relevant RELs</p> <p>4.6 Support Development of a REDD+ Related GHG Reporting System</p> <p>4.6.1 Assist to combine activity and forest carbon stock data</p> <p>4.6.2 Assist to assess uncertainty of the data interpreted</p> <p>4.6.3 Assist to develop web platform</p> <p>4.6.4 Assist to dialogue national GHG inventory</p> <p>4.6.5 Assist to make QA & QC, archiving system and undertake maintenance</p> <p>4.6.6 Assist to design report mechanism to National GHG Inventory.</p>		

FLC

8
44

Annex III

Draft Plan of Operation (PO-4)
As of 30 December 2013

Planned schedule—■
Actual progress—■

Year	1st year												2nd year												3rd year												4th year												5th year												Major Supporting Framework											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60												
Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
I. Assist effective National Management of the REDD+ Readiness process and stakeholder engagement in accordance with the Roadmap principles.																																																																								
1.1	Assist to Establish National REDD+ Readiness Coordination Mechanism																																																																							
1.1.1	Assist to establish and operate Taskforce																																																																							
1.1.2	Assist to hold regular Taskforce meetings - every second month																																																																							
1.1.3	Assist to organise training of Taskforce																																																																							
1.1.4	Assist to establish internal mechanism in each Ministry/ Administration as necessary																																																																							
1.2	Support National REDD+ Readiness process																																																																							
1.2.0	Assist capacity building of expected key persons of Secretariat																																																																							
1.2.1	Assist to establish and operate Secretariat																																																																							
1.2.2	Assist to prepare a quarter- budget plan and an annual report																																																																							
1.2.3	Assist to conduct finance and procurement training for secretariat -additional resources to be provided by the supporting frameworks (UN-REDD, FCPF, CAM-REDD, etc.)																																																																							
1.2.4	Assist to hold regular meetings of decision making bodies of the supporting frameworks																																																																							
1.2.5	Assist to explore UNFCCC, UN-REDD, FCPF, CBD and other relevant meetings by Secretariat and Technical Teams																																																																							
1.2.6	Assist to conduct training and provide advice on REDD+ to Secretariat and Technical Teams																																																																							
1.2.7	Assist to prepare work plan by Secretariat																																																																							
1.3	Assist to Engage Stakeholders in the REDD+ Readiness process																																																																							
1.3.1	Assist to identify REDD+ relevant stakeholders.																																																																							
1.3.2	Assist to hold awareness-raising events or workshop on REDD+ to the stakeholders																																																																							
1.3.3	Assist to identify civil society (CS) and IP representatives for national REDD+ bodies (*)																																																																							
1.3.3.1	Assist to hold meetings with CS and IP groups concerned.																																																																							

	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	
2.1	Assist to develop capacity-building and training to ministries																								UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.1.2	Assist to finalise Cambodia R-PP through assessment of Land use, Forest Policy and Governance Report																								UN-REDD, CAM-REDD
2.1.3	Support the implementation and revision of the NFP.																								CAM-REDD, UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.1.4	Assist to develop National Protected Areas Strategic management Plan																								UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.1.5	Assist to investigate how the REDD+ can support management of flooded forests and mangrove areas managed by FIA under the Strategic Planning Framework on Fisheries																								UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.1.5.1	Assist to find an experienced contractor for construction of blockhouses and installation of demarcation poles and sign board																								CAM-REDD
2.1.5.2	Assist to conduct field work to identify locations of blockhouse and demarcation poles																								CAM-REDD
2.1.5.3	Assist to organise two consultations with stakeholders to discuss and agree on location of blockhouse and demarcation pole																								CAM-REDD
2.1.5.4	Assist to construct two blockhouses and demarcation poles and sign boards																								CAM-REDD
2.1.5.5	Assist to procure and support equipment for patrolling (1 fiber boat) for Kampong Chhnang																								CAM-REDD
2.1.6	Assist to design and implement strategies to address drivers from outside the forestry sector																								FCPF, CAM-REDD
2.1.7	Assist to develop regional collaboration with bordering countries on law enforcement and to reduce leakage																								UN-REDD, FCPF
2.1.8	Assist to develop individual REDD+ strategies (FA/MoE/FIA)																								FCPF, UN-REDD, CAM-REDD
2.1.9	Assist to evaluate candidate REDD+ strategies.																								FCPF, UN-REDD, CAM-REDD
2.1.10	Assist to develop national REDD+ strategy.																								FCPF, UN-REDD, CAM-REDD
2.2	Assist to Evaluate Multiple Benefits																								
2.2.1	Assist to implement the work plan based on results of a workshop																								UN-REDD, CAM-REDD
2.2.2	Assist to make valuation of the multiple benefits of standing forests under the management strategies (PAs, CFS, etc.)																								UN-REDD, CAM-REDD
2.2.3	Assist to scope and evaluate REDD+ strategies in relation to costs and benefits considering, inter alia, carbon density, co-benefits, jurisdiction, opportunity costs, resource management issues, etc.																								UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.2.4	Assist to understand local costs and benefits of REDD+																								UN-REDD, FCPF

Man

W
AD

ID	Description	Planned		Actual		Source
		Planned	Actual	Planned	Actual	
2.2.6	Assist to monitor multiple benefits, other impacts and governance					CAM-REDD
2.2.6.1	Assist to monitor and analyse of multiple benefits					CAM-REDD, UN-REDD
2.2.6.2	Assist to report the results of analysis annually					CAM-REDD
2.3	Assist to Establish REDD+ Fund Mechanisms and Revenue Sharing					
2.3.0	Assist capacity building of expected key persons of Benefit sharing Technical Team					UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.3.1	Assist to establish and operate Benefit Sharing Technical Team.					UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.3.1.1	Assist to prepare and endorse TOR of Benefit Sharing Technical Team					UN-REDD, CAM-REDD
2.3.1.2	Assist to nominate members of the Technical Team					UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.3.1.3	Assist to hold a regular meeting in the Technical Team					UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.3.1.4	Assist to develop a work plan and budget of Technical Team regularly					UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.3.1.5	Assist to report progress of activities to Taskforce					UN-REDD, CAM-REDD
2.3.2	Assist to assess existing benefit sharing and fund management models in Cambodia and international best practice					UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.3.3	Assist to conduct consultation on results from the assessment.					UN-REDD, CAM-REDD
2.3.4	Assist to develop preferred options - with relevance to NFP and Protected Area planning					UN-REDD, CAM-REDD
2.3.5	Assist to assess existing funding mechanisms within Cambodia and potential for use within the framework for REDD+					UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.3.6	Assist to develop framework for implementation of fund mechanisms					FCPF, CAM-REDD
2.4	Assist to Develop Policy and Law for the National REDD+ Implementation Framework					
2.4.1	Assist to develop policy, law, regulations and standards.					FCPF, CAM-REDD, UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.4.2	Assist to assess to options for linking subnational and national implementation					
2.5	Assist to Develop interim REDD+ Emission Reduction Registry					
2.5.1	Assist to develop National REDD + Registry options resuscitation					FCPF, CAM-REDD

W

	Planned	Actual				
2.5.1.1	Planned	Actual	Assist to set up national REDD+ registry for Projects/Subnational off-set			CAM-REDD
2.5.1.2	Planned	Actual	Assist to identify national REDD+ registry options (institutional/technical)			CAM-REDD
2.5.1.3	Planned	Actual	Assist to develop national REDD+ registry			FCPF, CAM-REDD
2.5.2	Planned	Actual	Assist to identify potential accounting options			CAM-REDD
2.6			Assist to Develop Safeguards and Monitoring of Multiple-Benefits.			
2.6.1	Planned	Actual	Assist to raise awareness of safeguards to Taskforce and stakeholders			CAM-REDD, FCPF, UN-REDD, TIN-REDD
2.6.2	Planned	Actual	Assist capacity building of expected key persons of Safeguard Technical Team			
2.6.3	Planned	Actual	Assist to establish and operate Safeguards Technical Team			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.3.1	Planned	Actual	Assist to prepare and endorse TOR of Safeguards Technical Team			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.3.2	Planned	Actual	Assist to nominate members of the Technical Team			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.3.3	Planned	Actual	Assist to hold a regular meeting in the Technical Team			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.3.4	Planned	Actual	Assist to develop a work plan and budget of Technical Team regularly			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.3.5	Planned	Actual	Assist to report progress of activities to Taskforce			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.4	Planned	Actual	Assist to develop a technical report on safeguards			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.4.1	Planned	Actual	Assist to assess existing global safeguard principles and criteria			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD, FPRI
2.6.4.2	Planned	Actual	Assist to analyse existing legal and policy measures that address issues related to safeguards			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.4.3	Planned	Actual	Assist to assess existing experiences from the application of safeguards in other countries and in Cambodia			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.5	Planned	Actual	Assist to develop proposed approach to safeguards			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.5.1	Planned	Actual	Assist to develop proposals for elements of a national approach to REDD+ safeguards including the issue of FPIC and multiple benefits			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.5.2	Planned	Actual	Assist to develop proposals for specific measures and procedures to address each element of safeguards (including the issue of FPIC) identified above			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
	Planned	Actual	Assist to develop proposals for systems for monitoring and			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD

HW

ID	Description	Annual		CAM-REDD, FCPF
		Planned	Actual	
2.6.5.3	reporting how safeguards have been addressed and respected in accordance with the UNFCCC agreements			
2.6.6	Assist to develop national safeguards framework			UN-REDD, CAM-REDD, FCPF
2.6.7	Assist to apply the national safeguards to relevant activities			UN-REDD, FCPF, CAM-REDD
2.6.8	Assist to conduct capacity building of key institutions to support initial safeguard development			UN-REDD, CAM-REDD
2.7	Assist to Conduct Research and Survey Related to REDD+			
2.7.1	Assist identify fast growing and indigenous tree species for forest enhancement			CAM-REDD, NFI-FAOTCP2
2.7.2	Assist to compile information related to REDD+			FPRI

(*) FA: Forestry Administration, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), FAC: Cantonment FA Office, FAD: Divisional FA Office, FIA: Fishery Administration, MAFF, MoE: Ministry of Environment

4/13

Activity	Planned		Actual		Funding Source
	Start	End	Start	End	
3.2.2.4 Assist to formulate subnational strategy, documentation and implementation					UNDP, Various REDD Projects, FCPF, CAM-REDD, UNDP-Various REDD Projects, FCPF, UNDP
3.2.2.5 Assist to implement subnational redd+					
3.2.3 Support to develop subnational pilot (small grant)					
4. Assist design of a Monitoring System and RLs/RELS framework and capacity for implementation.					
4.1 Assist National MRV/REL					
4.1.0 Assist capacity building of expected key persons of National MRV/REL Technical Team					UN-REDD, CAM-REDD, NFI-FAOT/CP, FCPF
4.1.1 Assist to establish and operate MRV/REL Technical Team					UN-REDD, CAM-REDD, NFI-FAOT/CP, FCPF
4.1.1.1 Assist to prepare and endorse TOR of MRV/REL Technical Team					UN-REDD, CAM-REDD
4.1.1.2 Assist to nominate members of the Technical Team					UN-REDD, CAM-REDD
4.1.1.3 Assist to hold a regular meeting in the Technical Team					UN-REDD
4.1.1.4 Assist to develop a work plan and budget of Technical Team regularly					UN-REDD, CAM-REDD
4.1.1.5 Assist to determine appropriate institutions and their roles in the MRV system					UN-REDD, NFI-FAOT/CP, CAM-REDD
4.1.1.6 Assist to report progress of activities to Taskforce					UN-REDD, NFI-FAOT/CP, CAM-REDD
4.1.2 Assist to build appropriate national capacity					UN-REDD, CAM-REDD, NFI-FAOT/CP, FCPF
4.1.2.1 Assist to conduct training and capacity needs assessments.					UN-REDD, CAM-REDD, NFI-FAOT/CP
4.1.2.1.1 Assist to assess the needs of training and capacity building for mapping, field data collection, processing, analysis, accuracy assessment, and emission factor analysis and information management.					UN-REDD, CAM-REDD, NFI-FAOT/CP
4.1.2.1.2 Assist to define the needs of equipment for the multipurpose NFI and field test during trainings					NFI-FAOT/CP, CAM-REDD
4.1.2.2 Assist to prepare a plan on training					CAM-REDD, UN-REDD
4.1.2.2.1 Support the development of training manuals on comprehensive NFI.					CAM-REDD, NFI-FAOT/CP
4.1.2.2.2 Assist to design the field forms for data collection from measurements, observations and interviews.					NFI-FAOT/CP

43

		Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual	Planned	Actual				
4.1.2.2.3	Assist to identify various forest types within ongoing forests project sites for field trainings																																					NFI-FAOT/CP	
4.1.2.3	Assist to conduct basic education and training																																					NFI-FAOT/CP, CAM-REDD, GRAS,	
4.1.2.3.1	Assist to conduct basic education on RS/GIS and REDD+ mechanism																																				CAM-REDD, UNREDD		
4.1.2.3.2	Assist to conduct trainings on satellite image interpretation																																					CAM-REDD	
4.1.2.3.3	Assist to conduct trainings on MRV and IPCC guidelines																																					UN-REDD, CAM-REDD, GRAS	
4.1.2.3.4	Assist to conduct training on remote sensing and satellite monitoring system for REDD																																					UNREDD	
4.1.2.3.5	Assist to conduct advance training on national forest inventories																																					CAM-REDD, NFI-FAOT/CP	
4.1.2.3.6	Assist to conduct basic trainings on database software																																					UN-REDD, CAM-REDD	
4.1.2.3.7	Assist to conduct training on the forest survey method																																					CAM-REDD (depending on an applied approach), UN-REDD, NFI-FAOT/CP	
4.1.2.3.8	Assist to conduct in-service training to the national team for field data collection																																					NFI-FAOT/CP	
4.1.2.3.9	Assist to conduct training for field data processing and statistical analysis																																					NFI-FAOT/CP	
4.1.2.3.10	Assist to conduct training on setting up and maintenance of server and LAN																																					UN-REDD	
4.1.2.3.11	Assist to publish the validated multipurpose NFI methods and fields guides for national use																																						NFI-FAOT/CP, CAM-REDD
4.2	Assist to Develop a Monitorin System Plan																																						UN-REDD, CAM-REDD, NFI-FAOT/CP
4.2.1	Assist to review and analyse quality of data required in REDD+																																						UN-REDD, CAM-REDD, NFI-FAOT/CP, FCPF
4.2.1.1	Assist to collate and harmonize the existing forest cover/carbon stock																																						UN-REDD, CAM-REDD
4.2.1.2	Assist to review national forest definitions																																						UN-REDD, NFI-FAOT/CP, CAM-REDD
4.2.1.3	Assist to review forest cover assessments to provide REDD+ activity data and design the satellite forest monitoring system																																						UN-REDD, CAM-REDD
4.2.1.4	Assist to review and present different scenarios to decision makers																																						UN-REDD, NFI-FAOT/CP
4.2.1.5	Assist to determine national forest definitions, land use classes, carbon pools and reference period to be used																																						NFI-FAOT/CP, UN-REDD, CAM-REDD
4.2.1.6	Assist to analyse the accessibility of satellite and aerial imauerres for detection of past, present and future forest																																						UN-REDD,

km

ID	Activity	Planned		Actual		Reporting Period
		Planned	Actual	Planned	Actual	
4.5.7	Assist to make preliminary design of the national REL framework					UN-REDD, CAM-REDD
4.5.8	Assist quantify activity data					UN-REDD, CAM-REDD
4.5.8.1	Assist to collection ground truth data for classification and verification of activity data					UN-REDD, CAM-REDD
4.5.9	Assist to develop historical emission and removal factors					UN-REDD, CAM-REDD, FCPF
4.5.10	Assist to develop develop relevant RELs					UN-REDD, CAM-REDD, FCPF
4.6	4.6 Support Development of a REDD+ Related GHG Reporting System					
4.6.1	Assist to combine activity and forest carbon stock data					UN-REDD, CAM-REDD, FCPF
4.6.2	Assist to assess uncertainty of the data interpreted					UN-REDD, CAM-REDD
4.6.3	Assist to develop web platform					UN-REDD, CAM-REDD, FCPF
4.6.4	Assist to dialogue national GHG inventory					UN-REDD, CAM-REDD
4.6.5	Assist to make QA & QC, archiving system and undertake maintenance					UN-REDD, CAM-REDD
4.6.6	Assist to design a report mechanism to National GHG Inventory					UN-REDD, CAM-REDD

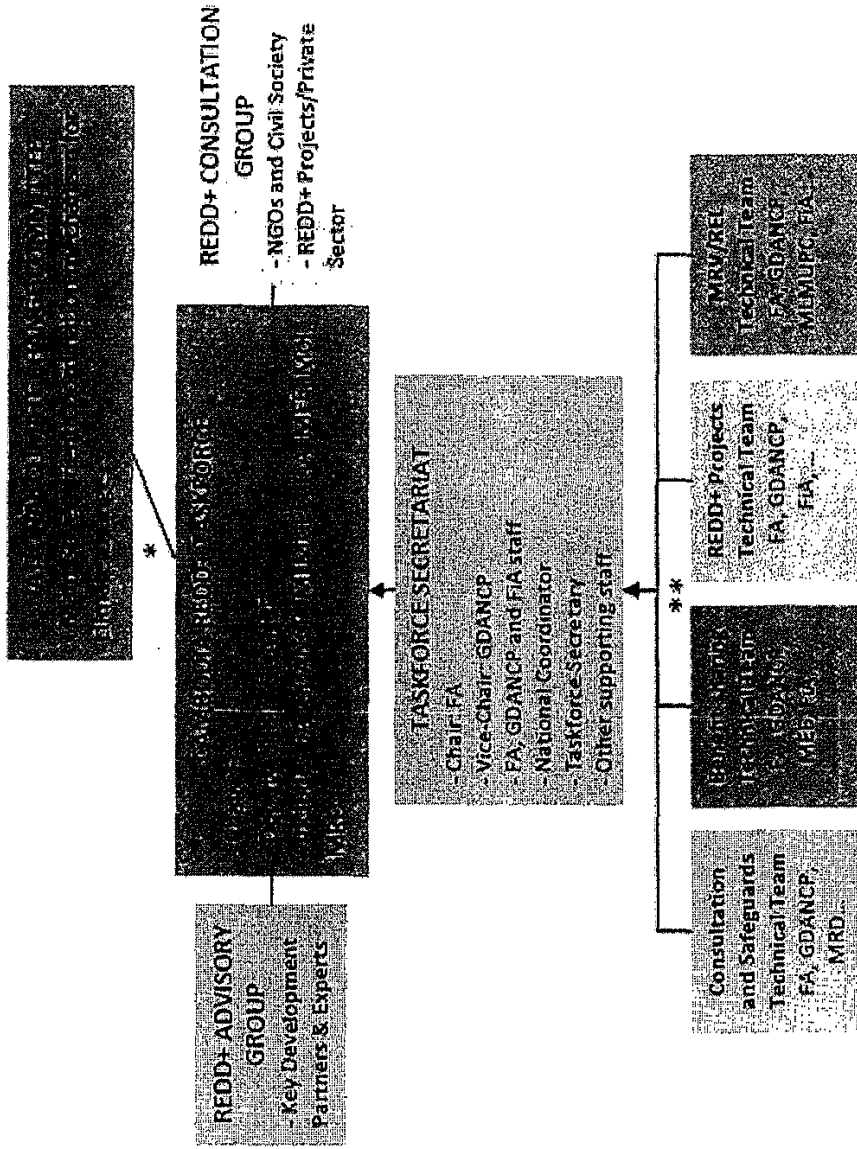
Handwritten signature

Handwritten mark

Handwritten signature

Annex IV

Organization Chart of Cambodia National REDD+



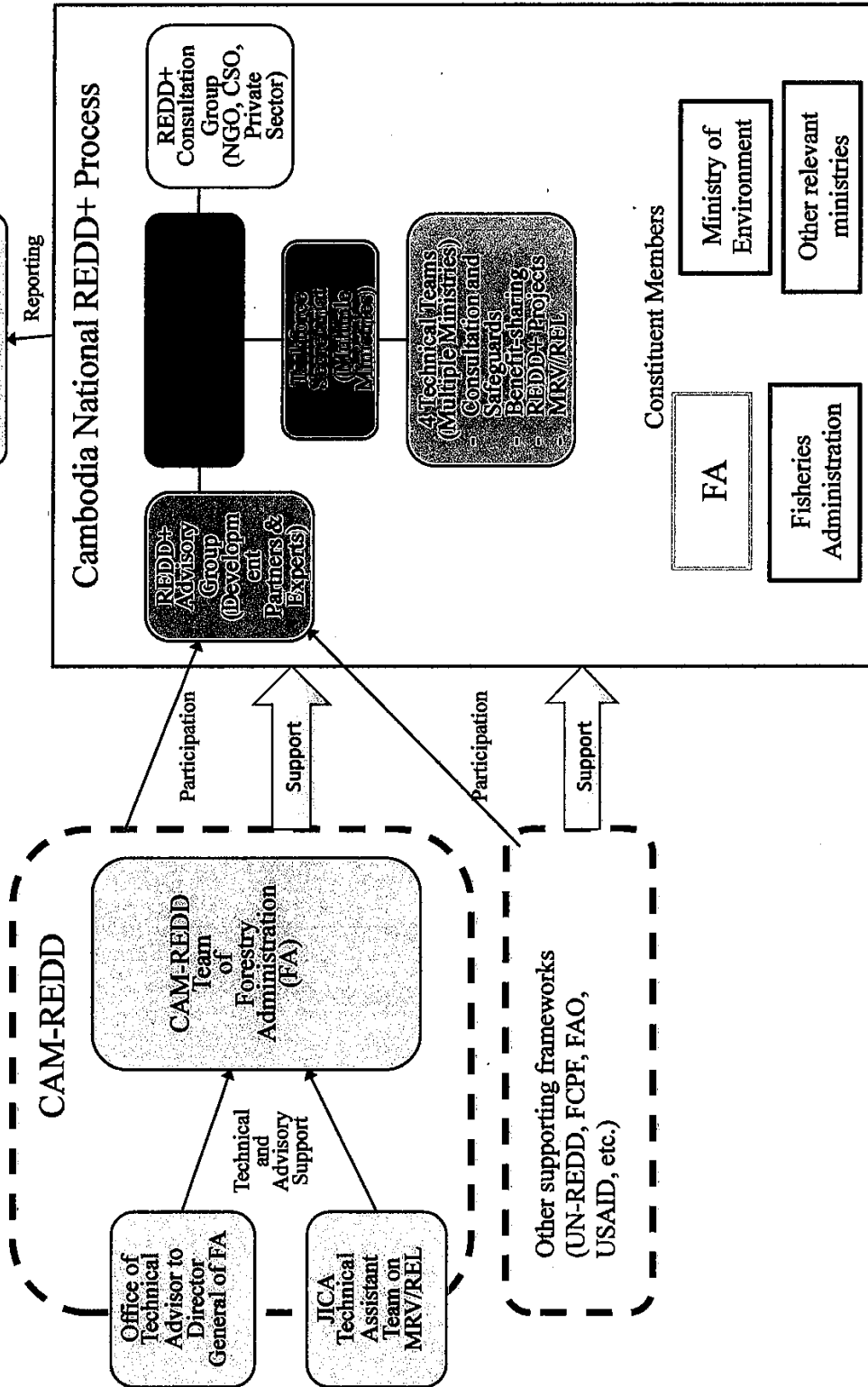
* Represents reports from the Taskforce sent to the NCCC
 ** Taskforce Technical Teams will include Government and non-Government representatives as appropriate

Handwritten mark

Handwritten initials/signature in the top right corner.

Annex V

Implementation Structure of CAM-REDD



Handwritten initials/signature in the bottom left corner.

Annex VI

Assignment of Japanese Experts (as of Jan 2014)

	Field	Name	Assignment Period	Man-Month	Responsible Outputs and/or Activities of PDM
1.	Chief Advisor and Policy Advisor	Hiroshi Nakata	July 2010 to October 2014	43*	Overall
2.	Co-benefit and Coordinator	Naomi Matsue	October 2011 to October 2014	34	Overall, in particular Outcome 2
3.	Team-leader for short-term experts/ Remote sensing-GIS	Shigeru Ono	Intermittently during November 2011 to January 2014	19.67	Outcome 3 and 4
4.	Deputy team-leader for short-term experts/ Forest resources inventory	Takashi Someya		5.26	Outcome 3 and 4
5.	Forest resources inventory	Takeshi Yamase / Isao Sakai	Intermittently during December 2011 to January 2014	14	Outcome 3 and 4
6.	Forest database	Yoshitaka Gomi	November 2012 to December 2012	1.2	Outcome 3 and 4
7.	Forest remote sensing 1	Miki Asai	Intermittently during September 2013 to January 2014	1	Outcome 3 and 4
			Total	118.13	

Note: Chief Advisor's assignment period and workload is shared with the assignment of Technical Advisor to FA (independent from CAM-REDD).

Handwritten signature

Handwritten mark

Cambodia Personnel Trained in Japan

	Name	Position/Organization at the time of training	Training Period	Title of Training Course
1.	Mr. Lim Bunna	Deputy Manager Planning, Statistics and Total Office Forestry Administration	Sep 27, 2011 – Nov 17, 2011	Capacity Building for National Forest Monitoring System to Promote REDD
2.	Mrs. Sar Sophyra	Deputy Manager Watershed Management and Forest Cover Assessment Office Forestry Administration	May 13, 2012 – Jul 7, 2012	Capacity Building for National Forest Monitoring System to Promote REDD
3.	Mr. Chanthet Thannarak	Deputy Chief of Administration, International Cooperation and ASEAN Forestry Administration	May 13, 2012 – Jul 7, 2012	Capacity Building for National Forest Monitoring System to Promote REDD
4.	Ms. Koh Sotheavy	Demarcation, Registration and Forest Land Use Office	May 6, 2013 – Jun 21, 2013	Remote Sensing of Forest Resources (A) Basic
5.	Mr. Menh Khidorang	Watershed Management and Forest Cover Assessment Office Forestry Administration	May 6, 2013 – Jun 21, 2013	Remote Sensing of Forest Resources (A) Basic
6.	Ms. Nay Sikhoeun	Demarcation, Registration and Forest Land Use Office Forestry Administration	May 12, 2013 – Jul 6, 2013	Capacity Building for National Forest Monitoring System to Promote REDD
7.	Mr. Ork Sithsambo	Demarcation, Registration and Forest Land Use Office Forestry Administration	May 12, 2013 – Jul 6, 2013	Capacity Building for National Forest Monitoring System to Promote REDD
8.	Mr. Prep Sam	Chief of Agro-Forestry Office Forestry Administration	Sept 18, 2013 – Nov 6, 2013	Remote Sensing of Forest Resources

MB

MB

Annex VIII

Equipment and Construction Cost Provided by Japanese Side

	Major Budget Item	FY2011	FY2012	FY2013	Total
1.	Equipment and goods (computer, printer, camera, GPS, LCD projector, boots, etc.)	127,236	133,947	19,380	280,563
2.	Construction (stations, demarcation poles, signboards)	73,703	12,787	10,391	96,881
Total in USD		200,939	146,734	29,771	377,444

As of December 2013

Handwritten signature

Handwritten mark

Annex IX

Local Operational Cost of CAM-REDD plus National Forestry Program (NFP)

	Cash Flow				Sub-Total
	2010 (Aug-Dec)	2011 (Jan-Dec)	2012 (Jan-Dec)	2013 (Jan-Dec)	
Outcome1: Institutional arrangement					\$91,854
-International trips (UN-REDD: PB/FCPF/PC/ UNFCCC-SBSTA36 - COP17/REDD+ Partnership...)	\$5,081	\$35,449	\$45,704	\$2,733	\$88,968
-Taskforce secretariat	\$0	\$0	\$1,600	\$0	\$1,600
-FIA involvement	\$0	\$0	\$0	\$1,287	\$1,287
Outcome2: Policy and Strategy					\$30,553
-Wildlife and Biodiversity Law	\$0	\$0	\$6,953	\$4,320	\$11,273
-Biodiversity database	\$0	\$606	\$4,100	\$3,257	\$7,963
-Carbon stock enhancement	\$0	\$6,056	\$5,261	\$0	\$11,317
Outcome3: Project/Sub-national					\$503,083
- Seima PF and FPIC	\$0	\$19,813	\$73,125	\$29,043	\$121,981
- Veun Sai	\$0	\$7,715	\$27,051	\$10,306	\$45,072
- Central Cardamom PF	\$0	\$12,834	\$13,530	\$3,500	\$29,864
- Preah Vihear PF and Pre-FPIC	\$0	\$52,375	\$70,920	\$30,464	\$153,759
- Kulen Prum Tep Wildlife Sanctuary	\$0	\$0	\$30,067	\$0	\$30,067
- Siem Pang	\$0	\$1,235	\$2,329	\$3,570	\$7,134
- Oddar Meanchey CF	\$0	\$8,205	\$11,785	\$0	\$19,990
- Southen Cardamom PF	\$0	\$4,250	\$0	\$0	\$4,250
- Prey Long	\$0	\$0	\$0	\$66,382	\$66,382
- Oyadav Protected Forest	\$0	\$0	\$21,285	\$3,299	\$24,584
- Kampong Chhnang Flooded Forest	\$0	\$0	\$0	\$0	\$0
- Prey Nub Mangrove Forest	\$0	\$0	\$0	\$0	\$0
- Other sites	\$0	\$0	\$0	\$0	\$0
#Outcome4: MRV					\$188,619
Basic education for FA	\$0	\$72,149	\$106,050	\$0	\$178,199
Basic education for FIA	\$0	\$0	\$0	\$10,420	\$10,420

Total of CAM-REDD	\$5,081	\$220,687	\$419,759	\$168,581	\$814,108
Total of NFP and Office Management*	\$5,303	\$105,637	\$158,110	\$205,053	\$474,103
Grand Total	\$10,384	\$326,324	\$577,869	\$373,634	\$1,288,211

* The activities under NFP (National Forestry Program) budget also contributes to the Project

Handwritten signature

Handwritten mark

Assigned Cambodian Personnel of CAM-REDD

Managers

Name	Position in the Project	Position in the Organization	Assignment Period
H.E. Dr. Chheng Kimsun	Project Director	Delegate of the Royal Government, Head of Forestry Administration	May 2011 to the present
H.E. Chea Sam Ang	Assistant Project Director	Deputy Director-General of Forestry Administration	May 2011 to the present
Dr. Keo Omaliss	Project Manager	Director of Wildlife and Biodiversity Department	November 2011 to the present
Mr. Meas Makara		Director of Forest and Community Forestry Department	May 2011 to November 2011
Mr. Khun Vathana	Project National Administrative Coordinator	Acting Manager, Office of Carbon Credit and Climate Change	November 2011 to present

Technical Personnel of Forest Authority

	Name	Area of Responsibility	Position in the Organization	Project Assignment Period
1	Mr. Long Ratanakoma	Benefit Sharing	Deputy Director of Forest and Forestry Community Department	May 2011 to present
2	Mr. Phan Kamnap	Safeguards	Manager of Forestry Community Office	May 2011 to present
3	Mr. Chhun Delux	Safeguards	Deputy manager of Carbon Credit and Climate Change Office	June 2013 to present
4	Mr. Men Soriyun	Demonstration Seima Protected Forest	Deputy Director of Wildlife and Biodiversity Department	May 2011 to present
5	Mr. Tan Setha	Demonstration Preah Vihear Protected Forest	Deputy manager of Wildlife Protection and Biodiversity Office	May 2011 to present
6	Mr. Poav Somanak	Demonstration Central Cardamon Protected Forest	Manager of Wildlife Protection and Biodiversity Office	May 2011 to present

7	Mr. Kry Masphal	Demonstration Western Siem Pang Proposed Protected Forest	Deputy manager of Wildlife Protection and Biodiversity Office	May 2011 to present
8	Mr. Chea Nget	Demonstration Veun Sai-Siem Pang Proposed Protected Forest	Officer	May 2011 to present
9	Mr. Leng Chivin	MRV/REL	Manager of Watershed Management and Forest Cover Assessment Office	May 2011 to present
10	Ms. Sa Sophira	MRV/REL	Deputy manager of Watershed Management and Forest Cover Assessment Office	May 2011 to present
11	Mr. Seab Kimsrim	MRV/REL	Officer	September 2013 to present

Technical Personnel of Other Agencies

	Name	Name of Agency	Position in the Organization
1	Mr. Ouk Vibol	Fisheries Administration	Director of Fisheries Conservation Department
2	Mr. Bun Racy	Fisheries Administration	Officer
3	Mr. Uy Kamal	General Department of Administration for Nature Conservation and Protection, Ministry of Environment	Deputy Director of Climate Change Department
4	Mr. Kim Nong	General Department of Administration for Nature Conservation and Protection, Ministry of Environment	Deputy Director-General of Administration for Nature Conservation and Protection

Project Staff

	Name	Position in the Organization	Assignment Period
1	Ms. Ches Sopheap	Officer Manager	May 2011 to present
2	Mr. Chouth Titsophea	Technical Assistant to REDD+ in Protected Forests	October 2013 to present
3	Ms. Seng Nalin	IT Assistant	June 2013 to present
4	Mr. Seab	Technical Assistant	January 2011 to August 2013

	Kimsrim		
5	Mr. Pak Sngoun Pisey	Technical Assistant to REDD+ Taskforce Secretariat	January 2011 to August 2013
6	Ms. Leang Choronay	IT Assistant	December 2012 to May 2013
7	Ms. Cheam Dalina	Biodiversity Assistant	December 2012 to May 2013

Handwritten signature

Handwritten signature

Project Design Matrix (PDM-5)
Project Title: Project for Facilitating the Implementation of REDD+ Strategy and Policy ("CAM-REDD")
Project Area: Whole Cambodia
Target Group: Direct beneficiary – REDD+ Task Force and Cambodian Governmental Officials (inter-ministerial) Prepared on 18 February 2014
Project Period: June 2011 to May 2016 (5 years)

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTION
<p>Overall Goal Sustainable forest management as a mitigation measure against climate change is promoted based on the experiences of REDD+ implementation.</p> <p>Project Purpose Capacity of related stakeholders is strengthened for smooth implementation of REDD+ strategy and policy.</p>	<p>Rate of deforestation and/or forest degradation becomes lower</p> <p>i) Necessary policies and measures drafted in the National REDD+ Strategy are taken ii) Policy level inter-ministerial coordination for promoting National REDD+ strategy is enhanced.</p>	<p>Internationally submitted reports</p> <p>* Governmental Documents * Interviews from stakeholders</p>	<p>* Cambodian policies on REDD+ do not change greatly. * Financial sustainability is secured.</p>
<p>Outcomes¹ 1. Effective National Management of the REDD+ Readiness process and stakeholder engagement in accordance with the Roadmap principles. 2. Development of the National REDD+ Strategy and Implementation Modalities.</p>	<p>i) National taskforce, its secretariat, technical teams and consultation groups are established and become fully functional</p> <p>ii) The National REDD+ strategy is drafted iii) A national guideline on safeguards is drafted iii) Draft law on Wildlife and Biodiversity is submitted to the Council of Ministers</p>	<p>* Prakas² by Ministers / Reports/Minutes of (Taskforce/advisory group/consultation events/trainings, etc.)</p> <p>* Prakas by Ministers / Reports/Documents/Minutes of (Taskforce/advisory group/consultation events/trainings, etc.)</p>	<p>* International rules and modalities related to REDD+ procedure are established without delay.</p>
<p>3. Improvement of capacity to manage REDD+ at project and subnational levels.</p>	<p>i) Emission reduction is confirmed at least in one project ii) Identification of subnational scale (either landscape-based or provincial) is completed and subnational process³ is initiated iii) Experiences of all the demonstration sites supported by CAM-REDD are compiled and shared among stakeholders</p>	<p>* Reports/Maps/Datasets * Verification Reports</p>	
<p>4. Design of a Monitoring System and RELs/RELS framework and capacity for implementation.</p>	<p>i) National forest monitoring system is designed and operationalized. ii) Initial REL(s)/RL(s) is developed. iii) Initial forest carbon measurement is completed above IPCC's Tier 1 level and its report is drafted for verification.</p>	<p>* Reports/Maps/Datasets</p>	

¹ "Outcome" is defined as "the expected products and status to be achieved by conducting Activities". The term has the same meaning as "OUTPUT" in PDM-1.
² Praksa is defined as declaration by a minister.

³ This process includes development of REL/RL, identification of methods to address drivers of deforestation, establishment of monitoring system, etc.

ACTIVITIES ⁴	INPUTS		
	Japanese Side	Cambodian Side	
<p>1.1 Establish National REDD+ Readiness Coordination Mechanism</p> <p>1.1.1 Establish and operate Taskforce</p> <p>1.1.2 Hold regular Taskforce meetings – every second month</p> <p>1.1.3 Organise training of Taskforce</p> <p>1.1.4 Establish internal mechanism in each Ministry/Administration as necessary</p> <p>1.2 Support National REDD+ Readiness Process</p> <p>1.2.0 Building capacity of expected key persons of Secretariat</p> <p>1.2.1 Establish and operate secretariat</p> <p>1.2.2 Conduct finance and procurement training for secretariat -additional resources to be provided by the supporting frameworks (UN-REDD, FCPF, CAM-REDD, etc.)</p> <p>1.2.3 Hold regular meetings of decision making bodies of the supporting frameworks</p> <p>1.2.4 Explore by secretariat and technical teams to UNFCCC, UN-REDD, FCPF, CBD and other relevant meetings</p> <p>1.2.5 Conduct training for Secretariat and technical teams</p> <p>1.3 Engage Stakeholders in the REDD+ Readiness Process</p> <p>1.3.1 Identify REDD+ relevant stakeholders.</p> <p>1.3.2 Hold awareness-raising events or workshop on REDD+ to the stakeholders</p> <p>1.3.3 Identify civil society (CS) and IP⁵ representatives for national REDD+ bodies</p> <p>1.3.4 Support to set up CF, CFI and CPA⁶ networks</p> <p>1.3.5 Support groups of CS, IP, CF, CFI and CPA to engage on specific technical areas.</p> <p>1.4 Provide Stakeholders with Information on REDD+ and the National REDD+ Readiness Process</p>	<p>1) Allocation of Experts</p> <p>- Chief Advisor</p> <p>- Project Administrative Coordinator</p> <p>- Experts in the relevant fields (decided based on mutual agreement and within budget limitations)</p> <p>(1) RS/GIS</p> <p>(2) Forest Monitoring</p> <p>(3) Others</p> <p>2) Provision of equipment/facilities</p> <p>3) Training in Japan/Third Country Training</p> <p>4) Others</p>	<p>1) Stakeholders⁷</p> <p>- Project Director (Chief of FA, MAFF)</p> <p>- Project Manager (Deputy Director of Dept. of Wildlife and Biodiversity, FA, MAFF)</p> <p>- Project National Administrative Coordinator (Acting Chief, Office of Carbon Credit and Climate Change, FA, MAFF)</p> <p>- Project Administrative Personnel</p> <p>- Administrative Staffs/Secretaries</p> <p>/Typists/Clerks/Drivers/Security Guards/Other supporting Staffs if necessary</p> <p>2) Buildings and Facilities</p> <p>- Office space for the Project</p> <p>- Space for related facilities</p> <p>- Buildings and rooms, facilities, equipment and materials (Project Office in FA, MAFF and the Project Sites/Meeting rooms/Materials and Equipment provided through the Grand Aid by GOJ, Facilities and utilities, and other facilities if necessary on mutual agreement basis)</p>	<p>* Provision of the equipment by the grant aid does not get greatly delayed.</p> <p>* Stakeholders (FA/MoE/FIA) continue to work for the Project.</p>

⁴ There are activities with minor participation expected by CAM-REDD. They may or may not be subject to evaluation depending on the modality to be agreed in the future (Activity Nos. 1.1.2, 1.4.1, 1.4.2, 3.1.1, 4.2.2, 4.4.1 to 4.4.3, and 4.5.1 to 4.5.4).

⁵ IP: Indigenous Peoples

⁶ CF: Community Forestry, CFI: Community Fisheries, CPA: Community Protected Areas

ACTIVITIES	INPUTS
<p>1.4.1 Establish and maintain website of national Taskforce</p> <p>1.4.2 Develop consultation and participation plan</p> <p>1.4.3 Develop awareness raising materials, tools and outreach</p> <p>1.4.4 Develop capacity-building and awareness-raising process</p> <p>1.4.5 Hold regular meetings of the consultation group</p>	
<p>2.1 Develop National REDD+ Strategy</p>	
<p>2.1.1 Develop capacity-building and training to ministries</p>	
<p>2.1.2 <u>Support the implementation and revision of the NFP</u></p>	
<p>2.1.3 Develop National Protected Areas Strategic management Plan</p>	
<p>2.1.4 Investigate how the REDD+ can support management of flooded forests and mangrove areas managed by FIA under the Strategic Planning Framework on Fisheries</p>	
<p>2.1.5 Design a national REDD+ strategy to address drivers from outside the forestry sector</p>	
<p>2.1.6 Develop regional collaboration with bordering countries on law enforcement and to reduce leakage</p>	
<p>2.1.7 Develop a national REDD+ strategy.</p>	
<p>2.2 Evaluate Multiple Benefits</p>	
<p>2.2.1 Make valuation of the multiple benefits of standing forests under the management strategies (PAs, CFs, etc.)</p>	
<p>2.2.2 Scope and evaluate REDD+ strategies in relation to costs and benefits considering, inter alia, carbon density, co-benefits, jurisdiction, opportunity costs, resource management issues, etc.</p>	
<p>2.2.3 Understand local costs and benefits of REDD+</p>	
<p>2.2.4 Monitor multiple benefits, other impacts and governance</p>	
<p>2.3 Establish REDD+ Fund mechanisms and Revenue Sharing</p>	
<p>2.3.0 Building capacity of expected key persons of Benefit sharing Technical Team</p>	
<p>2.3.1 Establish and operate Benefit Sharing Technical Team.</p>	
<p>2.3.2 Assess existing benefit sharing and fund management models in Cambodia and international best practice.</p>	
<p>2.3.3 Conduct consultation on results from the assessment</p>	
<p>2.3.4 Develop preferred options - with relevance to NFP and Protected Area planning</p>	
<p>2.3.5 Assess existing funding mechanisms within Cambodia and potential for</p>	

Preconditions
 * Collaboration with other development partners (donors/NGOs) is secured.

Handwritten signature
 3

Handwritten mark

ACTIVITIES'	INPUTS
<p>use within the framework for REDD+ 2.3.6 Develop a framework for implementation of fund mechanisms</p> <p>2.4 Develop Policy and Legal Framework for the National REDD+ Implementation Framework</p> <p>2.4.1 Develop policy, law, regulations and standards. 2.4.2 Assess options for linking subnational and national implementation. 2.4.3 Establish grievance mechanism</p> <p>2.5 Conceptualise Interim REDD+ Emission Reduction Registry and Accounting</p> <p>2.5.1 <u>Identify potential REDD + Registry options.</u> 2.5.2 <u>Identify potential accounting options</u></p> <p>2.6 Develop Safeguards and Monitoring of Multiple-Benefits</p> <p>2.6.1 Raise awareness of safeguards to Taskforce and stakeholders 2.6.2 <u>Build capacity of expected key persons of Safeguards Technical Team</u> 2.6.3 Establish and operate Safeguards Technical Team 2.6.4 Develop technical report on safeguards 2.6.5 Develop proposed approach to safeguards 2.6.6 <u>Develop a national safeguards framework</u> 2.6.7 Apply the national safeguards to relevant activities. 2.6.8 Conduct capacity building of key institutions to support initial safeguard development</p> <p>2.7 Conduct research and survey related to REDD+</p> <p>2.7.1 <u>Identify fast growing and indigenous tree species for forest enhancement</u> 2.7.2 Compile scientific findings related to REDD+</p> <p>3.1 Implement Pilot Project Activities</p> <p>3.1.0 Build capacity of expected key persons of Demonstration Technical Team 3.1.1 <u>Establish and operate Demonstration Technical Team.</u> 3.1.2 <u>Establish REDD+ project-based approach.</u> 3.1.2.1 Identify candidate forests.</p>	

1/14

Handwritten mark

ACTIVITIES ⁴	INPUTS	
<p>3.1.2.2 <u>Manage the candidate forests</u></p> <p>3.1.2.3 <u>Prepare project-based REDD+</u></p> <p>3.1.2.4 <u>Political and legal processes including Free Prior and Informed Consent (FPIC).</u></p> <p>3.1.2.5 <u>Prepare Project Design Documents (PDD)</u></p> <p>3.1.2.6 <u>Work of validation/ verification</u></p> <p>3.1.2.7 <u>Strengthen the forest management through REDD+</u></p> <p>3.1.3 <u>Develop proposals for subnational approach to REDD+</u></p> <p>3.2 Develop Subnational Approach to REDD+</p> <p>3.2.1 <u>Monitor activities by first round of small grants by UNDP</u></p> <p>3.2.2 <u>Improve capacity to manage REDD+ at subnational level</u></p> <p>3.2.2.1 <u>Identify candidate Provinces/ Landscape</u></p> <p>3.2.2.2 <u>Consult with Provincial governors and related stakeholders</u></p> <p>3.2.2.3 <u>Develop subnational RELS</u></p> <p>3.2.2.4 <u>Determine subnational strategy, documentation and implementation</u></p> <p>3.2.2.5 <u>Implement subnational REDD+</u></p> <p>3.2.3 <u>Support to develop subnational pilot</u></p> <p>4.1 Establish National MRV/REL</p> <p>4.1.0 <u>Build capacity of expected key persons of National MRV/REL Technical Team</u></p> <p>4.1.1 <u>Establish and operate MRV/REL Technical Team</u></p> <p>4.1.2 <u>Build appropriate national capacity</u></p> <p>4.2 Develop National Forest Monitoring System Plan</p> <p>4.2.1 <u>Review and analyze quality of data required in REDD+</u></p> <p>4.2.2 <u>Determine national forest definitions, land-use classes, carbon pools and reference period to be used</u></p> <p>4.2.3 <u>Determine the appropriate national forest monitoring system to be used.</u></p> <p>4.2.4 <u>Develop NFMS Web platform</u></p> <p>4.3 Design the Satellite Land Monitoring System to provide activity data for REDD+ related activities</p> <p>4.3.1 <u>Review and analyze quality of satellite data required in REDD+</u></p>		

AMB
1/5

km

ACTIVITIES ⁴	INPUTS	
<p>4.3.2 Build capacity on the use of satellite images and other data for the <u>satellite land monitoring system</u></p> <p>4.3.3 <u>Analyze past and current forest cover and land use change</u></p> <p>4.4 Design a National Forest Inventory to Develop Emission and Removal Factors for REDD+ Related Activities</p> <p>4.4.1 Design National Forest Inventory</p> <p>4.4.2 Develop central database of all information on forest monitoring, and MRV (including allometric equations, soil models, carbon stock database for tree species identification)</p> <p>4.4.3 Estimate emission factors due to degradation</p> <p>4.4.4 Make QA & QC, archiving system and maintenance</p> <p>4.4.5 Develop Web GIS platform</p> <p>4.5 Develop Cambodia RLs/RELS Framework</p> <p>4.5.1 Implement quantitative assessment of drivers of forest degradation.</p> <p>4.5.2 Review and finalize land-use, forest policy and governance report.</p> <p>4.5.3 Collate data on drivers of deforestation</p> <p>4.5.4 Assess national circumstances</p> <p>4.5.5 Assess intra-national displacement risks and measures</p> <p>4.5.6 Make preliminary design of the national REL framework</p> <p>4.5.7 Quantify historical activity data</p> <p>4.5.8 <u>Quantify historical emission and removal factors</u></p> <p>4.5.9 Undertake modelling analyses of future trends</p> <p>4.5.10 Develop relevant RELs</p> <p>4.6 Develop a REDD+ Related GHG Reporting System</p> <p>4.6.1 Combine activity and forest carbon stock data</p> <p>4.6.2 Assess uncertainty of the data interpreted</p> <p>4.6.3 Dialogue national GHG inventory</p> <p>4.6.4 Make QA & QC, archiving system and undertake maintenance</p> <p>4.6.5 Design report mechanism to National GHG Inventory.</p>		

[Handwritten signature]

[Handwritten signature]

